

# Ⅲ 学習

## 1 教務関係

- 1) 学期
- 2) 授業時間
- 3) 単位
- 4) 単位の修得
- 5) 授業評価
- 6) 履修登録
- 7) 再履修
- 8) 休講・補講・集中講義・授業時間割表
- 9) 試験等の受験心得

## 2 履修関係

- 1) カリキュラムの特色
- 2) 卒業の要件
- 3) 授業科目 2024年度入学生適用
- 4) 2024年度教育課程表
- 5) 各種資格
- 6) 教職課程
- 7) 札幌圏大学・短期大学間  
単位互換協定について

## 3 学費等納付金関係

- 1) 学費等納付金
- 2) 別途徴収となる実習費・履修費
- 3) 納付期日



## 1. 教務関係

### 1) 学期

学年を分けて、次の2学期とします。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

### 2) 授業時間

平常の授業は授業時間割表に従って次の時間で行われます。

1 講目	9 : 00~10 : 30
2 講目	10 : 40~12 : 10
3 講目	13 : 10~14 : 40
4 講目	14 : 50~16 : 20
5 講目	16 : 30~18 : 00
6 講目	18 : 10~19 : 40

### 3) 単位

単位とは、授業科目の修得に必要な学修量を測る基準となるものです。大学で開講しているすべての授業科目には、履修した場合に与えられる単位数が設定されています。単位制度とは、各授業科目に配当されている単位を履修し、その単位数を一定以上修得することで卒業できる制度のことです。大学での学修は与えられるものではなく、自ら行うものです。単位を修得するには、教室内における学修だけでなく、教室外での自学自習が必要になります。単位は、授業に出席し受講するだけでなく、自習を行い、さらに試験その他の方法によって合格と判定されなければなりません。すなわち、単位は、これらを総合した結果、認定されるものなのです。1単位の授業科目は、標準として、教室外での自学自習もあわせて、45時間の学修を必要とする内容で構成されています。本学では、授業の方法、教育効果、授業時間外に必要な自学自習等を考慮して、次の基準によって計算しています。

#### 1 単位の授業科目に必要な学修時間

授業形態	授業時間	自習時間	計
講義・演習	15時間	30時間	45時間
実験・実習・実技	30時間	15時間	

(例：2単位の講義・演習科目)

毎週2時間の授業に対して4時間の自学自習を必要とし、15週の実施をもって2単位とします。

## 4) 単位の修得

### ①単位認定を受ける資格

- ・履修登録をしたもの。
- ・受講科目について出席時間数が授業時間数の2/3以上出席したもの（受講科目によっては補講等を与える場合があります）。
- ・授業料、その他納付金を納入したもの。

### ②成績評価

本学では、定期試験期間を設定しておりません。これは、学期末の試験（筆記試験や実技試験等）のみによって総括的に評価するのではなく、みなさんの学習活動の変化を形成的に評価するためです。授業時間内の口頭発表や実技、ディベート、レポート、受講態度など、さまざまな方法の組み合わせによって理解度を評価しています。

成績評価は、S・A・B・C・Dの5段階によって評価し、SからCまでを合格として単位が与えられます。Dは不合格とし、単位認定されません。授業科目ごとに定められた評価基準については、講義要綱（シラバス）で確認してください。

#### <成績の評価と内容、100点方式による成績評価基準>

- S（秀） 特に優秀な成績（90点以上）
- A（優） 優れた成績（89～80点）
- B（良） 科目の要求を満たす標準的な成績（79～70点）
- C（可） 合格と認められる最低限の成績（69～60点）
- D（不可） 不合格（59点以下）
- I（保留） 履修未了または成績評価の一時保留

#### ●レポート等の提出に関する注意点

- ・学習支援オフィスに提出の指示があった場合には、所定の表紙（レポート提出票）をホッチキス止めをして提出し、受領書を受け取り確実に保管してください。
- ・担当教員へレポートの郵送はしないでください（ただし、特に指示があった場合はこの限りではありません）。

### ③GPA制度

本学では、履修した全科目の成績の平均値、GPA（Grade Point Averageの略）を算出します。GPAは成績評価を明確にすることにより、自分自身の学習達成度を把握し、今後の学習目標の設定と計画的な履修に活用します。GPA制度では、一度履修した科目は責任を持って確実に履修することが求められています。したがって、学生は自分の履修状況を常に認識し、無理のない学習計画を立てる必要があります。GPAを活用することにより、履修計画時の参考になります。

●GPAの算出方法

S・A・B・C・Dの5段階の成績評価には、それぞれ以下のグレードポイント（GP）が割り当てられます。

$$S = 4.0 \quad A = 3.0 \quad B = 2.0 \quad C = 1.0 \quad D = 0$$

GPAには、学期ごとに算出される「学期GPA」、学年ごとに算出される「年間GPA」、そして入学時より各学期を通算して算出する「通算GPA」があります。それぞれの計算式は、以下の通りです。GPAの計算は、小数点以下第3位を四捨五入します。

$$\text{学期GPA} = \frac{(\text{その学期に評価を受けた科目で得たGP}) \times (\text{科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{その学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

$$\text{年間GPA} = \frac{(\text{その学年に評価を受けた科目で得たGP}) \times (\text{科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{その学年に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

$$\text{通算GPA} = \frac{((\text{各学期に評価を受けた科目で得たGP}) \times (\text{その科目の単位数}) \text{の合計}) \text{の総和}}{(\text{各学期に評価を受けた科目の単位数の合計}) \text{の総和}}$$

「GPAの算出例」

授業科目名	単位数	評価	GP	GP×単位数
基礎教育セミナー I	1 単位	S	4.0	4.0×1=4.0
日本語表現	1 単位	A	3.0	3.0×1=3.0
数学入門	1 単位	B	2.0	2.0×1=2.0
情報機器操作 I	2 単位	C	1.0	1.0×2=2.0
健康体育（実技を含む）	2 単位	D	0	0×2=0
英語コミュニケーション I	2 単位	S	4.0	4.0×2=8.0
英語コミュニケーション II	2 単位	A	3.0	3.0×2=6.0
合 計	①11単位			②25.0

$$\text{GPA} = \text{②} \div \text{①} \rightarrow 25.0 \div 11 = 2.272 \approx 2.27$$

\*小数点以下第3位を四捨五入する

●GPAが適用される科目について

以下の①～③以外の卒業要件単位として単位認定される科目は、全てGPA算出の対象となります。なお、対象となる科目は各学科により異なりますので、詳しくは所属する学科の教員から説明を受けてください。

- ①他の大学、短期大学、高等専門学校若しくは専修学校の専門課程における学修その他文部科学大臣が別に定める学修で取得した単位のうち、本学教授会の議を経て、本学取得単位として認定した科目（ただし、他学部履修制度に基づいて履修した本学短期大学部の履修科目はGPA算出の対象科目になります）。
- ②教育職員免許状取得に関する科目のうち、教育課程表に定める「教科及び教職に関する科目」。
- ③その他教授会で定めた科目。

**●科目履修の取り消しについて**

科目履修の取り消しを希望する場合は、各学期の授業開始後、第6週目に手続きができますが、それ以降は原則的に認めません。放棄された科目の成績は、D（不可）となり単位認定されません。学生には責任のある履修行動が求められますので、計画的な履修登録を行ってください。

**●GPAの活用方法について**

直前の学期GPAが1.5未満の学生に対しては、ガイダンスティーチャー（GT）又はゼミ担任が履修指導を行います。特に、2学期連続で直前の学期GPAが1.5未満の学生に対しては、ガイダンスティーチャー（GT）又はゼミ担任と教育支援総合センターが連携して履修指導を強化して行います。

また、年間GPAが良好な学生には、次年度履修登録できる単位数の上限値が加算されます（詳しくは「④CAP制度」で説明）。

さらに、通算GPAは、奨学金の選定、学業表彰対象者の選定、受講希望者数が過大な講義における受講人数制限の際の選定基準、教職科目履修制限の際の選定基準などに活用されることがあります。

また、教員は、学生のGPAデータをもとに授業改善に役立てます。

**●備考**

次年度以降、GPAの運用方法が変更される場合がありますので、注意してください。

**④CAP制度**

本学では、学生のみなさんが履修する講義・演習・実習内容について予習復習を含めて主体的に学ぶ機会を保障する為に、各学年次で履修登録できる単位数を制限するCAP制度を導入しています。この制度は、各学年次で設定された単位数の値に、前年度の年間GPAに応じて単位数を加算した値の範囲内で、履修登録を行う仕組みになっています。従って、卒業までの履修計画をしっかりと立てて、履修登録を行ってください。

**●履修登録上限値の設定**

各学年次初めに履修登録を行える年間の単位数（以下、履修登録上限値といいます。）は、以下のとおりです。なお、履修登録上限値を超えて履修登録を行った科目（ただし、CAP制度が適用されない科目を除きます）については、後日履修登録が取り消される、または取得単位としては認定されません。したがって、十分に注意して履修登録を行ってください。

・各年次とも48単位

**●GPAに応じて履修登録上限値に加算される単位数**

2年次以降の学生は、前年度の年間GPAに応じて、履修登録の上限値である48単位に、下記の単位数を加えて履修登録を行うことができます。

・前年度の年間GPAが3.5以上の場合は、8単位が加算されます。

・前年度の年間GPAが3.0以上かつ3.5未満の場合は、4単位が加算されます。

- ・前年度の年間GPAが3.0未満の場合は、単位数の加算はありません。

#### ●CAP制度が適用されない科目

以下の科目については履修登録上限値に関係なく履修登録を行うことができます。なお、対象となる科目は各学科、各学年により異なりますので、詳しくは所属する学科の教員から説明を受けてください。

- ・基礎教育セミナーⅠ、基礎教育セミナーⅡ、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ、専門演習Ⅲ、専門演習Ⅳ、卒業研究、心理学基礎演習Ⅰ、心理学基礎演習Ⅱ、心理演習、心理実習
- ・全学共通科目のうち就業力養成科目
- ・各種資格取得に関連した科目のうち、各学部・学科で定めた科目
- ・他の大学、短期大学、高等専門学校若しくは専修学校の専門課程における学修その他文部科学大臣が別に定める学修で履修を希望する単位のうち、学長が本学教授会の議を経て、履修を認定した科目（ただし、他学部履修制度に基づいて履修する本学短期大学部の履修科目はCAP制度の対象科目になります）
- ・教育職員免許状取得に関する科目のうち、各学科で定めた科目
- ・特別支援学校教諭1種免許状に関する科目
- ・その他教授会で定めた科目

#### ●備考

次年度以降、CAP制度の運用方法が変更される場合がありますので、注意してください。

## 5) 授業評価

本学では学生のみなさんにより良い授業を保障するために、FD活動に力を入れています。FD（Faculty Development）活動とは、授業内容及び方法の改善を図るための組織的な活動のことで、その一環として学期授業終了ごとに授業評価を導入しています。これは、みなさん自身の授業への取り組み姿勢を振り返ると共に、改善に向けての要望等を記述するものです。教員と学生が共に作り上げて行く授業が大切ですので、積極的にかつ建設的な評価を期待しています。

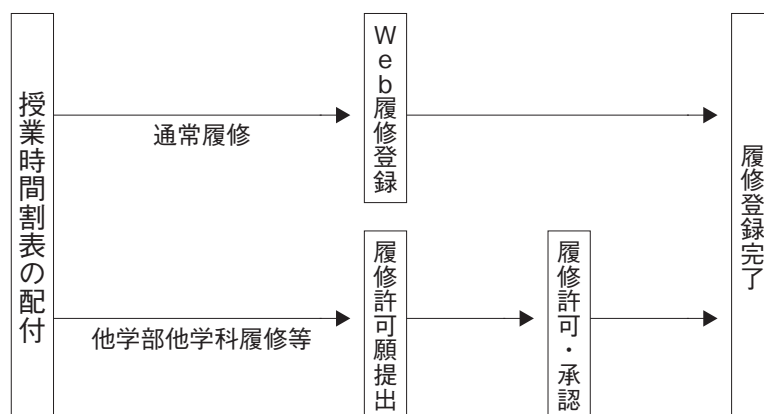
## 6) 履修登録

### ①履修登録期間

前学期初めの定められた期間内に、履修しようとする科目について履修登録を行わなければなりません。授業は履修登録した科目でなければ受講することはできません。

定められた期間内に履修登録を怠るとその学期の履修はもとより授業を受けることも、その科目の試験を受けることもできません。したがって、単位は認定されないので、十分に注意してください。

### ②履修登録の流れ



### ③履修制限

授業科目によっては履修人数を制限することがあるのであらかじめ承知しておいてください。

### ④科目の不開講について

講義科目（実技、実習、演習科目及び免許・資格必修の講義科目を除く。）で、受講者数が一定数に満たない場合は、その授業を不開講とする場合があります。その場合は別途お知らせします。

### ⑤履修登録に関する注意点

- ・定められた期間内にWeb履修登録を行います。  
「教科及び教職に関する科目」は教職履修者のみ履修できます。  
他学部他学科履修、単位互換科目の履修にあたっては、履修許可願の提出が必要です。
- ・授業開始後6週目に履修登録取消期間を設けます。
- ・履修登録で疑問や不明な点がある場合は、必ず本人が直接学習支援オフィス窓口で確認してください。
- ・履修登録期間に関することは前・後学期開始前にポータル等で連絡しますので確認を忘れないでください。



## 7) 再履修

- ①必修科目の単位を修得できなかったときは、必ず再履修してください。
- ②選択科目の単位を修得できなかったときは、その科目を再履修するか他の科目を履修してください。いずれも定められた期間に履修登録をしなければなりません。
- ③以前に履修可能でありながら、履修しなかった科目を履修する場合も再履修扱いとなります（一部の科目を除く）。

## 8) 休講・補講・集中講義・授業時間割表

- ①休 講：事前に学生ポータル等でお知らせします。なお、授業時間が始まって30分以上たっても担当教員が教室にこないときは、学習支援オフィスへ連絡して指示を受けてください。
- ②補 講：授業時間数がやむを得ない事情により不足した場合は、担当教員の判断でこれを補うための補講を行います。その都度、学生ポータル等でお知らせします。
- ③集 中 講 義：授業科目の中には、予め定められた期間に連続して授業を行う科目があります。これらの科目は事前に実施予定を連絡しますので、学生ポータル等で確認してください。
- ④授業時間割表：授業を受けるためには、その科目の開講されている曜日・時限・教室・担当教員を知らなければなりません。そのため学年始めに授業時間割表が配付されます。この授業時間割表から、それぞれの履修計画にそって自分の時間割表を作成するようにしてください。

## 9) 試験等の受験心得

- ①受験にあたっては、学生としての本分を自覚し、少しでも不正・不注意の行為を行ってはなりません。
- ②試験にあたり、次の各号に掲げる不正行為を行った者は、当該授業科目及び当該授業科目の試験と同一の学期に実施される全ての授業科目の試験を無効とします。
  - ・カンニングペーパー及びこれに類するものを所持又は使用すること。
  - ・身代わり受験すること。
  - ・机上等への書き込みをし、かつ、見ること。
  - ・他人の答案をのぞき見ること、及び故意に見せること。
  - ・他人の学生証で受験すること。

- ・指定された書籍、辞書等以外のものを使用すること。
- ・その他不正とみなされる行為をすること。

③不正行為があった場合の措置又は処分は次のとおりです。

- ・第1回目の不正行為者 1週間の自宅謹慎措置とする。
- ・第2回目の不正行為者 3カ月の停学処分とする。
- ・第3回目の不正行為者 退学処分とする。

④学生証を机上に置くように指示され、当日忘れて所持していない場合は学生生活支援オフィスにおいて所定の手続きにより「仮学生証」の発行を受けてください。

⑤試験を欠席し、その理由が「欠席届の取扱いについて」(Ⅱ 学生生活1.)の項目に該当する者は「欠席届」を提出してください。

⑥レポート、作品等の提出は指定の期限を厳守してください。期限の過ぎたもの、指示以外のものの提出は受付しません。

⑦その他試験に関することは、全て担当教員の指示に従ってください。

## 2. 履修関係

### 1) カリキュラムの特色

#### [生涯スポーツ学部]

生涯スポーツ学部の理念は、スポーツや健康、さらには福祉分野に関する理論や実践について探究し、主体的・活動的・健康的な生き方を実践・支援できる人材を育成し、生涯にわたってスポーツに親しむことができる健康で豊かな「生涯スポーツ社会」の構築に貢献することです。

#### ●全学共通科目

大学教育では、高い専門性だけでなく、教養教育の重要性が強調されています。特に基礎学力を高めるための科目や、社会人としての幅広い教養とコミュニケーション・スキルを修得する科目、本学の教育理念である「愛と和と英知」の具現化を図る科目を「全学共通科目」として配置しています。

#### ●発展科目

「発展科目」は、学生のみなさんが選択した専門領域とは異なる他学部の科目を積極的に履修することによって、自分の専門領域の学びをより豊かにすることをねらいとしています。「心身・健康に関する科目群」「社会と生活に関する科目群」「文化と芸術に関する科目群」から構成されており、各学部各学科から発展科目として指定されたものを学ぶシステムです。

#### ●学部共通科目

「学部共通科目」は、生涯スポーツに関する基礎知識を修得する科目群と、地域社会に関する教養を身につける科目群で構成されています。

生涯スポーツ学部の理念を具現化するためには、生涯スポーツの基礎理論やその考え方のベースとなる生涯学習の考え方について全学習者が理解しておく必要があります。さらに健康に関する基礎理論も生涯スポーツを学ぶ上で必要不可欠となります。

#### ●学科専門科目

「学科専門科目」では現場で必要とされる知識と技術を身につけるため、より専門的な講義科目と実践的な演習・実習科目を配置しています。スポーツ教育学科・健康福祉学科ではさらに、全コースに必要と考える「コース共通科目」と、コースに必要な専門性を高める「コース専門科目」で構成されています。関心領域や適性に合わせた資格取得ができるよう、科目を配置しています。

## [教育文化学部]

教育文化学部の教育課程の基本構成は、教育学・芸術学・心理学それぞれの学科専門科目の充実を図りながらも、学部共通科目や発展科目など、一つの専門分野だけでなく、様々な関連分野も含めた総合的・学際的な学びの場があることです。必修科目は、各科目区分において基礎とすべき科目を設定してあります。また選択科目は、学生のみなさんが取得を希望する資格に応じて自由に選択ができるように構成してあります。

### ●全学共通科目

大学教育では、高い専門性だけでなく、教養教育の重要性が強調されています。特に基礎学力を高めるための科目や、社会人としての幅広い教養とコミュニケーション・スキルを修得する科目、本学の教育理念である「愛と和と英知」の具現化を図る科目を「全学共通科目」として配置しています。

### ●発展科目

「発展科目」は、学生のみなさんが選択した専門領域とは異なる他学部の科目を積極的に履修することによって、自分の専門領域の学びをより豊かにすることをねらいとしています。「心身・健康に関する科目群」「社会と生活に関する科目群」「文化と芸術に関する科目群」から構成されており、各学部各学科から発展科目として指定されたものを学ぶシステムです。

### ●学部共通科目

「学部共通科目」は、教育文化学部の学生全員を対象とした科目であり、学部の教育理念を理解し、地域社会における様々な教育活動・芸術活動・文化活動・対人支援に貢献できる人材に共通的な素養を身に付けるための科目を配置しています。

### ●学科専門科目

「学科専門科目」には、各学科の専門性をより深めるための科目を配置しています。教育学科は4コース（初等教育コース・幼児教育コース・養護教諭コース・音楽コース）の特性と融合に配慮した科目を配置し、芸術学科においては芸術5分野（美術・メディアデザイン・インテリア建築・服飾美術・舞台芸術）の科目を基本的科目・専門的科目・応用実践的科目の3層構造に編成し、心理カウンセリング学科においては心理学領域と精神保健福祉学領域の科目を配置しています。

## 2) 卒業の要件

### [生涯スポーツ学部]

#### ●スポーツ教育学科

履修コース	①全学 共通科目		②発展科目		③学部 共通科目		④学科 専門科目		⑤ ①～④ の全科目	卒業 要件 単位
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	選択	
スポーツ教育コース	15	7	0	4	4	6	14	36	38	124
スポーツトレーナーコース	15	7	0	4	4	6	16	34	38	124
競技スポーツコース	15	7	0	4	4	6	18	32	38	124

- \* 1 「全学共通科目」の選択7単位には以下の科目を含まなければならない。
  - ・外国語科目 1科目2単位以上
  - ・教養科目 2科目4単位以上
  - ・就業力養成科目 「就業力特別講義Ⅰ」または「就業力特別講義Ⅱ」
- \* 2 「発展科目」の選択4単位は二つ以上の科目群から選択して履修すること。
- \* 3 ⑤の「①～④の全科目」には全てのコース専門科目を含む。

#### ●健康福祉学科

履修コース	①全学 共通科目		②発展科目		③学部 共通科目		④学科 専門科目		⑤ ①～④ の全科目	卒業 要件 単位
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	選択	
スポーツ健康コース	15	7	0	4	4	6	12	32	44	124
社会福祉コース	15	7	0	4	4	6	13	31	44	124

- \* 1 「全学共通科目」の選択7単位には以下の科目を含まなければならない。
  - ・外国語科目 1科目2単位以上
  - ・教養科目 2科目4単位以上
  - ・就業力養成科目 「就業力特別講義Ⅰ」または「就業力特別講義Ⅱ」
- \* 2 「発展科目」の選択4単位は二つ以上の科目群から選択して履修すること。
- \* 3 ⑤の「①～④の全科目」には全てのコース専門科目を含む。

## [教育文化学部]

### ●教育学科

履修コース	①全学 共通科目		②発展科目		③学部 共通科目		学科専門科目				⑥④～⑤ の全科目	卒業 要件 単位
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	④コース共通科目		⑤コース専門科目			
							必修	選択	必修	選択	選択	
初等教育コース	15	7	0	4	2	2	14	0	50	10	20	124
幼児教育コース	15	7	0	4	2	2	14	0	50	15	15	124
養護教諭コース	15	7	0	4	2	2	14	0	50	15	15	124
音楽コース	15	7	0	4	2	2	14	0	53	14	13	124

- \* 1 「全学共通科目」の選択7単位には以下の科目を含まなければならない。
  - ・外国語科目 1科目2単位以上
  - ・教養科目 2科目4単位以上
  - ・就業力養成科目 「就業力特別講義Ⅰ」または「就業力特別講義Ⅱ」
- \* 2 「発展科目」の選択4単位は二つ以上の科目群から選択して履修すること。
- \* 3 ⑤「コース専門科目」の選択で定める単位は、それぞれのコースの選択必修科目から選択して履修すること。
- \* 4 ⑥の「④～⑤の全科目」には全てのコース専門科目を含む。

### ●芸術学科

履修学科	①全学 共通科目		②発展科目		③学部 共通科目		④学科 専門科目		⑤①～④ の全科目	卒業 要件 単位
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	選択	
芸術学科	15	7	0	4	2	4	12	34	46	124

- \* 1 「全学共通科目」の選択7単位には以下の科目を含まなければならない。
  - ・外国語科目 1科目2単位以上
  - ・教養科目 2科目4単位以上
  - ・就業力養成科目 「就業力特別講義Ⅰ」または「就業力特別講義Ⅱ」
- \* 2 「発展科目」の選択4単位は二つ以上の科目群から選択して履修すること。
- \* 3 「学科専門科目」の選択34単位には授業科目一覧表における選択必修科目の24単位を含む。

### ●心理カウンセリング学科

履修学科	①全学 共通科目		②発展科目		③学部 共通科目		④学科 専門科目		⑤①～④ の全科目	卒業 要件 単位
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	選択	
心理カウンセリング学科	15	7	0	4	2	4	18	30	44	124

- \* 1 「全学共通科目」の選択7単位には以下の科目を含まなければならない。
  - ・外国語科目 1科目2単位以上
  - ・教養科目 2科目4単位以上
  - ・就業力養成科目 「就業力特別講義Ⅰ」または「就業力特別講義Ⅱ」
- \* 2 「発展科目」の選択4単位は二つ以上の科目群から選択して履修すること。

### 3) 授業科目 2024年度入学生適用

#### 生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 授業科目一覧表

		授業科目の区分等						
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	
全学共通科目	導入科目	基礎教育セミナーⅠ	①	基礎教育セミナーⅡ	①			
	基礎科目	日本語表現	①	情報機器操作Ⅰ	②	健康体育(実技を含む)	2	
		数学入門	①	情報機器操作Ⅱ	②	英語コミュニケーションⅠ	②	
	外国語科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語	2	フランス語	2	
		英語(中級)	2	中国語	2	スペイン語	2	
		英語(上級)	2	ドイツ語	2			
		現代生活と政治・経済	2	現代生活と心と体	2	日本国憲法	2	
	教養科目	現代生活と法律	2	現代生活と物理	2	情報社会及び情報倫理	2	
		現代生活と福祉	2	現代生活と地球	2	情報処理(中級)	2	
		現代生活と芸術	2	現代生活と環境科学	2	情報処理(上級)	2	
		現代生活と教育	2	北海道の文化	2			
	就業力養成科目	キャリアデザインⅠ	①	キャリア演習Ⅱ	①	就業力特別講義Ⅱ	1	
		キャリアデザインⅡ	①	キャリア演習Ⅲ	1	インターンシップ	2	
		キャリアデザインⅢ	①	キャリア演習Ⅳ	1			
キャリア演習Ⅰ		①	就業力特別講義Ⅰ	1				
発展科目	心身・健康に関する科目群	心理学概論	2	乳幼児心理学	2	モチベーション心理学	2	
		発達心理学	2	福祉心理学	2	司法・犯罪心理学	2	
		人間関係の心理学	2	育児支援の心理学	2	スクールカウンセリング	2	
		高齢社会の街づくり	2	リカレント教育論	2	社会教育経営論Ⅰ	2	
	社会と生活に関する科目群	高齢者福祉	2	社会学	2	社会教育経営論Ⅱ	2	
		生活の中の介護福祉	2	生涯学習支援論Ⅰ	2	社会教育課題研究	2	
		青少年学習コーチング論	2	生涯学習支援論Ⅱ	2	社会教育実習	2	
		音楽概論	2	美術史	2	インテリアデザイン	2	
	文化と芸術に関する科目群	音楽鑑賞法	2	ファッションデザイン概論	2	ユニバーサルデザイン	2	
		音楽史	2					
	学部共通科目	生涯スポーツ学	②	地域支援実習	2	スポーツ史	2	
		生涯学習概論Ⅰ	2	健康運動指導演習	2	生理学	2	
		生涯学習概論Ⅱ	2	体育原理	2	運動生理学	2	
		栄養と健康	2	スポーツ心理学	2	就業力特別演習Ⅰ	1	
健康学		②	スポーツ社会学	2	就業力特別演習Ⅱ	1		
介護予防論		2	スポーツ運動学	2	就業力特別演習Ⅲ	1		
認知症予防		2	スポーツマネジメント	2				
学科専門科目	コース共通科目	スポーツ教育学概論	②	スポーツ栄養学	2	生涯スポーツ(バレーボール)	①	
		基礎解剖学	2	スポーツマーケティング	2	生涯スポーツ(バスケットボール)	①	
		機能解剖学	2	メンタルトレーニング演習	2	生涯スポーツ(テニス)	①	
		体力測定評価	2	ジュニアスポーツ論	2	生涯スポーツ指導演習(サッカー)	2	
		体力測定評価演習	2	コーチ学	2	生涯スポーツ指導演習(体づくり運動)	2	
		トレーニング論	2	障がい者スポーツ論	2	生涯スポーツ指導演習(ダンス)	2	
		トレーニング演習	2	レジャー・レクリエーション論	2	生涯スポーツ指導演習(武道)	2	
		スポーツ・バイオメカニクス	2	野外教育実習	2	生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	1	
		バイオメカニクス演習	2	野外教育指導演習	2	生涯スポーツ指導演習(陸上競技)	1	
		生活習慣病概論	2	雪上活動実習	1	生涯スポーツ指導演習(バスケットボール)	1	
		スポーツ医学基礎	2	生涯スポーツ(水泳・水中運動)	①	生涯スポーツ指導演習(バレーボール)	1	
		スポーツ内科学	2	生涯スポーツ(陸上競技)	①	生涯スポーツ指導演習(器械運動)	2	
		衛生学及び公衆衛生学	2	生涯スポーツ(冬季スポーツ)	①	生涯スポーツ指導演習(エアロビック)	2	
		救急処置	2	生涯スポーツ(エアロビック)	①	生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	2	
		スポーツ整形外科学	2	生涯スポーツ(バドミントン)	①	専門演習Ⅰ	②	
		運動処方演習	2	生涯スポーツ(野球・ソフトボール)	①	専門演習Ⅱ	②	
					専門演習Ⅲ	②		
					卒業研究	②		
	コース専門科目	スポーツ教育コース	スポーツ教育学	②	特別支援教育総論	2	視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理	1
			スポーツ教育演習A	2	知的障害者の心理・生理・病理	2	視覚・聴覚障害者の教育課程及び指導法	1
			スポーツ教育演習B	2	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	重複障害者の心理・生理・病理	1
			学校教育研究A	2	病弱者の心理・生理・病理	2	重複障害者の教育課程及び指導法	1
			学校教育研究B	2	知的障害教育Ⅰ	2	発達障害者等の心理・生理・病理	1
			学校保健	2	知的障害教育Ⅱ	2	発達障害者等の教育課程及び指導法	1
			保健体育科内容構成論	2	肢体不自由教育Ⅰ	2	特別支援教育実習事前指導	1
					肢体不自由教育Ⅱ	2	特別支援教育実習事後指導	1
				病弱教育	2	特別支援教育実習	2	
		スポーツトレーナーコース	健康産業施設実習	2	運動処方	2	アスレティックトレーナー概論	②
			中高年スポーツ論	②	スポーツ外傷・障害の評価理論	2	アスレティックリハビリテーション理論	2
			テーピング演習	2	スポーツ外傷・障害の評価演習	2	アスレティックリハビリテーション演習Ⅰ	2
			スポーツ解剖学	2	コンディショニング理論	2	アスレティックリハビリテーション演習Ⅱ	2
			臨床スポーツ医学	2	コンディショニング演習	2	アスレティックトレーニング指導実習	4
競技スポーツ論			②	スポーツの戦術・戦略論	2	競技スポーツコーチング演習Ⅰ	2	
アスリート論			②	アスリートをとり巻く環境	2	競技スポーツコーチング演習Ⅱ	2	
コーチング論	②							
外国人留学生科目	日本語	2	現代日本の文化	2				

#### 備考

- 表中の○数字の単位は、必修科目の単位数を示す。
- 表中□及び◇数字の単位は選択必修科目の単位数を示し、それぞれから1単位以上選択しなければならない。
- 学則第46条第1項に規定する124単位以上は、同条第2項に規定する履修コースのうちから、いずれか一つの履修コースを選択し、別掲の卒業要件に掲げる授業科目区分ごとに定める単位数以上の単位を修得するものとする。
- 外国人留学生にあっては、別掲の卒業要件に掲げる「全学共通科目」とあるのは、「全学共通科目及び外国人留学生科目」と読み替えて適用することができる。

生涯スポーツ学部 健康福祉学科 授業科目一覧表

		授業科目の区分等					
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
全学共通科目	導入科目	基礎教育セミナーⅠ	①	基礎教育セミナーⅡ	①		
	基礎科目	日本語表現	①	情報機器操作Ⅰ	②	健康体育(実技を含む)	2
		数学入門	①	情報機器操作Ⅱ	②	英語コミュニケーションⅠ	②
	外国語科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語	2	フランス語	2
		英語(中級)	2	中国語	2	スペイン語	2
		英語(上級)	2	ドイツ語	2		
	教養科目	現代生活と政治・経済	2	現代生活と心と体	2	日本国憲法	2
		現代生活と法律	2	現代生活と物理	2	情報社会及び情報倫理	2
		現代生活と福祉	2	現代生活と地球	2	情報処理(中級)	2
		現代生活と芸術	2	現代生活と環境科学	2	情報処理(上級)	2
現代生活と教育		2	北海道の文化	2			
就業力養成科目	キャリアデザインⅠ	①	キャリア演習Ⅱ	①	就業力特別講義Ⅱ	1	
	キャリアデザインⅡ	①	キャリア演習Ⅲ	1	インターンシップ	2	
	キャリアデザインⅢ	①	キャリア演習Ⅳ	1			
	キャリア演習Ⅰ	①	就業力特別講義Ⅰ	1			
発展科目	心身・健康に関する科目群	スポーツ栄養学	2	人間関係の心理学	2	モチベーション心理学	2
		スポーツマーケティング	2	乳幼児心理学	2	司法・犯罪心理学	2
		発達心理学	2	育児支援の心理学	2	スクールカウンセリング	2
	社会と生活に関する科目群	青少年学習コーチング論	2	生涯学習支援論Ⅱ	2	社会教育課題研究	2
		リカレント教育論	2	社会教育経営論Ⅰ	2	社会教育実習	2
		生涯学習支援論Ⅰ	2	社会教育経営論Ⅱ	2		
	文化と芸術に関する科目群	音楽概論	2	美術史	2	インテリアデザイン	2
		音楽鑑賞法	2	ファッションデザイン概論	2	ユニバーサルデザイン	2
		音楽史	2				
学部共通科目	生涯スポーツ学	②	地域支援実習	2	スポーツ史	2	
	生涯学習概論Ⅰ	2	健康運動指導演習	2	生理学	2	
	生涯学習概論Ⅱ	2	体育原理	2	運動生理学	2	
	栄養と健康	2	スポーツ心理学	2	就業力特別演習Ⅰ	1	
	健康学	②	スポーツ社会学	2	就業力特別演習Ⅱ	1	
	介護予防論	2	スポーツ運動学	2	就業力特別演習Ⅲ	1	
	認知症予防	2	スポーツマネジメント	2			
学科専門科目	コース共通科目	健康福祉学概論	②	介護を必要とする人の理解	2	心理学概論	2
		ジュニアスポーツ論	2	社会学	2	福祉心理学	2
		中高年スポーツ論	2	高齢社会の街づくり	2	高齢者心理学	2
		障がい者スポーツ論	2	生活学概論	2	高齢者福祉	2
		生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	1	生活の中の介護福祉	2	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2
		生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	2	障害のある人の理解	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2
		運動処方	2	リハビリテーション論	2	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2
		体力測定評価演習	2	レクリエーション実技	1	社会保障論Ⅰ	2
		健康トレーニング実践演習	2	医学概論	2	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2
		健康福祉専門職演習Ⅰ	2	医学知識	2	専門演習Ⅰ	②
		健康福祉専門職演習Ⅱ	2	老年医学	2	専門演習Ⅱ	②
		介護の基本Ⅰ	2	精神保健	2	専門演習Ⅲ	②
		介護の基本Ⅱ	2	認知症論	2	専門演習Ⅳ	①
		生活支援技術	2	認知症ケア論	2	卒業研究	2
		スポーツ健康コース	健康運動実践論	②	生涯スポーツ(陸上競技)	1	コーチング論
	基礎解剖学		2	生涯スポーツ(バレーボール)	1	スポーツの戦術・戦略論	2
	生活習慣病概論		2	生涯スポーツ(バスケットボール)	1	アスリートを取り巻く環境	2
	スポーツ医学基礎		2	生涯スポーツ(テニス)	1	競技スポーツコーチング演習Ⅰ	2
	スポーツ内科学		2	生涯スポーツ(ニュースポーツ)	①	競技スポーツコーチング演習Ⅱ	2
	スポーツ整形外科学		2	生涯スポーツ(エアロビック)	1	救急処置	2
	スポーツ・バイオメカニクス		2	生涯スポーツ指導演習(エアロビック)	2	運動処方演習	2
	コーチ学		2	生涯スポーツ指導演習(サッカー)	2	体力測定評価	2
	トレーニング論		2	競技スポーツ論	2	健康産業施設実習	2
	トレーニング演習		2	アスリート論	2	介護予防実践演習	2
	レジャー・レクリエーション論		2				
	社会福祉コース		ソーシャルワーク入門Ⅰ	②	社会福祉調査の基礎	2	ソーシャルワーク演習Ⅲ
		ソーシャルワーク入門Ⅱ	②	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	ソーシャルワーク演習Ⅳ	2
ボランティア実践		2	医療福祉論	2	ソーシャルワーク演習Ⅴ	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ		2	権利擁護と成年後見制度	2	ソーシャルワーク演習Ⅵ	2	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2	司法福祉論	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ		2	社会学と社会システム	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ		2	福祉サービスの組織と経営	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	2	
児童・家庭福祉		2	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	ソーシャルワーク実習Ⅰ	6	
障害者福祉		2	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2	
社会保障論Ⅱ		2	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	福祉実践実習	2	
公的扶助論	2						
外国人留学生科目	日本語	2	現代日本の文化	2			

備考

- 1 表中の○数字の単位は、必修科目の単位数を示す。
- 2 学則第46条第1項に規定する124単位以上は、同条第2項に規定する履修コースのうちから、いずれか一つの履修コースを選択し、別掲の卒業要件に掲げる授業科目区分ごとに定める単位数以上の単位を修得するものとする。
- 3 外国人留学生にあっては、別掲の卒業要件に掲げる「全学共通科目」とあるのは、「全学共通科目及び外国人留学生科目」と読み替えて適用することができる。



教育文化学部 教育学科 授業科目一覧表

		授業科目の区分等							
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位		
全学共通科目	導入科目	基礎教育セミナーⅠ	①	基礎教育セミナーⅡ	①				
	基礎科目	日本語表現	①	情報機器操作Ⅰ	②	健康体育(実技を含む)	2		
		数学入門	①	情報機器操作Ⅱ	②	英語コミュニケーションⅠ	②		
	外国語科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語	2	フランス語	2		
		英語(中級)	2	中国語	2	スペイン語	2		
		英語(上級)	2	ドイツ語	2				
	教養科目	現代生活と政治・経済	2	現代生活と心と体	2	日本国憲法	2		
		現代生活と法律	2	現代生活と物理	2	情報社会及び情報倫理	2		
		現代生活と福祉	2	現代生活と地球	2	情報処理(中級)	2		
		現代生活と芸術	2	現代生活と環境科学	2	情報処理(上級)	2		
現代生活と教育		2	北海道の文化	2					
就業力養成科目	キャリアデザインⅠ	①	キャリア演習Ⅱ	①	就業力特別講義Ⅱ	1			
	キャリアデザインⅡ	①	キャリア演習Ⅲ	1	インターンシップ	2			
	キャリアデザインⅢ	①	キャリア演習Ⅳ	1					
	キャリア演習Ⅰ	①	就業力特別講義Ⅰ	1					
発展科目	心身・健康に関する科目群	スポーツ栄養学	2	人間関係の心理学	2	モチベーション心理学	2		
		スポーツマーケティング	2	乳幼児心理学	2	司法・犯罪心理学	2		
		心理学概論	2	福祉心理学	2	スクールカウンセリング	2		
		発達心理学	2	育児支援の心理学	2				
		高齢社会の街づくり	2	生涯学習支援論Ⅰ	2	社会教育経営論Ⅱ	2		
	社会と生活に関する科目群	高齢者福祉	2	生涯学習支援論Ⅱ	2	社会教育課題研究	2		
		生活の中の介護福祉	2	社会教育経営論Ⅰ	2	社会教育実習	2		
		社会学	2						
	文化と芸術に関する科目群	美術史	2	インテリアデザイン	2	ユニバーサルデザイン	2		
		ファッションデザイン概論	2						
学部共通科目	教育文化学	②	生涯学習概論Ⅱ	2	青少年学習コーチング論	2			
	芸術と心理学	2	メディアデザイン概論	2	リカレント教育論	2			
	生涯学習概論Ⅰ	2	心理学的支援法	2					
学科専門科目	コース共通科目	学習コーチング学概論	2	知的障害教育Ⅱ	2	発達障害者等の教育課程及び指導法	①		
		専門演習Ⅰ	②	肢体不自由教育Ⅰ	2	特別支援教育実習事前指導	1		
		専門演習Ⅱ	②	肢体不自由教育Ⅱ	2	特別支援教育実習事後指導	1		
		卒業研究	④	病弱教育	2	特別支援教育実習	2		
		特別支援教育総論	②	視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理	1	特別支援学校論Ⅰ	2		
		知的障害者の心理・生理・病理	2	重複障害者の心理・生理・病理	1	特別支援学校論Ⅱ	2		
		肢体不自由者の心理・生理・病理	2	発達障害者等の心理・生理・病理	①	特別支援実践論Ⅰ	2		
		病弱者の心理・生理・病理	2	視覚・聴覚障害者の教育課程及び指導法	1	特別支援実践論Ⅱ	2		
		知的障害教育Ⅰ	②	重複障害者の教育課程及び指導法	1	特別支援実践論Ⅲ	2		
		コース専門科目	初等教育コース専門科目	国語科概論(書写を含む)	②	理科指導法	②	教育課程論(幼・小)	②
				社会科概論	②	理科指導・実践演習	②	道徳教育論(小)	②
				算数科概論	②	生活科指導法	②	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(小)	②
				理科概論	②	生活科指導・実践演習	②	教育方法論	②
				生活科概論	②	音楽科指導法	②	(ICT活用の理論と方法を含む)(幼・小)	②
				音楽科概論	②	音楽科指導・実践演習	②	生徒指導論(進路指導を含む)(小)	②
	音楽実習Ⅰ			1	図画工作科指導法	②	教育相談論	②	
	音楽実習Ⅱ			1	図画工作科指導・実践演習	②	(カウンセリングを含む)(幼・小)	②	
	造形美術概論			②	家庭科指導法	②	教育実習事前指導(幼・小)	1	
	家庭科概論			②	家庭科指導・実践演習	②	教育実習事後指導(幼・小)	1	
	体育科概論			②	体育科指導法	②	教育実習(幼・小)	4	
	英語科概論			②	体育科指導・実践演習	②	教職実践演習(幼・小)	2	
	国語科指導法			②	英語科指導法	②	小学校教育研究Ⅰ	②	
	国語科指導・実践演習			②	教育原理(幼・小)	②	小学校教育研究Ⅱ	2	
	社会科指導法			②	教職概論(幼・小)	②	小学校教育研究Ⅲ	2	
	社会科指導・実践演習	②	教育経営学(幼・小)	②	特別支援教育基礎演習	②			
	算数科指導法	②	教育心理学(幼・小)	②					
	算数科指導・実践演習	②	特別的教育的ニーズ論(幼・小)	②					
	幼児教育コース専門科目	幼児教育コース専門科目	幼児と健康	②	教育方法論	②	社会的養護Ⅰ	②	
			幼児と人間関係	②	(ICT活用の理論と方法を含む)(幼・小)	②	社会的養護Ⅱ	①	
			幼児と環境	②	こども理解	2	保育者論	②	
幼児と言葉			②	こどもの表現あそび	②	保育の心理学	2		
幼児と表現			②	こどもの体育あそび	②	こども家庭支援の心理学	2		
音楽実習Ⅰ			①	こどもの言葉あそび	②	こどもの理解と援助	1		
音楽実習Ⅱ			①	教育相談論	②	こどもの保健	②		
保育内容総論			②	(カウンセリングを含む)(幼・小)	②	こどもの健康と安全	①		
保育内容指導論			②	教育実習事前指導(幼・小)	1	こどもの食と栄養	2		
保育内容(健康)			②	教育実習事後指導(幼・小)	1	こども家庭支援論	2		
保育内容(人間関係)			②	教育実習(幼・小)	4	保育の計画と評価	2		
保育内容(環境)			②	教職実践演習(幼・小)	2	乳児保育Ⅰ	②		
保育内容(言葉)			②	幼児教育演習Ⅰ	①	乳児保育Ⅱ	①		
保育内容(表現)			②	幼児教育演習Ⅱ	①	障害児保育	2		
教育原理(幼・小)			②	幼児教育演習Ⅲ	①	保育実習Ⅰ	4		
保育原理	②	幼児教育演習Ⅳ	①	保育実習Ⅱ	2				
教職概論(幼・小)	②	幼児教育研究Ⅰ	2	保育実習Ⅲ	2				
教育経営学(幼・小)	②	幼児教育研究Ⅱ	2	保育実習指導Ⅰ	2				
教育心理学(幼・小)	②	こども家庭福祉	②	保育実習指導Ⅱ	1				
特別的教育的ニーズ論(幼・小)	②	社会福祉	②	保育実習指導Ⅲ	1				
教育課程論(幼・小)	②	子育て支援	①	保育実践演習	2				

Ⅲ  
学  
習

授業科目の区分等								
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	
学科専門科目	コース専門科目	養護教諭コース専門科目	衛生学	②	精神保健	②	教育経営学	②
			衛生学実験	1	看護学概論	②	教育心理学	②
公衆衛生学	②		看護学各論	②	特別の教育的ニーズ論	②		
学校保健	②		学校看護学	2	教育課程論	②		
学校保健演習Ⅰ	②		看護技術演習(救急処置を含む)Ⅰ	②	道德教育論	②		
学校保健演習Ⅱ	2		看護技術演習(救急処置を含む)Ⅱ	②	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	②		
学校保健管理論	②		救急処置活動論	2	教育方法論	②		
学校保健組織活動論	2		看護学臨床実習	④	(ICT活用の理論と方法を含む)	②		
学校保健執務演習	2		養護教諭基礎セミナーⅠ	2	生徒指導論	②		
養護実践学Ⅰ	②		養護教諭基礎セミナーⅡ	2	教育相談論(カウンセリングを含む)	②		
養護実践学Ⅱ	②		養護教諭教育演習Ⅰ	②	養護実習事前指導	1		
養護活動実習Ⅰ	②		養護教諭教育演習Ⅱ	2	養護実習事後指導	1		
養護活動実習Ⅱ	②		ヘルスアセスメント論	②	養護実習	4		
養護実践学演習	③		保健室経営演習Ⅰ	②	教職実践演習(養護教諭)	2		
健康相談活動の理論及び方法	②		保健室経営演習Ⅱ	2	養護教諭教育研究Ⅰ	②		
健康相談活動演習	②		保健教育演習	②	養護教諭教育研究Ⅱ	2		
栄養学(食品学を含む)	②		健康診断演習	2	養護教諭教育研究Ⅲ	2		
解剖生理学	②		教育原理	②				
薬理概論	②		教職概論	②				
微生物学(免疫学を含む)	②							
コース専門科目	音楽コース専門科目	ソルフェージュ	②	コンピュータミュージックⅠ	1	教育経営学	②	
		楽典	②	コンピュータミュージックⅡ	1	教育心理学	②	
		音楽概論	②	器楽基礎演習Ⅰ	②	特別の教育的ニーズ論	②	
		音楽鑑賞法	②	器楽基礎演習Ⅱ	②	教育課程論	②	
		音楽史	②	器楽表現演習Ⅰ	②	道德教育論	②	
		和声学	2	器楽表現演習Ⅱ	②	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	②	
		作曲法	②	ピアノ基礎演習Ⅰ	②	教育方法論	②	
		指揮法	②	ピアノ基礎演習Ⅱ	②	(ICT活用の理論と方法を含む)	②	
		合唱Ⅰ	①	ピアノ表現演習Ⅰ	②	生徒指導論(進路指導を含む)	②	
		合唱Ⅱ	①	ピアノ表現演習Ⅱ	②	教育相談論(カウンセリングを含む)	②	
		合奏Ⅰ	②	伴奏法Ⅰ	1	教育実習事前指導	1	
		合奏Ⅱ	②	伴奏法Ⅱ	1	教育実習事後指導	1	
		合奏Ⅲ	2	音楽フィールド演習	②	教育実習Ⅰ	4	
		音楽企画実践演習	②	音楽科教育法Ⅰ	②	教育実習Ⅱ	2	
		声楽基礎演習Ⅰ	②	音楽科教育法Ⅱ	2	教職実践演習(中・高)	2	
		声楽基礎演習Ⅱ	②	音楽科教育法Ⅲ	2	音楽教育研究	②	
		声楽表現演習Ⅰ	②	音楽科教育法Ⅳ	2			
		声楽表現演習Ⅱ	②	教育原理	②			
				教職概論	②			
		外国人留学生科目		日本語	2	現代日本の文化	2	

備考

- 1 表中○数字の単位は、必修科目の単位数を、□数字の単位は選択必修科目の単位数を示す。
- 2 学則第46条第3項に規定する124単位以上は、同条第4項に規定する履修コースのうちから、いずれか一つの履修コースを選択し、別掲の卒業要件に掲げる授業科目区分ごとに定める単位数以上の単位を修得するものとする。
- 3 外国人留学生にあっては、別掲の卒業要件に掲げる「全学共通科目」とあるのは、「全学共通科目及び外国人留学生科目」と読み替えて適用することができる。

教育文化学部 芸術学科 授業科目一覧表

		授業科目の区分等					
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
全学共通科目	導入科目	基礎教育セミナーⅠ	①	基礎教育セミナーⅡ	①		
	基礎科目	日本語表現	①	情報機器操作Ⅰ	②	健康体育(実技を含む)	2
		数学入門	①	情報機器操作Ⅱ	②	英語コミュニケーションⅠ	②
	外国語科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語	2	フランス語	2
		英語(中級)	2	中国語	2	スペイン語	2
		英語(上級)	2	ドイツ語	2		
	教養科目	現代生活と政治・経済	2	現代生活と心と体	2	日本国憲法	2
		現代生活と法律	2	現代生活と物理	2	情報社会及び情報倫理	2
		現代生活と福祉	2	現代生活と地球	2	情報処理(中級)	2
		現代生活と芸術	2	現代生活と環境科学	2	情報処理(上級)	2
現代生活と教育		2	北海道の文化	2			
就業力養成科目	キャリアデザインⅠ	①	キャリア演習Ⅱ	①	就業力特別講義Ⅱ	1	
	キャリアデザインⅡ	①	キャリア演習Ⅲ	1	インターンシップ	2	
	キャリアデザインⅢ	①	キャリア演習Ⅳ	1			
	キャリア演習Ⅰ	①	就業力特別講義Ⅰ	1			
発展科目	心身・健康に関する科目群	スポーツ栄養学	2	人間関係の心理学	2	モチベーション心理学	2
		スポーツマーケティング	2	乳幼児心理学	2	司法・犯罪心理学	2
		心理学概論	2	福祉心理学	2	スクールカウンセリング	2
		発達心理学	2	育児支援の心理学	2		
	社会と生活に関する科目群	高齢社会の街づくり	2	生涯学習支援論Ⅰ	2	社会教育経営論Ⅱ	2
		高齢者福祉	2	生涯学習支援論Ⅱ	2	社会教育課題研究	2
		生活の中の介護福祉	2	社会教育経営論Ⅰ	2	社会教育実習	2
	文化と芸術に関する科目群	社会学	2				
		音楽概論	2	音楽鑑賞法	2	音楽史	2
	学部共通科目	教育文化学	②	生涯学習概論Ⅱ	2	青少年学習コーチング論	2
芸術と心理学		2	メディアデザイン概論	2	リカレント教育論	2	
生涯学習概論Ⅰ		2	心理学的支援法	2			
基本科目	芸術理解	美術概論	②	色彩計画	2	舞台芸術概論	②
		美術史	②	ファッションビジネス	2	舞台芸術研修	2
		美学	2	ファッションデザイン概論	②		
	表現技術	トローイングⅠ	②	基礎デザイン	①	服飾技能実習Ⅰ	②
		空間デザイン基礎	②	ユニバーサルデザイン	②	服飾技能実習Ⅱ	②
		服飾基礎実習	②	テクニカルスケッチ	②	演劇入門Ⅰ	2
		クリエイティブシンキング	②	建築計画	2	演劇入門Ⅱ	2
	情報技術	インテリアデザイン	2	ドレーピング	②		
		デジタルイメージⅠ	②	CAD設計	2	舞台映像制作Ⅰ	2
		デジタルデザインⅠ	②	プログラミングによるCG	2	舞台映像制作Ⅱ	2
専門科目	アート教育・文化	ウェブデザインⅠ	②	アパレルCAD	②		
		博物館概論	②	デザイン概論	②	舞台芸術各論Ⅰ	②
		博物館経営論	2	美術表現演習	②	舞台芸術各論Ⅱ	②
	平面表現	博物館資料論	2	映像論	②	服飾造形論	2
		博物館資料保存論	2	写真	②	衣服素材	2
		博物館展示論	②	ファッションコーディネート	②	生活材料学	2
		博物館情報・メディア論	2	ファッション文化論	②	都市と空間の法規	2
		博物館教育論	2	マンガ表現研究	②	住宅と空間の生産	2
		博物館実習	3				
		ドローイングⅡ	②	グラフィックデザインⅢ	2	インテリア設計Ⅰ	②
絵画Ⅰ	2	デジタルイメージⅡ	②	ファッション画	2		
絵画Ⅱ	2	デジタルイメージⅢ	2	テキスタイルデザイン	②		
絵画Ⅲ	2	デジタルデザインⅡ	②	パターンメイキング	②		
立体表現	版画	②	デジタルデザインⅢ	2	アパレルデザイン	②	
	グラフィックデザインⅠ	2	ウェブデザインⅡ	2	染色	2	
	グラフィックデザインⅡ	2	デジタルビデオ編集	2			
	彫刻Ⅰ	2	3Dモーショングラフィックス	2	創作テキスタイル	②	
	彫刻Ⅱ	2	3DグラフィックスⅠ	2	マテリアル	②	
	彫刻Ⅲ	2	3DグラフィックスⅡ	2	服飾創作	②	
	陶芸Ⅰ	②	建築空間のしくみ	2	キッズファッション	2	
陶芸Ⅱ	2	建築一般構造演習	2	ファッションクラフト	2		
空間・身体表現	金属工芸	2	空間模型演習	②	舞台衣装Ⅰ	2	
	木材工芸	2	服飾造形実習	②	舞台衣装Ⅱ	2	
	サウンドデザイン	2	朗読・ナレーション	2	ステージ・アーツ入門Ⅰ	②	
	リビングデザイン論	②	俳優論(演習を含む)	2	ステージ・アーツ入門Ⅱ	②	
	住宅設計演習	2	ダンス&トレーニングⅠ	②	ステージ・アーツ入門Ⅲ	②	
	構造のかたちと力	2	ダンス&トレーニングⅡ	②	ステージ・アーツ発展Ⅰ	②	
	構造力学演習	2	ダンス&トレーニングⅢ	②	ステージ・アーツ発展Ⅱ	②	
空間設備	2	ダンス&トレーニングⅣ	②	ステージ・アーツ発展Ⅲ	②		
生活環境	2	アクティング&オーディオドラマⅠ	2	ステージ・アーツ研究Ⅰ	②		
トータルビューティ	2	アクティング&オーディオドラマⅡ	2	ステージ・アーツ研究Ⅱ	②		
俳優トレーニング	1	アクティング&オーディオドラマⅢ	2	ステージ・アーツ研究Ⅲ	②		
発想・企画・プレゼンテーション	3次元造形演習	2	プレゼンテーションデザイン	2	店舗デザイン	2	
	デジタルコンテンツ制作	2	ディスプレイデザイン	2	演劇と映画	②	
	ブランディングデザイン	②	インテリア設計Ⅱ	②	ステージ総合実習	2	
科目実践	ポートフォリオ制作	②	専門演習Ⅰ	②	卒業研究	④	
	総合・統合	2	専門演習Ⅱ	②			
外国人留学生科目	日本語	2	現代日本の文化	2			

備考

- 1 表中○数字の単位は、必修科目の単位数を示す。
- 2 表中□数字の科目は、選択必修科目の単位数を示し、この中から12科目24単位を修得するものとする。
- 3 学則第46条第3項に規定する124単位以上は、別掲の卒業要件に掲げる授業科目区分ごとに定める単位数以上の単位を修得するものとする。
- 4 外国人留学生にあっては、別掲の卒業要件に掲げる「全学共通科目」とあるのは、「全学共通科目及び外国人留学生科目」と読み替えて適用することができる。

教育文化学部 心理カウンセリング学科 授業科目一覧表

		授業科目の区分等					
		授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
全学共通科目	導入科目	基礎教育セミナーⅠ	①	基礎教育セミナーⅡ	①		
	基礎科目	日本語表現	①	情報機器操作Ⅰ	②	健康体育(実技を含む)	2
		数学入門	①	情報機器操作Ⅱ	②	英語コミュニケーションⅠ	②
	外国語科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語	2	フランス語	2
		英語(中級)	2	中国語	2	スペイン語	2
		英語(上級)	2	ドイツ語	2		
	教養科目	現代生活と政治・経済	2	現代生活と心と体	2	日本国憲法	2
		現代生活と法律	2	現代生活と物理	2	情報社会及び情報倫理	2
		現代生活と福祉	2	現代生活と地球	2	情報処理(中級)	2
		現代生活と芸術	2	現代生活と環境科学	2	情報処理(上級)	2
現代生活と教育		2	北海道の文化	2			
就業力養成科目	キャリアデザインⅠ	①	キャリア演習Ⅱ	①	就業力特別講義Ⅱ	1	
	キャリアデザインⅡ	①	キャリア演習Ⅲ	1	インターンシップ	2	
	キャリアデザインⅢ	①	キャリア演習Ⅳ	1			
	キャリア演習Ⅰ	①	就業力特別講義Ⅰ	1			
発展科目	心身・健康に関する科目群	スポーツ栄養学	2	スポーツマーケティング	2		
	社会と生活に関する科目群	高齢社会の街づくり	2	生涯学習支援論Ⅰ	2	社会教育経営論Ⅱ	2
		高齢者福祉	2	生涯学習支援論Ⅱ	2	社会教育課題研究	2
		生活の中の介護福祉	2	社会教育経営論Ⅰ	2	社会教育実習	2
	文化と芸術に関する科目群	音楽概論	2	美術史	2	インテリアデザイン	2
		音楽鑑賞法	2	ファッションデザイン概論	2	ユニバーサルデザイン	2
		音楽史	2				
学部共通科目	教育文化学	②	生涯学習概論Ⅱ	2	青少年学習コーチング論	2	
	芸術と心理学	2	メディアデザイン概論	2	リカレント教育論	2	
	生涯学習概論Ⅰ	2	心理学的支援法	2			
学科専門科目	心理学概論	②	心理学基礎演習Ⅰ	①	司法福祉論	2	
	教育心理学概論(教育・学校心理学)	2	心理学基礎演習Ⅱ	①	社会福祉調査の基礎	2	
	健康・医療心理学	2	心理学統計法	②	精神医学Ⅰ(精神疾患とその治療Ⅰ)	2	
	人間関係の心理学	2	心理学実験	4	精神医学Ⅱ(精神疾患とその治療Ⅱ)	2	
	乳幼児心理学	2	心理学研究法	②	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2	
	福祉心理学	2	臨床心理援助技法論Ⅰ(精神分析療法)	2	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2	
	育児支援の心理学	2	臨床心理援助技法論Ⅱ(認知行動療法)	2	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	
	高齢者心理学	2	臨床心理援助技法論Ⅲ(ブリーフ・セラピー)	2	精神保健福祉の原理	4	
	青年心理学	2	心理演習	4	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	
	知覚・認知心理学	2	心理実習	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	
	学習心理学(学習・言語心理学Ⅰ)	2	スクールカウンセリング	2	ソーシャルワークの理論と方法(専門Ⅰ)	2	
	コミュニケーション心理学(学習・言語心理学Ⅱ)	2	生命倫理学	2	ソーシャルワークの理論と方法(専門Ⅱ)	2	
	感情・人格心理学	2	公認心理師の職責	2	精神障害リハビリテーション論	2	
	生理心理学(神経・生理心理学Ⅰ)	2	関係行政論	2	精神保健福祉制度論	2	
	神経心理学(神経・生理心理学Ⅱ)	2	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2	精神保健福祉援助演習(基礎)	2	
	社会心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ)	2	医学知識	2	精神保健福祉援助演習Ⅰ	2	
	家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ)	2	社会学	2	精神保健福祉援助演習Ⅱ	2	
	発達心理学	2	社会学と社会システム	2	精神保健福祉援助演習Ⅲ	2	
	障害者・障害児心理学	2	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	精神保健福祉援助実習指導	6	
	司法・犯罪心理学	2	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	精神保健福祉援助実習	7	
	産業・組織心理学	2	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	社会福祉学(応用)	2	
	臨床心理学概論	②	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	精神保健福祉学(応用)	2	
	ポジティブ心理学	2	社会保障論Ⅰ	2	就業力特別演習	1	
	モチベーション心理学	2	社会保障論Ⅱ	2	専門演習Ⅰ	②	
	心理的アセスメント	2	障害者福祉	2	専門演習Ⅱ	②	
			権利擁護と成年後見制度	2	卒業研究	④	
	外国人留学生科目	日本語	2	現代日本の文化	2		

備考

- 1 表中○数字の単位は、必修科目の単位数を示す。
- 2 学則第46条第3項に規定する124単位以上は、別掲の卒業要件に掲げる授業科目区分ごとに定める単位数以上の単位を修得するものとする。
- 3 外国人留学生にあっては、別掲の卒業要件に掲げる「全学共通科目」とあるのは、「全学共通科目及び外国人留学生科目」と読み替えて適用することができる。

生涯スポーツ学部スポーツ教育学科 及び 教育文化学部芸術学科 教科及び教職に関する科目一覧表

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目名	中学校教諭 1種免許状		高等学校教諭 1種免許状	
			保健 体育	美術	保健 体育	美術
する 科 目 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	保健体育科教育法Ⅰ（※1）	②	/	②	/
		保健体育科教育法Ⅱ（※1）	②		②	
		保健体育科教育法Ⅲ（※1）	②		②	
		保健体育科教育法Ⅳ（※1）	②		2	
		美術科教育法Ⅰ（※2）		②		②
		美術科教育法Ⅱ（※2）		②		②
		美術科教育法Ⅲ（※2）		②		②
		美術科教育法Ⅳ（※2）		②		2
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	②	②	②
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論	②	②	②	②
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営学	②	②	②	②
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②	②	②	②
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別の教育的ニーズ論	②	②	②	②
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	②	②	②	②
関 連 す る 科 目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	②	②	/	/
	総合的な学習の時間の指導法 ※中学校のみ	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	②	②	②	②
	総合的な探究の時間の指導法 ※高等学校のみ					
	特別活動の指導法					
	教育の方法及び技術	教育方法論（ICT活用の理論と方法を含む）	②	②	②	②
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）	②	②	②	②
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談論（カウンセリングを含む）	②	②	②	②	
る 科 目 実 践 に 関 す る 科 目	教育実習	教育実習事前指導	①	①	①	①
		教育実習事後指導	①	①	①	①
		教育実習Ⅰ	④	④	4*	4*
		教育実習Ⅱ	/	/	2*	2*
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	②	②	②	②
大学が独自に設定する科目		道徳教育論	/	/	2	2

備考

- 1 表中の○数字は必修科目の単位数を、\*印は選択必修科目の単位数を示す。
- 2 履修方法、その他必要な事項については、北翔大学教職課程履修規程の定めによる。
- 3 (※1):生涯スポーツ学部スポーツ教育学科対象科目
- 4 (※2):教育文化学部芸術学科対象科目

## 4) 2024年度教育課程表

### [生涯スポーツ学部]

生涯スポーツ学部 全学共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
導入科目											
基礎教育セミナーⅠ	演習	①								担当教員	スポーツ教育学科
										担当教員	健康福祉学科
基礎教育セミナーⅡ	演習	①								担当教員	スポーツ教育学科
										担当教員	健康福祉学科
基礎科目											
日本語表現	講義	①								小杉直美	
										梶晴美	
										小坂守孝	
										二宮孝行	
										村松幹男	
										高橋さおり	
										石原深雪	
										福田信一	
数学入門	講義	①								松澤衛	
										竹内雅明	
										三浦公裕	
										山本敬三	
										荒川巖	
										佐々木雅史	
										佐藤克之	
										山下薫	
情報機器操作Ⅰ	演習	②							槇洋一	スポーツ教育学科	
									森夏節		
									大関慎	健康福祉学科	
情報機器操作Ⅱ	演習	②							大関慎	スポーツ教育学科	
									槇洋一		
									森夏節		
									大関慎	健康福祉学科	
健康体育（実技を含む）	講義・実技							2	小峯秋二	スポーツ教育学科	
				2					山田亮	健康福祉学科	
英語コミュニケーションⅠ	演習	②							C.B.サイモンズ	スポーツ教育学科	
									アレックス グレイグ	健康福祉学科	

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
<b>外国語科目</b>											
英語コミュニケーションⅡ	演習		2							C.B.サイモンズ アレックス グレイグ	スポーツ教育学科 健康福祉学科
英語（中級）	講義		2							竹内典彦	
英語（上級）	講義			2						竹内典彦	
韓国語	講義		2							田光子 千永柱	
中国語	講義		2							田恩蘋	
ドイツ語	講義		2							菊地達夫	
フランス語	講義		2							ニコラ ジェゴンデ	
スペイン語	講義		2							ヘレナ フォルトウナート	
<b>教養科目</b>											
現代生活と政治・経済	講義		2							神守一志 李 敖	
現代生活と法律	講義		2							山本完自	
現代生活と福祉	講義		2							川端里香	
現代生活と芸術	講義		2							岡元敦司 湯浅大吾	
現代生活と教育	講義		2							杉浦勉 山田潮	
現代生活と心と体	講義			2						杉岡品子	学則に則った遠隔授業
現代生活と物理	講義			2						小田研 松澤衛	学則に則った遠隔授業
現代生活と地球	講義			2						横山光	
現代生活と環境科学	講義			2						佐々木浩子	
北海道の文化	講義			2						舟山直治	
日本国憲法	講義			2						田中健太郎 山本完自	スポーツ教育学科 健康福祉学科
情報社会及び情報倫理	講義		2							小杉直美	
情報処理（中級）	演習				2					松澤衛 小杉直美	
情報処理（上級）	演習					2				松澤衛	
<b>就業力養成科目</b>											
キャリアデザインⅠ	講義	①								永井秀岳	
キャリアデザインⅡ	演習		①							杉浦智光 永井秀岳 樋原智恵 本村規子	
キャリアデザインⅢ	演習			①						杉浦智光 永井秀岳 樋原智恵 本村規子	
キャリア演習Ⅰ	演習				①					杉浦智光 永井秀岳 樋原智恵 本村規子	

生涯スポーツ学部 全学共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前	後	前	後	前	後	前	後			
キャリア演習Ⅱ	講義・演習							①		永井秀岳		
キャリア演習Ⅲ	演習								1	本村規子		
キャリア演習Ⅳ	講義・演習									1	永井秀岳	
就業力特別講義Ⅰ	講義				1						松澤 衛	選択必修科目
											小峯 秋二	
											竹内 雅明	
											山田 潮	
											荒川 巖	
											佐々木 雅史	
											佐藤 克之	
										山下 薫		
就業力特別講義Ⅱ	講義・演習					1				荒川 巖	選択必修科目	
インターンシップ	実習						← 2 →			飯田 昭人	集中講義	
外国人留学生科目												
日 本 語	講義	2								田 光 子	集中講義	
現 代 日 本 の 文 化	講義		2							菊 地 達 夫	集中講義	



生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 発展科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
<b>心身・健康に関する科目群</b>											
心 理 学 概 論	講義	2								澤 聡 一	健康福祉学科・ 心理カウンセリング学科 専門科目
発 達 心 理 学	講義	2								新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目
人 間 関 係 の 心 理 学	講義		2							入 江 智 也	学則に則った遠隔授業 心理カウンセリング学科 専門科目
乳 幼 児 心 理 学	講義		2							新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目
福 祉 心 理 学	講義		2							佐 藤 至 英	健康福祉学科・ 心理カウンセリング学科 専門科目
育 児 支 援 の 心 理 学	講義			2						風 間 雅 江	心理カウンセリング学科 専門科目
モ チ ベ ー シ ョ ン 心 理 学	講義			2						佐 藤 至 英	心理カウンセリング学科 専門科目
司 法 ・ 犯 罪 心 理 学	講義				2					飯 田 昭 人	心理カウンセリング学科 専門科目
ス ク ー ル カ ウ ン セ リ ン グ	講義						2			新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目
<b>社会と生活に関する科目群</b>											
高 齢 社 会 の 街 づ く り	講義						2			佐 藤 克 之	健康福祉学科 専門科目
高 齢 者 福 祉	講義		2							吉 田 修 大	健康福祉学科 専門科目
生 活 の 中 の 介 護 福 祉	講義	2								福 島 義 典	健康福祉学科 専門科目
青 少 年 学 習 コ ー チ ン グ 論	講義				2					佐 々 木 邦 子	教育文化学部 共通科目
リ カ レ ン ト 教 育 論	講義							2		佐 々 木 邦 子	教育文化学部 共通科目
社 会 学	講義	2								松 下 守 邦	健康福祉学科・ 心理カウンセリング学科 専門科目
生 涯 学 習 支 援 論 I	講義							2		阿 部 豊	
生 涯 学 習 支 援 論 II	講義								2	阿 部 豊	
社 会 教 育 経 営 論 I	講義			2						阿 部 豊	
社 会 教 育 経 営 論 II	講義				2					阿 部 豊	
社 会 教 育 課 題 研 究	講義							2		川 森 功 偉	集中講義
社 会 教 育 実 習	講義・実習									川 森 功 偉	集中講義
<b>文化と芸術に関する科目群</b>											
音 楽 概 論	講義		2							岡 元 敦 司	教育学科 専門科目
音 楽 鑑 賞 法	講義		2							千 葉 圭 説	教育学科 専門科目
										岡 元 敦 司	
										坂 田 朋 優	
音 楽 史	講義				2				坂 田 朋 優	教育学科 専門科目	
美 術 史	講義				2				柴 勤	芸術学科 専門科目	
フ ァ ッ シ ョ ン デ ザ イン 概 論	講義	2								加 藤 万 紀	芸術学科 専門科目
										大 信 田 静 子	
イ ン テ リ ア デ ザ イン	演習	2								千 里 政 文	芸術学科 専門科目
ユ ニ バ ー サ ル デ ザ イン	講義		2							千 里 政 文	芸術学科 専門科目

生涯スポーツ学部 健康福祉学科 発展科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
<b>心身・健康に関する科目群</b>											
ス ポ ー ツ 栄 養 学	講義			2						黒 田 裕 太	スポーツ教育学科 専門科目
ス ポ ー ツ マ ー ケ テ ィ ン グ	講義							2		永 谷 稔	スポーツ教育学科 専門科目
発 達 心 理 学	講義	2								新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目
人 間 関 係 の 心 理 学	講義		2							入 江 智 也	学則に則った遠隔授業 心理カウンセリング学科 専門科目
乳 幼 児 心 理 学	講義		2							新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目
育 児 支 援 の 心 理 学	講義			2						風 間 雅 江	心理カウンセリング学科 専門科目
モ チ ベ ー シ ョ ン 心 理 学	講義			2						佐 藤 至 英	心理カウンセリング学科 専門科目
司 法 ・ 犯 罪 心 理 学	講義				2					飯 田 昭 人	心理カウンセリング学科 専門科目
ス ク ー ル カ ウ ン セ リ ン グ	講義						2			新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目
<b>社会と生活に関する科目群</b>											
青 少 年 学 習 コ ー チ ン グ 論	講義				2					佐々木 邦子	教育文化学部 共通科目
リ カ レ ン ト 教 育 論	講義							2		佐々木 邦子	教育文化学部 共通科目
生 涯 学 習 支 援 論 I	講義							2		阿 部 豊	
生 涯 学 習 支 援 論 II	講義								2	阿 部 豊	
社 会 教 育 経 営 論 I	講義		2							阿 部 豊	
社 会 教 育 経 営 論 II	講義			2						阿 部 豊	
社 会 教 育 課 題 研 究	講義						2			川 森 功 偉	集中講義
社 会 教 育 実 習	講義・実習						← 2 →			川 森 功 偉	集中講義
<b>文化と芸術に関する科目群</b>											
音 楽 概 論	講義		2							岡 元 敦 司	教育学科 専門科目
音 楽 鑑 賞 法	講義		2							千 葉 圭 説	教育学科 専門科目
										岡 元 敦 司	
										坂 田 朋 優	
音 楽 史	講義			2						坂 田 朋 優	教育学科 専門科目
美 術 史	講義			2						柴 勤	芸術学科 専門科目
フ ァ ッ シ ョ ン デ ザ イン 概 論	講義	2								加 藤 万 紀	芸術学科 専門科目
										大 信 田 静 子	
イ ン テ リ ア デ ザ イン	演習	2								千 里 政 文	芸術学科 専門科目
ユ ニ バ ー サ ル デ ザ イン	講義		2							千 里 政 文	芸術学科 専門科目

生涯スポーツ学部 学部共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
生涯スポーツ学	講義	②								川西正志 増山尚美 小坂井留美	スポーツ教育学科 健康福祉学科
生涯学習概論Ⅰ	講義	2								川森功偉	
生涯学習概論Ⅱ	講義		2							川森功偉	
栄養と健康	講義		2							黒田裕太	学則に則った遠隔授業
健康学	講義	②								小田史郎	
介護予防論	講義							2		小坂井留美 上田知行 小田史郎 吉田修大	スポーツ教育学科 (健康福祉学科同時展開)
		2								小坂井留美 上田知行 小田史郎 吉田修大	健康福祉学科 (スポーツ教育学科同時展開)
認知症予防	演習				2					小田史郎 小坂井留美	一部集中講義
地域支援実習	実習					← 2 →				小坂井留美 大宮真一 川森功偉 渡部峻 小川裕美 小西達也	一部集中講義
健康運動指導演習	演習			2						大宮真一 増山尚美	
体育原理	講義		2							近藤雄一郎	集中講義
スポーツ心理学	講義	2								吉田聡美 畝中智志	
スポーツ社会学	講義				2					植田俊	
スポーツ運動学	講義	2								廣田修平	
スポーツマネジメント	講義		2							永谷稔	
スポーツ史	講義					2				金誠	
生理学	講義	2								柴田啓介	
運動生理学	講義		2							井出幸二郎	
就業力特別演習Ⅰ	演習					1				川森功偉 黒澤直子 高田真吾 菊地はるひ 花井篤子 瀧澤聡 吉田昌弘 渡部峻 是枝亮	

Ⅲ  
学  
習

生涯スポーツ学部 学部共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
就 業 力 特 別 演 習 II	演習							1		川 森 功 偉	
										小坂井 留美	
										立 田 祐 子	
										久 野 真知子	
										森 靖 明	
就 業 力 特 別 演 習 III	演習							1		井 出 幸二郎	
										大 宮 真 一	
										高 田 真 吾	
										吉 田 昌 弘	
										黒 田 裕 太	
										山 本 敬 三	
								吉 田 竜 平			

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
ス ポ ー ツ 教 育 学 概 論	講義	②								廣 田 修 平	
										上 田 知 行	
										大 宮 真 一	
										菊 地 はるひ	
										坂 谷 充	
										高 田 真 吾	
										竹 田 唯 史	
										永 谷 稔	
										松 井 由紀夫	
										森 靖 明	
基 礎 解 剖 学	講義	2								高 田 真 吾	学則に則った遠隔授業 健康福祉学科同時展開
機 能 解 剖 学	講義		2							吉 田 真	学則に則った遠隔授業
体 力 測 定 評 価	講義			2						瀧 澤 一 騎	健康福祉学科同時展開
体 力 測 定 評 価 演 習	演習				2					上 田 知 行	健康福祉学科同時展開 一部集中講義
										井 出 幸二郎	
										高 田 真 吾	
										小 西 達 也	
ト レ ー ニ ン グ 論	講義		2							山 本 敏 美	健康福祉学科同時展開
ト レ ー ニ ン グ 演 習	演習			2						井 出 幸二郎	健康福祉学科同時展開
										上 田 知 行	
										藤 原 信 介	
									松 田 光 史		

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
スポーツ・バイオメカニクス	講義			2						山本敬三	健康福祉学科同時展開
バイオメカニクス演習	演習				2					山本敬三	
生活習慣病概論	講義			2						沖田孝一	健康福祉学科同時展開
スポーツ医学基礎	講義			2						杉岡品子 永谷稔 吉田昌弘	学則に則った遠隔授業 健康福祉学科同時展開
スポーツ内科学	講義					2				沖田孝一	健康福祉学科同時展開
衛生学及び公衆衛生学	講義					2				佐々木浩子	
救急処置	講義			2						吉田真 沖田孝一 羽賀将衛	健康福祉学科同時展開
スポーツ整形外科学	講義			2						渡邊耕太 廣瀬聡明 小林拓馬 吉田昌弘	健康福祉学科同時展開 集中講義
運動処方演習	演習							2		上田知行 沖田孝一 小坂井留美	健康福祉学科同時展開
スポーツ栄養学	講義			2						黒田裕太	発展科目
スポーツマーケティング	講義							2		永谷稔	発展科目
メンタルトレーニング演習	演習					2				吉田聡美	
ジュニアスポーツ論	講義							2		大宮真一	健康福祉学科同時展開
コーチ学	講義	2								大宮真一 畝中智志 竹内雅明	健康福祉学科同時展開
障がい者スポーツ論	講義					2				梶晴美	健康福祉学科同時展開
レジャー・レクリエーション論	講義			2						坂谷充	健康福祉学科同時展開
野外教育実習	講義・実習			2						坂谷充 今竜一 小泉真希	一部集中講義 学外実習
野外教育指導演習	演習					2				坂谷充 長江集子 安原政志	一部集中講義
雪上活動実習	講義・実習			1						坂谷充 小泉真希 安原政志	一部集中講義 学外実習
生涯スポーツ（水泳・水中運動）	実技	1								花井篤子 稲山敬太 高屋敷亨子 中村恵	選択必修科目
生涯スポーツ（陸上競技）	実技	1								大宮真一 北風沙織 仁井有介	選択必修科目 健康福祉学科同時展開
生涯スポーツ（冬季スポーツ）	実技			1						竹田唯史 小田史郎	選択必修科目 一部集中講義

Ⅲ  
学  
習

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
生涯スポーツ（エアロビック）	実技	1								是 枝 亮	選択必修科目 健康福祉学科同時展開
生涯スポーツ（バドミントン）	実技	1								竹 内 雅 明 三 上 裕 司	選択必修科目
生涯スポーツ（野球・ソフトボール）	実技				1					渡 部 峻	選択必修科目
生涯スポーツ（バレーボール）	実技		1							永 谷 稔 長 尾 明 也	選択必修科目 健康福祉学科同時展開
生涯スポーツ（バスケットボール）	実技		1							畝 中 智 志 横 山 茜 理	選択必修科目 健康福祉学科同時展開
生涯スポーツ（テニス）	実技			1						黒 田 裕 太 小 峯 秋 二	選択必修科目 健康福祉学科同時展開
生涯スポーツ指導演習（サッカー）	演習				2					多 賀 健	健康福祉学科同時展開
生涯スポーツ指導演習（体づくり運動）	演習				2					増 山 尚 美 作 田 文 子	
生涯スポーツ指導演習（ダンス）	演習					2				増 山 尚 美 長谷川 由 樹	
生涯スポーツ指導演習（武道）	演習					2				小 山 尋 明 菘 島 崇	
生涯スポーツ（障がい者スポーツ）	実技							1		松 井 由 紀 夫 齊 藤 雄 大	健康福祉学科同時展開
生涯スポーツ指導演習（陸上競技）	演習				1					大 宮 真 一 田 川 芳 紀	
生涯スポーツ指導演習（バスケットボール）	演習				1					横 山 茜 理 畝 中 智 志	
生涯スポーツ指導演習（バレーボール）	演習					1				長 尾 明 也	
生涯スポーツ指導演習（器械運動）	演習			2						廣 田 修 平 松 本 裕 也	
生涯スポーツ指導演習（エアロビック）	演習			2						菊 地 はるひ 是 枝 亮	健康福祉学科同時展開
生涯スポーツ指導演習（水泳・水中運動）	演習				2					花 井 篤 子 高屋敷 亨 子	健康福祉学科同時展開
専 門 演 習 I	演習				②					担 当 教 員	集中講義
専 門 演 習 II	演習					②				担 当 教 員	集中講義
専 門 演 習 III	演習						②			担 当 教 員	集中講義
卒 業 研 究	演習							②		担 当 教 員	集中講義

スポーツ教育学科 学科専門科目 スポーツ教育コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
ス ポ ー ツ 教 育 学	講義								②	竹 田 唯 史	学則に則った遠隔授業
ス ポ ー ツ 教 育 演 習 A	演習					2				森 浩 之	
ス ポ ー ツ 教 育 演 習 B	演習							2		今 竜 一	
学 校 教 育 研 究 A	演習					2				川 瀬 雅 之	
学 校 教 育 研 究 B	演習							2		渡 部 峻	
学 校 保 健	講義		2							杉 岡 品 子	
保 健 体 育 科 内 容 構 成 論	講義							2		佐 藤 亮 平	集中講義
特 別 支 援 教 育 総 論	講義・演習	2								立 田 祐 子	
										瀧 澤 聡	
										松 井 由 紀 夫	
										石 塚 誠 之	
										小 原 直 哉	
										上 林 宏 文	
佐 藤 至 英											
知 的 障 害 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義・演習	2								石 塚 誠 之	
										佐 藤 至 英	
肢 体 不 自 由 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義	2								松 井 由 紀 夫	
										皆 川 悦 子	
病 弱 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義		2							福 井 一 之	
知 的 障 害 教 育 I	講義			2						立 田 祐 子	
知 的 障 害 教 育 II	講義						2			立 田 祐 子	
肢 体 不 自 由 教 育 I	講義			2						松 井 由 紀 夫	
肢 体 不 自 由 教 育 II	講義						2			上 林 宏 文	
病 弱 教 育	講義			2						高 橋 和 明	
視 覚 ・ 聴 覚 障 害 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義						1			佐 藤 至 英	
										小 原 直 哉	
視 覚 ・ 聴 覚 障 害 者 の 教 育 課 程 及 び 指 導 法	講義						1			小 原 直 哉	
										佐 藤 至 英	
重 複 障 害 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義・演習					1				上 林 宏 文	
重 複 障 害 者 の 教 育 課 程 及 び 指 導 法	講義・演習					1				小 原 直 哉	
発 達 障 害 者 等 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義・演習		1							瀧 澤 聡	
発 達 障 害 者 等 の 教 育 課 程 及 び 指 導 法	講義		1							瀧 澤 聡	
特 別 支 援 教 育 実 習 事 前 指 導	講義・演習						1			松 井 由 紀 夫	
										瀧 澤 聡	
										立 田 祐 子	
特 別 支 援 教 育 実 習 事 後 指 導	講義・演習							1		松 井 由 紀 夫	集中講義
										瀧 澤 聡	
										立 田 祐 子	
特 別 支 援 教 育 実 習	実習							2	2	松 井 由 紀 夫	集中講義
										瀧 澤 聡	
										立 田 祐 子	

Ⅲ  
学  
習

スポーツ教育学科 学科専門科目 スポーツトレーナーコース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
健康産業施設実習	実習								2	上田知行 高田真吾	健康福祉学科同時展開 一部集中講義
中高年スポーツ論	講義			②						上田知行	健康福祉学科同時展開
テーピング演習	演習		2							木田貴英	
スポーツ解剖学	講義		2							吉田真 榊善成	
臨床スポーツ医学	講義			2						渡邊耕太 廣瀬聡明 小林拓馬 吉田昌弘	集中講義
運動処方	講義				2					小田史郎	健康福祉学科同時展開
スポーツ外傷・障害の評価理論	講義		2							吉田真 吉田昌弘	
スポーツ外傷・障害の評価演習	演習			2						榊善成 松田光史 綿谷美佐子	
コンディショニング理論	講義				2					吉田真 吉田昌弘	
コンディショニング演習	演習					2				鎌倉一	
アスレティックトレーナー概論	講義		②							吉田真	
アスレティックリハビリテーション理論	講義			2						吉田昌弘	
アスレティックリハビリテーション演習Ⅰ	演習				2					吉田昌弘 池田祐真 戸田創	
アスレティックリハビリテーション演習Ⅱ	演習					2				吉田昌弘 伊藤雄 河合誠	
アスレティックトレーニング指導実習	実習							← 4 →		吉田真 吉田昌弘	集中講義

スポーツ教育学科 学科専門科目 競技スポーツコース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
競技スポーツ論	講義			②						菊地はるひ 畝中智志 大宮真一 竹内雅明 永谷稔 廣田修平 横山茜理 渡部峻	健康福祉学科同時展開
アスリート論	講義			②						横山茜理	健康福祉学科同時展開
コーチング論	講義			②						菊地はるひ	健康福祉学科同時展開
スポーツの戦術・戦略論	講義					2				渡部峻	健康福祉学科同時展開
アスリートを取り巻く環境	講義				2					永谷稔	健康福祉学科同時展開



スポーツ教育学科 学科専門科目 競技スポーツコース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
競技スポーツコーチング演習Ⅰ	演習							2		畝 中 智 志	健康福祉学科同時展開 集中講義
										大 宮 真 一	
										菊 地 はるひ	
										小 峯 秋 二	
										竹 内 雅 明	
										永 谷 稔	
										廣 田 修 平	
										横 山 茜 理 渡 部 峻	
競技スポーツコーチング演習Ⅱ	演習							2		畝 中 智 志	健康福祉学科同時展開 集中講義
										大 宮 真 一	
										菊 地 はるひ	
										小 峯 秋 二	
										竹 内 雅 明	
										永 谷 稔	
										廣 田 修 平	
										横 山 茜 理 渡 部 峻	

Ⅲ  
学  
習

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 教科及び教職に関する科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
保健体育科教育法Ⅰ	講義		②							今 竜 一	
保健体育科教育法Ⅱ	講義			②						竹 田 唯 史	
保健体育科教育法Ⅲ	講義			②						今 竜 一	
保健体育科教育法Ⅳ	講義					②				森 靖 明	
										小 峯 秋 二	
										今 竜 一	
教育原理	講義	②								小 山 誠 南	
教職概論	講義	②								川 瀬 雅 之	
教育経営学	講義				②					川 瀬 雅 之	
教育心理学	講義	②								西 塚 拓 海	
特別の教育的ニーズ論	講義		②							瀧 澤 聡	
教育課程論	講義				②					神 守 一 志	教育学科(音)同時展開
道徳教育論	講義				②					高 橋 さおり	
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	講義			②						川 瀬 雅 之	
										飯 塚 正 樹	
教育方法論 (ICT活用の理論と方法を含む)	講義					②				神 守 一 志	
										二 宮 孝 行	
生徒指導論 (進路指導を含む)	講義		②							田 川 芳 紀	
教育相談論 (カウンセリングを含む)	講義			②						杉 岡 品 子	
教育実習事前指導	講義					①				森 靖 明	
										川 瀬 雅 之	
										小 峯 秋 二	
										今 竜 一	
										立 田 祐 子	
										松 井 由 紀 夫	
										田 川 芳 紀	
								森 浩 之			
教育実習事後指導	講義							①		森 靖 明	一部集中講義
										川 瀬 雅 之	
										今 竜 一	
										瀧 澤 聡	
教育実習Ⅰ	実習						4	4		森 靖 明	集中講義
										川 瀬 雅 之	
										今 竜 一	
教育実習Ⅱ	実習						2	2		森 靖 明	集中講義
										川 瀬 雅 之	
										今 竜 一	
教職実践演習(中・高)	講義・演習								②	今 竜 一	
										川 瀬 雅 之	
										瀧 澤 聡	
										松 井 由 紀 夫	

健康福祉学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
健康福祉学概論	講義	②								吉田修大 小田史郎 川森功偉	
ジュニアスポーツ論	講義					2				大宮真一	スポーツ教育学科同時展開
中高年スポーツ論	講義					2				上田知行	スポーツ教育学科同時展開
障がい者スポーツ論	講義					2				梶晴美	スポーツ教育学科同時展開
生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	実技							1		松井由紀夫 齊藤雄大	スポーツ教育学科同時展開
生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	演習				2					花井篤子 高屋敷亨子	スポーツ教育学科同時展開
運動処方	講義				2					小田史郎	スポーツ教育学科同時展開
体力測定評価演習	演習				2					上田知行 井出幸二郎 高田真吾 小西達也 瀧澤一騎	スポーツ教育学科同時展開 一部集中講義
健康トレーニング実践演習	演習		2							山本敏美	
健康福祉専門職演習Ⅰ	演習						2			吉田竜平	
健康福祉専門職演習Ⅱ	演習							2		久野真知子	
介護の基本Ⅰ	講義・演習	2								本間美幸 浅野美奈子 田中美雪 橋本抄苗	
介護の基本Ⅱ	講義・演習	2								高橋銀司	
生活支援技術	講義・演習		2							本間美幸 相沢和臣 五十嵐あけみ 五十嵐修平	一部集中講義
介護を必要とする人の理解	講義・演習	2								梅村圭 白川由美 瀬藤真理子	
社会学	講義	2								松下守邦	心理カウンセリング学科同時展開 発展科目
高齢社会の街づくり	講義					2				佐藤克之	発展科目
生活学概論	講義			2						鍋島ゆかり	
生活の中の介護福祉	講義	2								福島義典	発展科目
障害のある人の理解	講義		2							梶晴美	
リハビリテーション論	講義					2				木村侑 小玉武志	集中講義
レクリエーション実技	実技		1							笹木笑子	
医学概論	講義	2								政氏伸夫	心理カウンセリング学科同時展開
医学知識	講義		2							政氏伸夫	心理カウンセリング学科同時展開
老年医学	講義			2						政氏伸夫	
精神保健	講義	2								杉岡品子	学則に則った遠隔授業
認知症論	講義			2						竹田千春	
認知症ケア論	講義				2					岩本栄行	

Ⅲ  
学  
習

健康福祉学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
心 理 学 概 論	講義	2								澤 聡 一	心理カウンセリング学科同時展開 発展科目
福 祉 心 理 学	講義		2							佐 藤 至 英	心理カウンセリング学科同時展開 発展科目
高 齢 者 心 理 学	講義			2						田 辺 毅 彦	心理カウンセリング学科同時展開
高 齢 者 福 祉	講義		2							吉 田 修 大	発展科目
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	講義	2								吉 田 竜 平	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義		2							久 野 真 知 子	
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 演 習 Ⅰ	演習			2						吉 田 竜 平	
社 会 保 障 論 Ⅰ	講義			2						高 波 千 代 子	
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義					2				勝 又 健 太	心理カウンセリング学科同時展開
専 門 演 習 Ⅰ	演習					②				担 当 教 員	集中講義
専 門 演 習 Ⅱ	演習							②		担 当 教 員	集中講義
専 門 演 習 Ⅲ	演習								②	担 当 教 員	集中講義
専 門 演 習 Ⅳ	演習								①	担 当 教 員	集中講義
卒 業 研 究	演習								2	担 当 教 員	集中講義

健康福祉学科 学科専門科目 スポーツ健康コース共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
健康運動実践論	講義		②							小田史郎 新開谷 深	
基礎解剖学	講義	2								高田真吾	学則に則った遠隔授業 スポーツ教育学科同時展開
生活習慣病概論	講義			2						沖田孝一	スポーツ教育学科同時展開
スポーツ医学基礎	講義			2						杉岡品子 永谷 稔 吉田昌弘	学則に則った遠隔授業 スポーツ教育学科同時展開
スポーツ内科学	講義					2				沖田孝一	スポーツ教育学科同時展開
スポーツ整形外科学	講義			2						渡邊耕太 廣瀬聰明 小林拓馬 吉田昌弘	スポーツ教育学科同時展開 集中講義
スポーツ・バイオメカニクス	講義				2					山本敬三	スポーツ教育学科同時展開
コーチ学	講義		2							大宮真一 畝中智志 竹内雅明	スポーツ教育学科同時展開
トレーニング論	講義		2							山本敏美	スポーツ教育学科同時展開
トレーニング演習	演習			2						井出幸二郎 上田知行 藤原信介 松田光史	スポーツ教育学科同時展開
レジャー・レクリエーション論	講義		2							坂谷 充	スポーツ教育学科同時展開
生涯スポーツ（陸上競技）	実技	1								大宮真一 北風沙織 仁井有介	スポーツ教育学科同時展開
生涯スポーツ（バレーボール）	実技		1							永谷 稔 長尾明也	スポーツ教育学科同時展開
生涯スポーツ（バスケットボール）	実技		1							畝中智志 横山茜理	スポーツ教育学科同時展開
生涯スポーツ（テニス）	実技			1						黒田裕太 小峯秋二	スポーツ教育学科同時展開
生涯スポーツ（ニュースポーツ）	実技				①					小西達也	一部集中講義
生涯スポーツ（エアロビック）	実技	1								是枝 亮	スポーツ教育学科同時展開
生涯スポーツ指導演習（エアロビック）	演習				2					菊地 はるひ 是枝 亮	スポーツ教育学科同時展開
生涯スポーツ指導演習（サッカー）	演習					2				多賀 健	スポーツ教育学科同時展開
競技スポーツ論	講義			2						菊地 はるひ 畝中智志 大宮真一 竹内雅明 永谷 稔 廣田修平 横山茜理 渡部 峻	スポーツ教育学科同時展開
アスリート論	講義				2					横山茜理	スポーツ教育学科同時展開

健康福祉学科 学科専門科目 スポーツ健康コース共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
コ ー チ ン グ 論	講義			2						菊 地 はるひ	スポーツ教育学科同時展開
ス ポ ー ツ の 戦 術 ・ 戦 略 論	講義					2				渡 部 峻	スポーツ教育学科同時展開
アスリートを取り巻く環境	講義				2					永 谷 稔	スポーツ教育学科同時展開
競技スポーツコーチング演習Ⅰ	演習					2				畝 中 智 志	スポーツ教育学科同時展開 集中講義
										大 宮 真 一	
										菊 地 はるひ	
										小 峯 秋 二	
										竹 内 雅 明	
										永 谷 稔	
										廣 田 修 平	
										横 山 茜 理 渡 部 峻	
競技スポーツコーチング演習Ⅱ	演習							2		畝 中 智 志	スポーツ教育学科同時展開 集中講義
										大 宮 真 一	
										菊 地 はるひ	
										小 峯 秋 二	
										竹 内 雅 明	
										永 谷 稔	
										廣 田 修 平	
										横 山 茜 理 渡 部 峻	
救 急 処 置	講義			2						吉 田 真	スポーツ教育学科同時展開
										沖 田 孝 一	
										羽 賀 将 衛	
運 動 処 方 演 習	演習							2		上 田 知 行	スポーツ教育学科同時展開
										沖 田 孝 一	
										小 坂 井 留 美	
体 力 測 定 評 価	講義			2						瀧 澤 一 騎	スポーツ教育学科同時展開
										上 田 知 行	
健 康 産 業 施 設 実 習	実習							2		上 田 知 行	スポーツ教育学科同時展開 一部集中講義
										高 田 真 吾	
介 護 予 防 実 践 演 習	演習	2								小 田 史 郎	集中講義
										川 森 功 偉	
										小 坂 井 留 美	
										杉 岡 品 子	

健康福祉学科 学科専門科目 社会福祉コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数				教 員 名	備 考	
		1年次	2年次	3年次	4年次			
		前 後	前 後	前 後	前 後			
ソーシャルワーク入門Ⅰ	講義	②					吉田修大 黒澤直子 久野真知子 吉田竜平	
ソーシャルワーク入門Ⅱ	講義	②					吉田修大 黒澤直子 久野真知子 吉田竜平	
ボランティア実践	講義		2				吉田修大	一部集中講義
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	講義	2					片山寛信	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義		2				芦崎祐公	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	講義			2			大友芳恵	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	講義				2		黒澤直子	
児童・家庭福祉	講義	2					小松留美子	
障害者福祉	講義		2				近藤尚也	心理カウンセリング学科同時展開
社会保障論Ⅱ	講義			2			高波千代子	
公的扶助論	講義			2			桑原康彦	
社会福祉調査の基礎	講義			2			森下義亜	心理カウンセリング学科同時展開
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義				2		宮本雅央	心理カウンセリング学科同時展開
医療福祉論	講義				2		黒澤直子	
権利擁護と成年後見制度	講義				2		成田騎信	心理カウンセリング学科同時展開
司法福祉論	講義				2		二階堂 恵	心理カウンセリング学科同時展開
社会学と社会システム	講義					2	森下義亜	
福祉サービスの組織と経営	講義				2		芦崎祐公	
社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義					2	伊藤新一郎	心理カウンセリング学科同時展開 集中講義
社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義					2	吉田竜平	心理カウンセリング学科同時展開
ソーシャルワーク演習Ⅱ	演習			2			黒澤直子	
ソーシャルワーク演習Ⅲ	演習				2		高野和美	
ソーシャルワーク演習Ⅳ	演習				2		高野和美	
ソーシャルワーク演習Ⅴ	演習					2	高野和美	
ソーシャルワーク演習Ⅵ	演習					2	久野真知子	
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	演習			2			黒澤直子 久野真知子 吉田竜平	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	演習				←4→		黒澤直子 久野真知子 吉田竜平	
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	演習					←2→	黒澤直子 久野真知子 吉田竜平	
ソーシャルワーク実習Ⅰ	実習				←6→		黒澤直子 久野真知子 吉田竜平	学外実習 集中講義

健康福祉学科 学科専門科目 社会福祉コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
ソーシャルワーク実習Ⅱ	実習								←2→	黒澤直子 久野真知子 吉田竜平	学外実習 集中講義
福祉実践実習	実習								←2→	黒澤直子	一部集中講義



# [教育文化学部]

教育文化学部 全学共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
<b>導入科目</b>											
基礎教育セミナーⅠ	演習	①								担当教員	
基礎教育セミナーⅡ	演習		①							担当教員	
<b>基礎科目</b>											
日本語表現	講義	①								小杉直美	
										梶晴美	
										小坂守孝	
										二宮孝行	
										村松幹男	
										高橋さおり	
										石原深雪	
数学入門	講義	①								松澤衛	
										竹内雅明	
										三浦公裕	
										山本敬三	
										荒川巖	
										佐々木雅史	
										佐藤克之	
情報機器操作Ⅰ	演習	②							小杉直美	教育学科	
									松澤衛	芸術学科	
									森夏節	心理カウンセリング学科	
情報機器操作Ⅱ	演習	②							小杉直美	教育学科	
									松澤衛	芸術学科	
									大関慎	心理カウンセリング学科	
健康体育（実技を含む）	講義	2							岡健吾	教育学科（初）	
									岡健吾	教育学科（養）	
									山田亮	教育学科（幼・音）	
									山田亮	芸術学科	
									山田亮	心理カウンセリング学科	
英語コミュニケーションⅠ	演習	②							C.B.サイモンズ	教育学科	
									C.B.サイモンズ	芸術学科	
									アレックス グレイグ	心理カウンセリング学科	
<b>外国語科目</b>											
英語コミュニケーションⅡ	演習	2							C.B.サイモンズ	教育学科	
									C.B.サイモンズ	芸術学科	
									アレックス グレイグ	心理カウンセリング学科	
英語（中級）	講義			2				竹内典彦			
英語（上級）	講義				2			竹内典彦			
韓国語	講義	2							田光子		
									千永柱		
中国語	講義			2				田恩蘋			
ドイツ語	講義			2				菊地達夫			

Ⅲ  
学  
習

教育文化学部 全学共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
フランス語	講義			2						ニコラ ジェゴンデ	
スペイン語	講義			2						ヘレナ フォルトウナート	
教養科目											
現代生活と政治・経済	講義			2						神 守 一 志 李 敖	
現代生活と法律	講義			2						山 本 完 自	
現代生活と福祉	講義			2						川 端 里 香	
現代生活と芸術	講義			2						岡 元 敦 司 湯 浅 大 吾	
現代生活と教育	講義			2						杉 浦 勉 山 田 潮	
現代生活と心と体	講義				2					杉 岡 品 子	学則に則った遠隔授業
現代生活と物理	講義				2					小 田 研 松 澤 衛	学則に則った遠隔授業
現代生活と地球	講義				2					横 山 光	
現代生活と環境科学	講義				2					佐々木 浩子	
北海道の文化	講義				2					舟 山 直 治	
日本国憲法	講義				2					河 森 計 二 山 本 完 自 河 森 計 二	教育学科 芸術学科 心理カウンセリング学科
情報社会及び情報倫理	講義			2						小 杉 直 美	
情報処理（中級）	演習					2				松 澤 衛 小 杉 直 美	
情報処理（上級）	演習						2			松 澤 衛	
就業力養成科目											
キャリアデザインⅠ	講義	①								永 井 秀 岳	
キャリアデザインⅡ	演習		①							杉 浦 智 光 永 井 秀 岳 樋 原 智 恵 本 村 規 子	
キャリアデザインⅢ	演習			①						杉 浦 智 光 永 井 秀 岳 樋 原 智 恵 本 村 規 子	
キャリア演習Ⅰ	演習				①					杉 浦 智 光 永 井 秀 岳 樋 原 智 恵 本 村 規 子	
キャリア演習Ⅱ	講義・演習					①				永 井 秀 岳	
キャリア演習Ⅲ	演習						1			本 村 規 子	
キャリア演習Ⅳ	講義・演習							1		永 井 秀 岳	

教育文化学部 全学共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
就 業 力 特 別 講 義 I	講義			1						松 澤 衛	選択必修科目
										小 峯 秋 二	
										竹 内 雅 明	
										山 田 潮	
										荒 川 巖	
										佐々木 雅 史	
										佐 藤 克 之	
								山 下 薫			
就 業 力 特 別 講 義 II	講義・演習			1					荒 川 巖	選択必修科目	
イ ン タ ー ン シ ッ プ	実習					← 2 →			飯 田 昭 人	集中講義	
外国人留学生科目											
日 本 語	講義	2							田 光 子	集中講義	
現 代 日 本 の 文 化	講義		2						菊 地 達 夫	集中講義	

Ⅲ  
学  
習

教育文化学部 教育学科 発展科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
<b>心身・健康に関する科目群</b>											
ス ポ ー ツ 栄 養 学	講義			2						黒 田 裕 太	スポーツ教育学科 専門科目
ス ポ ー ツ マ ー ケ テ ィ ン グ	講義							2		永 谷 稔	スポーツ教育学科 専門科目
心 理 学 概 論	講義	2								澤 聡 一	健康福祉学科・ 心理カウンセリング学科 専門科目
発 達 心 理 学	講義	2								新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目
人 間 関 係 の 心 理 学	講義		2							入 江 智 也	心理カウンセリング学科 専門科目 学則に則った遠隔授業
乳 幼 児 心 理 学	講義		2							新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目
福 祉 心 理 学	講義		2							佐 藤 至 英	健康福祉学科・ 心理カウンセリング学科 専門科目
育 児 支 援 の 心 理 学	講義			2						風 間 雅 江	心理カウンセリング学科 専門科目
モ チ ベ ー シ ョ ン 心 理 学	講義			2						佐 藤 至 英	心理カウンセリング学科 専門科目
司 法 ・ 犯 罪 心 理 学	講義				2					飯 田 昭 人	心理カウンセリング学科 専門科目
ス ク ー ル カ ウ ン セ リ ン グ	講義						2			新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目
<b>社会と生活に関する科目群</b>											
高 齢 社 会 の 街 づ く り	講義						2			佐 藤 克 之	健康福祉学科 専門科目
高 齢 者 福 祉	講義		2							吉 田 修 大	健康福祉学科 専門科目
生 活 の 中 の 介 護 福 祉	講義	2								福 島 義 典	健康福祉学科 専門科目
社 会 学	講義	2								松 下 守 邦	健康福祉学科・ 心理カウンセリング学科 専門科目
生 涯 学 習 支 援 論 I	講義							2		阿 部 豊	
生 涯 学 習 支 援 論 II	講義								2	阿 部 豊	
社 会 教 育 経 営 論 I	講義			2						阿 部 豊	
社 会 教 育 経 営 論 II	講義				2					阿 部 豊	
社 会 教 育 課 題 研 究	講義							2		川 森 功 偉	集中講義
社 会 教 育 実 習	講義・実習								← 2 →	川 森 功 偉	集中講義
<b>文化と芸術に関する科目群</b>											
美 術 史	講義			2						柴 勤	芸術学科 専門科目
フ ァ ッ シ ョ ン デ ザ イン 概 論	講義	2								加 藤 万 紀 大信田 静子	芸術学科 専門科目
イ ン テ リ ア デ ザ イン	演習	2								千 里 政 文	芸術学科 専門科目
ユ ニ バ ー サ ル デ ザ イン	講義		2							千 里 政 文	芸術学科 専門科目

教育文化学部 芸術学科 発展科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
<b>心身・健康に関する科目群</b>											
ス ポ ー ツ 栄 養 学	講義			2						黒 田 裕 太	スポーツ教育学科 専門科目
ス ポ ー ツ マ ー ケ テ ィ ン グ	講義							2		永 谷 稔	スポーツ教育学科 専門科目
心 理 学 概 論	講義	2								澤 聡 一	健康福祉学科・ 心理カウンセリング学科 専門科目
発 達 心 理 学	講義	2								新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目
人 間 関 係 の 心 理 学	講義		2							入 江 智 也	学則に則った遠隔授業 心理カウンセリング学科 専門科目
乳 幼 児 心 理 学	講義		2							新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目
福 祉 心 理 学	講義		2							佐 藤 至 英	健康福祉学科・心理カウンセリング学科 専門科目
育 児 支 援 の 心 理 学	講義		2							風 間 雅 江	心理カウンセリング学科 専門科目
モ チ ベ ー シ ョ ン 心 理 学	講義		2							佐 藤 至 英	心理カウンセリング学科 専門科目
司 法 ・ 犯 罪 心 理 学	講義			2						飯 田 昭 人	心理カウンセリング学科 専門科目
ス ク ー ル カ ウ ン セ リ ン グ	講義					2				新 川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目
<b>社会と生活に関する科目群</b>											
高 齢 社 会 の 街 づ く り	講義					2				佐 藤 克 之	健康福祉学科 専門科目
高 齢 者 福 祉	講義		2							吉 田 修 大	健康福祉学科 専門科目
生 活 の 中 の 介 護 福 祉	講義	2								福 島 義 典	健康福祉学科 専門科目
社 会 学	講義	2								松 下 守 邦	健康福祉学科・ 心理カウンセリング学科 専門科目
生 涯 学 習 支 援 論 I	講義						2			阿 部 豊	
生 涯 学 習 支 援 論 II	講義							2		阿 部 豊	
社 会 教 育 経 営 論 I	講義		2							阿 部 豊	
社 会 教 育 経 営 論 II	講義			2						阿 部 豊	
社 会 教 育 課 題 研 究	講義					2				川 森 功 偉	集中講義
社 会 教 育 実 習	講義・実習					← 2 →				川 森 功 偉	集中講義
<b>文化と芸術に関する科目群</b>											
音 楽 概 論	講義		2							岡 元 敦 司	教育学科 専門科目
音 楽 鑑 賞 法	講義		2							千 葉 圭 説	教育学科 専門科目
										岡 元 敦 司	
										坂 田 朋 優	
音 楽 史	講義			2						坂 田 朋 優	教育学科 専門科目

Ⅲ  
学  
習

教育文化学部 心理カウンセリング学科 発展科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
<b>心身・健康に関する科目群</b>											
ス ポ ー ツ 栄 養 学	講義			2						黒 田 裕 太	スポーツ教育学科 専門科目
ス ポ ー ツ マ ー ケ テ ィ ン グ	講義							2		永 谷 稔	スポーツ教育学科 専門科目
<b>社会と生活に関する科目群</b>											
高 齢 社 会 の 街 づ く り	講義					2				佐 藤 克 之	健康福祉学科 専門科目
高 齢 者 福 祉	講義		2							吉 田 修 大	健康福祉学科 専門科目
生 活 の 中 の 介 護 福 祉	講義	2								福 島 義 典	健康福祉学科 専門科目
生 涯 学 習 支 援 論 I	講義						2			阿 部 豊	
生 涯 学 習 支 援 論 II	講義							2		阿 部 豊	
社 会 教 育 経 営 論 I	講義		2							阿 部 豊	
社 会 教 育 経 営 論 II	講義			2						阿 部 豊	
社 会 教 育 課 題 研 究	講義					2				川 森 功 偉	集中講義
社 会 教 育 実 習	講義実習					← 2 →				川 森 功 偉	集中講義
<b>文化と芸術に関する科目群</b>											
音 楽 概 論	講義		2							岡 元 敦 司	教育学科 専門科目
音 楽 鑑 賞 法	講義		2							千 葉 圭 説	教育学科 専門科目
										岡 元 敦 司	
										坂 田 朋 優	
音 楽 史	講義			2						坂 田 朋 優	教育学科 専門科目
美 術 史	講義			2						柴 勤	芸術学科 専門科目
フ ァ ッ シ ョ ン デ ザ イン 概 論	講義	2								加 藤 万 紀	芸術学科 専門科目
										大 信 田 静 子	
イ ン テ リ ア デ ザ イン	演習	2								千 里 政 文	芸術学科 専門科目
ユ ニ バ ー サ ル デ ザ イン	講義		2							千 里 政 文	芸術学科 専門科目

教育文化学部 学部共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前	後	前	後	前	後	前	後			
学部共通科目												
教 育 文 化 学	講義	②									風 間 雅 江	学則に則った遠隔授業
										神 守 一 志		
										林 亨		
										小 室 晴 陽		
芸 術 と 心 理 学	講義		2							飯 田 昭 人	学則に則った遠隔授業	
生 涯 学 習 概 論 I	講義	2								佐々木 邦子		
生 涯 学 習 概 論 II	講義		2							佐々木 邦子		
メ デ ィ ア デ ザ イン 概 論	講義	2								浅 井 貴 也	学則に則った遠隔授業	
										松 澤 衛		
心 理 学 的 支 援 法	講義			2						小 坂 守 孝		
青 少 年 学 習 コ ー チ ング 論	講義				2					佐々木 邦子	発展科目	
リ カ レ ン ト 教 育 論	講義						2			佐々木 邦子	発展科目	

教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
学 習 コ ー チ ン グ 学 概 論	講義	2								杉 浦 勉	
専 門 演 習 I	演習				②					担 当 教 員	集中講義
専 門 演 習 II	演習					②				担 当 教 員	集中講義
卒 業 研 究	演習								←④→	担 当 教 員	集中講義
特 別 支 援 教 育 総 論	講義・演習	②								上 林 宏 文	
										石 塚 誠 之	
										小 原 直 哉	
										瀧 澤 聡	
										立 田 祐 子	
										松 井 由 紀 夫	
佐 藤 至 英											
知 的 障 害 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義・演習		2							石 塚 誠 之	
										佐 藤 至 英	
肢 体 不 自 由 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義		2							松 井 由 紀 夫	
										笹 木 美 幸	
病 弱 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義			2						福 井 一 之	
知 的 障 害 教 育 I	講義				②					小 原 直 哉	
知 的 障 害 教 育 II	講義						2			磯 貝 隆 之	
肢 体 不 自 由 教 育 I	講義			2						松 井 由 紀 夫	
										上 林 宏 文	
肢 体 不 自 由 教 育 II	講義						2			上 林 宏 文	
病 弱 教 育	講義				2					高 橋 和 明	
視 覚 ・ 聴 覚 障 害 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義					1				佐 藤 至 英	
										小 原 直 哉	
重 複 障 害 者 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義・演習					1				上 林 宏 文	
発 達 障 害 者 等 の 心 理 ・ 生 理 ・ 病 理	講義・演習			①						石 塚 誠 之	
視 覚 ・ 聴 覚 障 害 者 の 教 育 課 程 及 び 指 導 法	講義					1				小 原 直 哉	
										佐 藤 至 英	
重 複 障 害 者 の 教 育 課 程 及 び 指 導 法	講義・演習					1				小 原 直 哉	
発 達 障 害 者 等 の 教 育 課 程 及 び 指 導 法	講義			①						石 塚 誠 之	
特 別 支 援 教 育 実 習 事 前 指 導	講義・演習					1				小 原 直 哉	
										石 塚 誠 之	
										上 林 宏 文	
										磯 貝 隆 之	
特 別 支 援 教 育 実 習 事 後 指 導	講義・演習							1		上 林 宏 文	集中講義
										石 塚 誠 之	
										小 原 直 哉	
特 別 支 援 教 育 実 習	実習							2	2	上 林 宏 文	集中講義
										石 塚 誠 之	
										小 原 直 哉	
特 別 支 援 学 校 論 I	演習				2					小 原 直 哉	集中講義
										石 塚 誠 之	
										上 林 宏 文	
特 別 支 援 学 校 論 II	演習					2				石 塚 誠 之	集中講義
										小 原 直 哉	
										上 林 宏 文	
特 別 支 援 実 践 論 I	演習				2					石 塚 誠 之	
										小 原 直 哉	



教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
特 別 支 援 実 践 論 II	演習						2			小 原 直 哉	
										上 林 宏 文	
特 別 支 援 実 践 論 III	演習							2		上 林 宏 文	
										小 原 直 哉	

教育学科 学科専門科目 初等教育コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
国語科概論（書写を含む）	講義	②								小 杉 直 美	
社会科概論	講義		②							杉 浦 勉	
算数科概論	講義	②								三 浦 公 裕	
理科概論	講義		②							横 山 光	
生活科概論	講義	②								磯 島 年 成 工 藤 ゆかり	
音楽科概論	講義		②							岡 元 敦 司	
音楽実習Ⅰ	実習	1								澤 田 悦 子 片 寄 ますみ 鈴 木 佳 代	
音楽実習Ⅱ	実習		1							澤 田 悦 子 伏 見 千悦子 片 寄 ますみ 鈴 木 佳 代	
造形美術概論	講義		②							湯 浅 大 吾	
家庭科概論	講義		②							木 下 教 子	
体育科概論	講義		②							岡 健 吾	
英語科概論	講義	②								相 馬 和 俊	集中講義
国語科指導法	講義			②						二 宮 孝 行	
国語科指導・実践演習	演習					2				二 宮 孝 行	選択必修科目
社会科指導法	講義			2						杉 浦 勉	選択必修科目
社会科指導・実践演習	演習					2				杉 浦 勉	選択必修科目
算数科指導法	講義			②						三 浦 公 裕	
算数科指導・実践演習	演習					2				三 浦 公 裕	選択必修科目
理科指導法	講義			2						横 山 光	選択必修科目
理科指導・実践演習	演習						2			横 山 光	選択必修科目
生活科指導法	講義			2						磯 島 年 成	選択必修科目
生活科指導・実践演習	演習						2			磯 島 年 成	選択必修科目
音楽科指導法	講義			2						伏 見 千悦子	選択必修科目
音楽科指導・実践演習	演習						2			伏 見 千悦子	選択必修科目
図画工作科指導法	講義				2					湯 浅 大 吾	選択必修科目
図画工作科指導・実践演習	演習						2			湯 浅 大 吾	選択必修科目
家庭科指導法	講義				2					木 下 教 子	選択必修科目
家庭科指導・実践演習	演習						2			木 下 教 子	選択必修科目
体育科指導法	講義				2					梅 村 拓 未	選択必修科目
体育科指導・実践演習	演習						2			梅 村 拓 未	選択必修科目
英語科指導法	講義			②						相 馬 和 俊	集中講義
教育原理（幼・小）	講義	②								市 原 純	教(幼)同時展開
教職概論（幼・小）	講義	②								神 守 一 志	教(幼)同時展開
教育経営学（幼・小）	講義				②					山 田 潮	教(幼)同時展開
教育心理学（幼・小）	講義		②							三 浦 公 裕	教(幼)同時展開
特別の教育的二一ズ論（幼・小）	講義・演習			②						石 塚 誠 之 上 林 宏 文	教(幼)同時展開
教育課程論（幼・小）	講義					②				杉 浦 勉	教(幼)同時展開
道徳教育論（小）	講義				②					二 宮 孝 行	
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（小）	講義				←②→					磯 島 年 成	集中講義

教育学科 学科専門科目 初等教育コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前	後	前	後	前	後	前	後			
教育方法論 (ICT活用の理論と方法を含む)(幼・小)	講義					②					横山 光	教(幼)同時展開
											工藤 ゆかり	
生徒指導論 (進路指導を含む)(小)	講義				②						山田 潮	
教育相談論 (カウンセリングを含む)(幼・小)	講義				②						三浦 公裕	教(幼)同時展開
教育実習事前指導 (幼・小)	講義			1							二宮 孝行	教(幼)同時展開
											山田 潮	
											湯浅 大吾	
											伏見 千悦子	
教育実習事後指導 (幼・小)	講義						1				山田 潮	教(幼)同時展開 集中講義
											磯島 年成	
											湯浅 大吾	
											伏見 千悦子	
教育実習 (幼・小)	実習				4						山田 潮	教(幼)同時展開 集中講義
											磯島 年成	
											湯浅 大吾	
											伏見 千悦子	
教職実践演習 (幼・小)	演習								2		二宮 孝行	
											磯島 年成	
											伏見 千悦子	
											湯浅 大吾	
小学校教育研究Ⅰ	講義				②					二宮 孝行		
小学校教育研究Ⅱ	講義						2			杉浦 勉		
小学校教育研究Ⅲ	講義							2		二宮 孝行		
特別支援教育基礎演習	演習		2								石塚 誠之	選択必修科目 集中講義
											小原 直哉	
											上林 宏文	

Ⅲ  
学  
習

教育学科 学科専門科目 幼児教育コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
幼 児 と 健 康	講義		②							岡 健 吾	
幼 児 と 人 間 関 係	講義		②							工 藤 ゆかり	
幼 児 と 環 境	講義		②							山 崎 正 明	
幼 児 と 言 葉	講義		②							小 杉 直 美	
幼 児 と 表 現	講義		②							湯 浅 大 吾 伏 見 千悦子	
音 楽 実 習 I	実習	1								伏 見 千悦子 片 寄 ますみ 鈴 木 佳 代	選択必修科目
音 楽 実 習 II	実習		1							伏 見 千悦子 片 寄 ますみ 鈴 木 佳 代	選択必修科目
保 育 内 容 総 論	演習	②								工 藤 ゆかり	
保 育 内 容 指 導 論	演習		②							工 藤 ゆかり	
保 育 内 容 ( 健 康 )	演習			②						岡 健 吾	
保 育 内 容 ( 人 間 関 係 )	演習			②						工 藤 ゆかり	
保 育 内 容 ( 環 境 )	演習			②						山 崎 正 明	
保 育 内 容 ( 言 葉 )	演習			②						伏 見 千悦子 熊 田 広 樹	一部集中講義
保 育 内 容 ( 表 現 )	演習			②						伏 見 千悦子 湯 浅 大 吾	
教 育 原 理 ( 幼 ・ 小 )	講義	②								市 原 純	教(初)同時展開
保 育 原 理	講義	②								工 藤 ゆかり	
教 職 概 論 ( 幼 ・ 小 )	講義	②								神 守 一 志	教(初)同時展開
教 育 経 営 学 ( 幼 ・ 小 )	講義				②					山 田 潮	教(初)同時展開
教 育 心 理 学 ( 幼 ・ 小 )	講義		②							三 浦 公 裕	教(初)同時展開
特 別 の 教 育 的 ニーズ 論 ( 幼 ・ 小 )	講義・演習			②						石 塚 誠 之 上 林 宏 文	教(初)同時展開
教 育 課 程 論 ( 幼 ・ 小 )	講義				②					杉 浦 勉	教(初)同時展開
教 育 方 法 論 ( ICT 活 用 の 理 論 と 方 法 を 含 む ) ( 幼 ・ 小 )	講義				②					横 山 光 工 藤 ゆかり	教(初)同時展開
こ だ も 理 解	講義				2					滝 澤 真 毅 吉 田 耕 一 郎	集中講義
こ だ も の 表 現 あ そ び	演習			2						伏 見 千悦子	選択必修科目
こ だ も の 体 育 あ そ び	演習			2						岡 健 吾	選択必修科目 集中講義
こ だ も の 言 葉 あ そ び	演習			2						山 田 克 已	選択必修科目
教 育 相 談 論 ( カウンセリング を 含 む ) ( 幼 ・ 小 )	講義				②					三 浦 公 裕	教(初)同時展開
教 育 実 習 事 前 指 導 ( 幼 ・ 小 )	講義			1						湯 浅 大 吾 伏 見 千悦子 二 宮 孝 行 山 田 潮	教(初)同時展開

教育学科 学科専門科目 幼児教育コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
教育実習事後指導（幼・小）	講義					1				湯 浅 大 吾	教(初)同時展開 集中講義
										伏 見 千悦子	
										山 田 潮	
										磯 島 年 成	
教育実習（幼・小）	実習					4				湯 浅 大 吾	教(初)同時展開 集中講義
										伏 見 千悦子	
										山 田 潮	
										磯 島 年 成	
教職実践演習（幼・小）	演習								2	伏 見 千悦子	教(初)同時展開
										湯 浅 大 吾	
										二 宮 孝 行	
										磯 島 年 成	
幼 児 教 育 演 習 I	演習	①								市 原 純	
幼 児 教 育 演 習 II	演習		①							市 原 純	
幼 児 教 育 演 習 III	演習			①						湯 浅 大 吾	
幼 児 教 育 演 習 IV	演習				①					湯 浅 大 吾	
幼 児 教 育 研 究 I	講義					2				湯 浅 大 吾	
										伏 見 千悦子	
幼 児 教 育 研 究 II	講義					2				岡 健 吾	
										市 原 純	
										工 藤 ゆかり	
こ ども 家 庭 福 祉	講義				2					江 楠	選択必修科目
社 会 福 祉	講義	②								市 原 純	
子 育 て 支 援	演習				1					柿 原 勝	選択必修科目
社 会 的 養 護 I	講義				2					市 原 純	選択必修科目
社 会 的 養 護 II	演習					1				市 原 純	選択必修科目
保 育 者 論	講義		②							市 原 純	
保 育 の 心 理 学	講義					2				岸 靖 亮	
こども家庭支援の心理学	講義					2				高 本 美 明	
こどもの理解と援助	演習							1		石 塚 誠 之	
こどもの保健	講義			2						鎌 田 晴 美	選択必修科目
こどもの健康と安全	演習			1						鎌 田 晴 美	選択必修科目
こどもの食と栄養	演習							2		木 下 教 子	
こども家庭支援論	講義					2				張 思 銘	
保 育 の 計 画 と 評 価	講義							2		丸 谷 雄 輔	
乳 児 保 育 I	講義				2					那 須 杏 奈	選択必修科目
乳 児 保 育 II	演習					1				那 須 杏 奈	選択必修科目
障 害 児 保 育	演習							2		北 圭 一	
保 育 実 習 I	実習					4				工 藤 ゆかり	集中講義
										市 原 純	
										岡 健 吾	
保 育 実 習 II	実習							2		工 藤 ゆかり	集中講義
										岡 健 吾	
保 育 実 習 III	実習							2		市 原 純	集中講義

教育学科 学科専門科目 幼児教育コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
保 育 実 習 指 導 I	演習						2			工藤 ゆかり	
										市原 純	
										岡 健 吾	
保 育 実 習 指 導 II	演習							1		工藤 ゆかり	
										岡 健 吾	
保 育 実 習 指 導 III	演習							1		市原 純	
保 育 実 践 演 習	演習								2	工藤 ゆかり	
										市原 純	
										岡 健 吾	

教育学科 学科専門科目 養護教諭コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
衛 生 学	講義			②						佐々木 浩子	
衛 生 学 実 験	実験			1						佐々木 浩子	一部集中講義
公 衆 衛 生 学	講義				②					佐々木 浩子	
学 校 保 健	講義			②						野口 直美	
学 校 保 健 演 習 I	演習					2				島瀬 史子	選択必修科目
学 校 保 健 演 習 II	演習						2			島瀬 史子	
学 校 保 健 管 理 論	講義				2					野口 直美	選択必修科目
										斉藤 ふくみ	
学 校 保 健 組 織 活 動 論	講義							2		島瀬 史子	
学 校 保 健 執 務 演 習	演習				2					島瀬 史子	
										斉藤 ふくみ	
養 護 実 践 学 I	講義	②								今野 洋子	
養 護 実 践 学 II	講義		2							今野 洋子	選択必修科目
養 護 活 動 実 習 I	実習					②				今野 洋子	
										斉藤 ふくみ	
										野口 直美	
養 護 活 動 実 習 II	実習						2			今野 洋子	選択必修科目
										斉藤 ふくみ	
										野口 直美	
養 護 実 践 学 演 習	演習				3					今野 洋子	選択必修科目 集中講義
										斉藤 ふくみ	
										島瀬 史子	
										野口 直美	
健 康 相 談 活 動 の 理 論 及 び 方 法	講義		②							斉藤 ふくみ	
健 康 相 談 活 動 演 習	演習				2					今野 洋子	選択必修科目
										斉藤 ふくみ	
										島瀬 史子	
										野口 直美	
栄 養 学 ( 食 品 学 を 含 む )	講義		②							木下 教子	

教育学科 学科専門科目 養護教諭コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
解剖生理学	講義		②							沖田孝一	
薬理概論	講義			②						中山章	
微生物学（免疫学を含む）	講義	2								吉田繁	選択必修科目
精神保健	講義				②					小林一彦	
看護学概論	講義	②								丸岡里香 岩田直美	
看護学各論	講義		②							畑江郁子 岩田直美	
学校看護学	講義	2								丸岡里香	
看護技術演習（救急処置を含む）Ⅰ	演習		②							丸岡里香 岩田直美 畑江郁子	
看護技術演習（救急処置を含む）Ⅱ	演習			← 2 →						丸岡里香 岩田直美 畑江郁子	選択必修科目
救急処置活動論	講義		2							丸岡里香	
看護学臨床実習	実習			4						丸岡里香 岩田直美 畑江郁子	選択必修科目
養護教諭基礎セミナーⅠ	演習	2								今野洋子 斉藤ふくみ 佐々木浩子 丸岡里香	
養護教諭基礎セミナーⅡ	演習		2							今野洋子 佐々木浩子 丸岡里香	一部集中講義
養護教諭教育演習Ⅰ	演習			2						畑江郁子 岩田直美 島瀬史子 野口直美	選択必修科目
養護教諭教育演習Ⅱ	演習				2					畑江郁子 岩田直美 島瀬史子 野口直美	
ヘルスアセスメント論	講義		2							島瀬史子 岩田直美 畑江郁子	選択必修科目
保健室経営演習Ⅰ	演習						2			島瀬史子	選択必修科目
保健室経営演習Ⅱ	演習							2		島瀬史子	
保健教育演習	演習				2					今野洋子 斉藤ふくみ 島瀬史子 野口直美	選択必修科目 集中講義
健康診断演習	演習				2					島瀬史子 斉藤ふくみ	
教育原理	講義	②								井上大樹	教(音)・芸術学科同時展開

教育学科 学科専門科目 養護教諭コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
教 職 概 論	講義	②								神 守 一 志	教(音)・芸術学科同時展開
教 育 経 営 学	講義			②						山 田 潮	教(音)・芸術学科同時展開
教 育 心 理 学	講義	②								三 浦 公 裕	教(音)・芸術学科同時展開
特別の教育的ニーズ論	講義・演習			②						石 塚 誠 之 上 林 宏 文	教(音)・芸術学科同時展開
教 育 課 程 論	講義					②				神 守 一 志	芸術学科同時展開
道 徳 教 育 論	講義			②						杉 浦 勉	教(音)・芸術学科同時展開
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	講義			②						横 山 光	教(音)・芸術学科同時展開
教育方法論 (ICT活用の理論と方法を含む)	講義					②				神 守 一 志 二 宮 孝 行	
生 徒 指 導 論	講義			②						山 田 潮	
教育相談論 (カウンセリングを含む)	講義					②				三 浦 公 裕	教(音)・芸術学科同時展開
養 護 実 習 事 前 指 導	講義			1						今 野 洋 子 野 口 直 美	
養 護 実 習 事 後 指 導	講義				1					今 野 洋 子 齊 藤 ふくみ 島 瀬 史 子 野 口 直 美	集中講義
養 護 実 習	実習				4					今 野 洋 子 齊 藤 ふくみ 島 瀬 史 子 野 口 直 美	集中講義
教 職 実 践 演 習 (養護教諭)	演習							2		今 野 洋 子 野 口 直 美	
養 護 教 諭 教 育 研 究 I	講義				②					今 野 洋 子 野 口 直 美	
養 護 教 諭 教 育 研 究 II	講義					2				今 野 洋 子 野 口 直 美	
養 護 教 諭 教 育 研 究 III	講義							2		今 野 洋 子 齊 藤 ふくみ	

教育学科 学科専門科目 音楽コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
ソ ル フ ェ ー ジ ュ	演習	②								岡 元 敦 司	
楽 典	講義	②								坂 田 朋 優	
音 楽 概 論	講義		2							岡 元 敦 司	選択必修科目・発展科目
音 楽 鑑 賞 法	講義		2							千 葉 圭 説 岡 元 敦 司 坂 田 朋 優	選択必修科目 発展科目
音 楽 史	講義			②						坂 田 朋 優	発展科目
和 声 学	講義			2						菅 原 克 弘	
作 曲 法	講義			2						菅 原 克 弘	選択必修科目
指 揮 法	演習				②					今 井 敏 勝	
合 唱 I	演習			①						岡 元 敦 司	



教育学科 学科専門科目 音楽コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
合 唱 II	演習				1					岡 元 敦 司	選択必修科目
合 奏 I	演習			←②→						千 葉 圭 説	集中講義
合 奏 II	演習					← 2 →				千 葉 圭 説	選択必修科目 集中講義
合 奏 III	演習							← 2 →		千 葉 圭 説	集中講義
音 楽 企 画 実 践 演 習	演習				←②→					千 葉 圭 説	集中講義
										岡 元 敦 司	
										坂 田 朋 優	
声 楽 基 礎 演 習 I	演習	②								岡 元 敦 司	一部集中講義
										川 島 沙 耶	
声 楽 基 礎 演 習 II	演習		②							岡 元 敦 司	一部集中講義
										川 島 沙 耶	
声 楽 表 現 演 習 I	演習			2						岡 元 敦 司	選択必修科目 一部集中講義
										川 島 沙 耶	
声 楽 表 現 演 習 II	演習				2					岡 元 敦 司	選択必修科目 一部集中講義
										川 島 沙 耶	
コ ン プ ュ ー タ ミ ュ ー ジ ッ ク I	演習			1						向 山 千 晴	
コ ン プ ュ ー タ ミ ュ ー ジ ッ ク II	演習				1					向 山 千 晴	
器 楽 基 礎 演 習 I	演習	②								千 葉 圭 説	一部集中講義
										佐 藤 淳 一	
										島 方 晴 康	
										白 子 正 樹	
										白 戸 達 也	
										多 田 宏 江	
										中 野 耕 太 郎	
器 楽 基 礎 演 習 II	演習	②								千 葉 圭 説	一部集中講義
										佐 藤 淳 一	
										島 方 晴 康	
										白 子 正 樹	
										白 戸 達 也	
										多 田 宏 江	
										中 野 耕 太 郎	
器 楽 表 現 演 習 I	演習				2					千 葉 圭 説	選択必修科目 一部集中講義
										佐 藤 淳 一	
										島 方 晴 康	
										白 子 正 樹	
										白 戸 達 也	
										多 田 宏 江	
										中 野 耕 太 郎	
							八 條 美 奈 子				

Ⅲ  
学  
習

教育学科 学科専門科目 音楽コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
器 楽 表 現 演 習 II	演習			2						千葉 圭 説	選択必修科目 一部集中講義
										佐藤 淳 一	
										島 方 晴 康	
										白 子 正 樹	
										白 戸 達 也	
										多 田 宏 江	
										中 野 耕 太 郎	
ピ ア ノ 基 礎 演 習 I	演習	②								坂 田 朋 優	一部集中講義
										新 堀 聡 子	
										平 野 雅 子	
										吉 泉 善 太	
ピ ア ノ 基 礎 演 習 II	演習		②							坂 田 朋 優	一部集中講義
										新 堀 聡 子	
										平 野 雅 子	
										吉 泉 善 太	
ピ ア ノ 表 現 演 習 I	演習			2						坂 田 朋 優	選択必修科目 一部集中講義
										新 堀 聡 子	
										平 野 雅 子	
										吉 泉 善 太	
ピ ア ノ 表 現 演 習 II	演習			2						坂 田 朋 優	選択必修科目 一部集中講義
										新 堀 聡 子	
										平 野 雅 子	
										吉 泉 善 太	
伴 奏 法 I	演習				1				坂 田 朋 優		
伴 奏 法 II	演習					1			坂 田 朋 優		
音 楽 フ ィ ー ル ド 演 習	演習			←②→						岡 元 敦 司	集中講義
										坂 田 朋 優	
										千 葉 圭 説	
										今 井 敏 勝	
音 楽 科 教 育 法 I	講義		②						今 井 敏 勝		
音 楽 科 教 育 法 II	講義			2					今 井 敏 勝		
音 楽 科 教 育 法 III	講義				2				河 本 洋 一		
音 楽 科 教 育 法 IV	講義					2			柘 谷 隆 男		
教 育 原 理	講義	②							井 上 大 樹	教(養)・芸術学科同時展開	
教 職 概 論	講義	②							神 守 一 志	教(養)・芸術学科同時展開	
教 育 経 営 学	講義		②						山 田 潮	教(養)・芸術学科同時展開	
教 育 心 理 学	講義	②							三 浦 公 裕	教(養)・芸術学科同時展開	
特 別 の 教 育 的 ニ ー ズ 論	講義・演習		②						石 塚 誠 之	教(養)・芸術学科同時展開	
									上 林 宏 文		
教 育 課 程 論	講義				②				神 守 一 志	スポーツ教育学科同時展開	
道 徳 教 育 論	講義		②						杉 浦 勉	教(養)・芸術学科同時展開	
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	講義		②						横 山 光	教(養)・芸術学科同時展開	
教育方法論 (ICT活用の理論と方法を含む)	講義				②				神 守 一 志	芸術学科同時展開	
									二 宮 孝 行		
生徒指導論 (進路指導を含む)	講義			②					山 田 潮	芸術学科同時展開	

教育学科 学科専門科目 音楽コース専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前	後	前	後	前	後	前	後			
教育相談論（カウンセリングを含む）	講義							②			三 浦 公 裕	教(養)・芸術学科同時展開
教 育 実 習 事 前 指 導	講義							1			千 葉 圭 説	集中講義
教 育 実 習 事 後 指 導	講義									1	千 葉 圭 説	集中講義
教 育 実 習 I	実習								4	4	千 葉 圭 説	集中講義
											岡 元 敦 司	
											坂 田 朋 優	
教 育 実 習 II	実習								2	2	千 葉 圭 説	集中講義
											岡 元 敦 司	
											坂 田 朋 優	
教 職 実 践 演 習 ( 中 ・ 高 )	演習									2	岡 元 敦 司	
											坂 田 朋 優	
											千 葉 圭 説	
音 楽 教 育 研 究	講義							②			千 葉 圭 説	

芸術学科 学科専門科目 基本科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
<b>芸術理解</b>											
美術概論	講義	2								林 亨	選択必修科目
										森井 綾	
美術史	講義			2						柴 勤	選択必修科目、発展科目
美術学	講義				2					山田 萌果	
色彩計画	演習		2							新明 史子	
ファッションビジネス	講義			2						加藤 万紀	
ファッションデザイン概論	講義	2								加藤 万紀	選択必修科目 発展科目
										大信田 静子	
舞台芸術概論	講義	2								村松 幹男	選択必修科目
										平井 伸之	
										イナダ ヒロシ	
舞台芸術研修	演習	2								村松 幹男	集中講義
										柏木 純子	
										平井 伸之	
<b>表現技術</b>											
ドローイング I	演習	2								永野 光一	選択必修科目
空間デザイン基礎	演習	2								新貝 孝之	選択必修科目
服飾基礎実習	実習	2								加藤 万紀	選択必修科目
クリエイティブシンキング	講義		2							浅井 貴也	選択必修科目
インテリアデザイン	演習	2								千里 政文	発展科目
										千里 政文	
基礎デザイン	実習	1								勝田 信吾	選択必修科目
ユニバーサルデザイン	講義		2							千里 政文	選択必修科目、発展科目
テクニカルスケッチ	演習	2								林 亨	選択必修科目
										千里 政文	
建築計画	講義			2					新貝 孝之		
ドレーピング	演習		2							富田 玲子	選択必修科目
服飾技能実習 I	実習		2							新居 潤子	選択必修科目
服飾技能実習 II	実習		2							新居 潤子	選択必修科目
演劇入門 I	演習	2								村松 幹男	集中講義
										柏木 純子	
										平井 伸之	
										藤原 宏行	
演劇入門 II	演習	2								村松 幹男	集中講義
										柏木 純子	
										平井 伸之	
										藤原 宏行	
<b>情報技術</b>											
デジタルイメージ I	演習	②								浅井 貴也	
デジタルデザイン I	演習	②								森井 綾	
ウェブデザイン I	演習		2							浅井 貴也	選択必修科目
CAD設計	演習		2							小室 晴陽	
プログラミングによるCG	演習				2					松澤 衛	
アパレルCAD	演習	2								富田 玲子	選択必修科目

芸術学科 学科専門科目 基本科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
舞 台 映 像 制 作 I	演習		2							森 井 綾	
舞 台 映 像 制 作 II	演習			2						森 井 綾	

芸術学科 学科専門科目 専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
アート教育・文化											
博 物 館 概 論	講義		2							柴 勤	選択必修科目
博 物 館 経 営 論	講義			2						柴 勤	
博 物 館 資 料 論	講義				2					柴 勤	
博 物 館 資 料 保 存 論	講義					2				眞 坂 隆 太	
博 物 館 展 示 論	講義					2				細 川 健 裕	選択必修科目
博 物 館 情 報 ・ メ デ ィ ア 論	講義						2			小 杉 直 美	
博 物 館 教 育 論	講義						2			中 島 宏 一	
博 物 館 実 習	実習							← 3 →		林 亨 山 下 圭 介 横 山 光	集中講義
デ ザ イン 概 論	講義		2							勝 田 信 吾	選択必修科目
美 術 表 現 演 習	演習			2						林 亨 森 井 綾 山 下 圭 介	選択必修科目
映 像 論	講義		2							松 澤 衛	選択必修科目
写 真	演習				2					松 澤 衛	選択必修科目
フ ァ ッ シ ョ ン コ ー デ ィ ネ ー ト	演習		2							加 藤 万 紀	選択必修科目
フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 論	講義					2				加 藤 万 紀 大 信 田 静 子	選択必修科目
マ ン ガ 表 現 研 究	演習				2					か じ さ や か	選択必修科目
舞 台 芸 術 各 論 I	講義		2							村 松 幹 男 柏 木 純 子 イ ナ ダ ヒ ロ シ	選択必修科目
舞 台 芸 術 各 論 II	講義			2						村 松 幹 男 イ ナ ダ ヒ ロ シ	選択必修科目
服 飾 造 形 論	講義・演習	2								富 田 玲 子	
衣 服 素 材	講義		2							加 藤 万 紀	
生 活 材 料 学	講義			2						新 貝 孝 之	
都 市 と 空 間 の 法 規	講義				2					村 中 敬 維	
住 宅 と 空 間 の 生 産	講義					2				新 貝 孝 之	
平面表現											
ド ロ ー イ ン グ II	演習		2							永 野 光 一	選択必修科目
絵 画 I	演習	2								林 亨	
絵 画 II	演習		2							八 子 直 子	
絵 画 III	演習			2						井 桁 雅 臣	
版 画	演習				2					森 迫 暁 夫 森 井 綾	選択必修科目

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
グラフィックデザインⅠ	演習	2								戸澤逸美	
グラフィックデザインⅡ	演習		2							澁谷俊彦 森井綾	
グラフィックデザインⅢ	演習			2						田恩蘋	
デジタルイメージⅡ	演習		2							伊藤隆介	選択必修科目
デジタルイメージⅢ	演習			2						浅井貴也	
デジタルデザインⅡ	演習		2							森井綾	選択必修科目
デジタルデザインⅢ	演習				2					川部大輔	
ウェブデザインⅡ	演習				2					浅井貴也	
デジタルビデオ編集	演習			2						森井綾 伊藤隆介	
インテリア設計Ⅰ	演習			2						千里政文	選択必修科目
ファッション画	演習	2								田恩蘋	
テキスタイルデザイン	実習	2								大信田静子 川村諭美	選択必修科目
パターンメイキング	演習	2								加藤万紀	選択必修科目
アパレルデザイン	演習		2							森井綾 大信田静子	選択必修科目 一部集中講義
染色	演習			2						川村諭美	
<b>立体表現</b>											
彫刻Ⅰ	演習	2								山下圭介	
彫刻Ⅱ	演習		2							山下圭介	
彫刻Ⅲ	演習			2						山下圭介	
陶芸Ⅰ	演習				2					北川智浩	選択必修科目
陶芸Ⅱ	演習					2				北川智浩	
金属工芸	演習						2			船木ゆづか 森井綾	
木材工芸	演習					2				清水郁太郎	
3Dモーショングラフィックス	演習				2					松澤衛	
3DグラフィックスⅠ	演習				2					松澤衛	
3DグラフィックスⅡ	演習					2				松澤衛	
建築空間のしくみ	講義				2					千里政文	
建築一般構造演習	演習						2			新貝孝之	
空間模型演習	演習				2					新貝孝之	選択必修科目
服飾造形実習	実習				2					大信田静子 佐々木亜梨奈	選択必修科目
創作テキスタイル	演習							2		大信田静子 青山重美	選択必修科目
マテリアル	演習					2				富田玲子 佐々木亜梨奈	選択必修科目
服飾創作	演習			2						富田玲子 佐々木亜梨奈	選択必修科目
キッズファッション	演習				2					佐々木亜梨奈	
ファッションクラフト	演習		2							大信田静子 青山重美	

科 目 名	授業 形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
舞 台 衣 装 I	演習					2				大信田 静子	集中講義
										加藤 万紀	
										富田 玲子	
舞 台 衣 装 II	演習					2				大信田 静子	集中講義
										加藤 万紀	
										富田 玲子	
空間・身体表現											
サウンドデザイン	演習					2				向山 千晴	
リビングデザイン論	講義		2							小室 晴陽	選択必修科目
住宅設計演習	演習				2					新貝 孝之	
構造のかたちと力	講義					2				千里 政文	
構造力学演習	演習							2		千里 政文	
空間設備	講義						2			千里 政文	
生活環境	講義						2			小室 晴陽	
トータルビューティ	演習					2				中田 純子	
俳優トレーニング	実習	1								平井 伸之	集中講義
										柏木 純子	
										村松 幹男	
朗読・ナレーション	演習	2								松本 直人	
俳優論（演習を含む）	演習					2				村松 幹男	
										柏木 純子	
										平井 伸之	
ダンス&トレーニング I	演習	2								村松 幹男	集中講義 選択必修科目
										柏木 純子	
										平井 伸之	
										竹内 聡実	
ダンス&トレーニング II	演習	2								村松 幹男	集中講義 選択必修科目
										柏木 純子	
										平井 伸之	
										竹内 聡実	
ダンス&トレーニング III	演習		2							村松 幹男	集中講義 選択必修科目
										柏木 純子	
										平井 伸之	
										竹内 聡実	
ダンス&トレーニング IV	演習				2					村松 幹男	集中講義 選択必修科目
										柏木 純子	
										平井 伸之	
										竹内 聡実	
アクティング&オーディオドラマ I	演習	2								村松 幹男	集中講義
										柏木 純子	
										平井 伸之	
										大橋 千絵	

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
アクティング&オーディオドラマⅡ	演習			2						村松幹男	集中講義
										柏木純子	
										平井伸之	
										大橋千絵	
										富井昭次	
アクティング&オーディオドラマⅢ	演習				2					村松幹男	集中講義
										柏木純子	
										平井伸之	
										大橋千絵	
ステージ・アーツ入門Ⅰ	演習	2								村松幹男	集中講義 選択必修科目
										柏木純子	
										平井伸之	
										荒谷知優	
										河野武史	
										五ノ井 浩	
										鈴木昌裕	
										富井昭次	
										服部 響	
										藤原宏行 担当教員	
ステージ・アーツ入門Ⅱ	演習	2								村松幹男	集中講義 選択必修科目
										柏木純子	
										平井伸之	
										荒谷知優	
										河野武史	
										鈴木昌裕	
										富井昭次	
										服部 響	
										藤原宏行 担当教員	
ステージ・アーツ入門Ⅲ	演習		2							村松幹男	集中講義 選択必修科目
										柏木純子	
										平井伸之	
										荒谷知優	
										イナダ ヒロシ	
										河野武史	
										富井昭次	
										服部 響 担当教員	
ステージ・アーツ発展Ⅰ	演習		2							村松幹男	集中講義 選択必修科目
										柏木純子	
										平井伸之	
										イナダ ヒロシ	
										鈴木昌裕	
										吉田 ひでお	



科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
ステージ・アーツ発展Ⅱ	演習			2						村松幹男	集中講義 選択必修科目
										柏木純子	
										平井伸之	
										荒谷知優	
										イナダヒロシ	
										河野武史	
										田光子	
										富井昭次 服部響	
ステージ・アーツ発展Ⅲ	演習			2						村松幹男	集中講義 選択必修科目
										柏木純子	
										平井伸之	
										イナダヒロシ	
										吉田ひでお	
ステージ・アーツ研究Ⅰ	演習			2						村松幹男	集中講義 選択必修科目
										柏木純子	
										平井伸之	
										荒谷知優	
										河野武史	
										五ノ井浩	
										鈴木昌裕	
										服部響	
										藤原宏行 吉田ひでお	
ステージ・アーツ研究Ⅱ	演習					2				村松幹男	集中講義 選択必修科目
										柏木純子	
										平井伸之	
										荒谷知優	
										河野武史	
										五ノ井浩	
										鈴木昌裕	
										服部響	
										藤原宏行 吉田ひでお	
ステージ・アーツ研究Ⅲ	演習							2		村松幹男	集中講義 選択必修科目
										平井伸之	
										田光子	
発想・企画・プレゼンテーション											
3次元造形演習	演習			2						松澤衛	
										山下圭介	
デジタルコンテンツ制作	演習						2			松澤衛	集中講義
ブランディングデザイン	演習			2						大信田静子	選択必修科目
										佐々木亜梨奈	
プレゼンテーションデザイン	演習		2							浅井貴也	
ディスプレイデザイン	実習					2				早坂眞梨子	
インテリア設計Ⅱ	演習			2						千里政文	選択必修科目

芸術学科 学科専門科目 専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
店 舗 デ ザ イ ン	演習							2		新 貝 孝 之	
演 劇 と 映 画	演習								2	松 澤 衛 村 松 幹 男	選択必修科目
ス テ ー ジ 総 合 実 習	実習							← 2 →		端 谷 真 子	集中講義

芸術学科 学科専門科目 応用実践科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
総合・統合											
ポ ー ト フ ォ リ オ 制 作	演習							2		浅 井 貴 也 大信田 静子 柏 木 純 子 加 藤 万 紀 千 里 政 文 林 亨 松 澤 衛 村 松 幹 男 森 井 綾 山 下 圭 介 田 恩 蘋	選択必修科目
総 合 演 習 I	演習			2						村 松 幹 男 柏 木 純 子 浅 井 貴 也 大信田 静子 加 藤 万 紀 新 貝 孝 之 千 里 政 文 林 亨 松 澤 衛 森 井 綾 山 下 圭 介	集中講義
総 合 演 習 II	演習			2						村 松 幹 男 柏 木 純 子 浅 井 貴 也 大信田 静子 加 藤 万 紀 新 貝 孝 之 千 里 政 文 林 亨 松 澤 衛 森 井 綾 山 下 圭 介	集中講義
専 門 演 習 I	演習					②				担 当 教 員	集中講義
専 門 演 習 II	演習							②		担 当 教 員	集中講義
卒 業 研 究	演習								← ④ →	担 当 教 員	集中講義

教育文化学部 芸術学科 教科及び教職に関する科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		前	後	前	後	前	後	前	後		
美術科教育法Ⅰ	講義		②							山崎正明	
美術科教育法Ⅱ	講義			②						山崎正明	
美術科教育法Ⅲ	講義				②					林 亨 山下圭介	
美術科教育法Ⅳ	講義					②				林 亨 山下圭介	
教育原理	講義	②								井上大樹	教育学科(養・音)同時展開
教職概論	講義	②								神守一志	教育学科(養・音)同時展開
教育経営学	講義		②							山田潮	教育学科(養・音)同時展開
教育心理学	講義	②								三浦公裕	教育学科(養・音)同時展開
特別の教育的ニーズ論	講義		②							石塚誠之 上林宏文	教育学科(養・音)同時展開
教育課程論	講義				②					神守一志	教育学科(養・音)同時展開
道徳教育論	講義		②							杉浦勉	教育学科(養・音)同時展開
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	講義		②							横山光	教育学科(養・音)同時展開
教育方法論 (ICT活用の理論と方法を含む)	講義				②					神守一志 二宮孝行	教育学科(音)同時展開
生徒指導論 (進路指導を含む)	講義			②						山田潮	教育学科(音)同時展開
教育相談論 (カウンセリングを含む)	講義					②				三浦公裕	教育学科(養・音)同時展開
教育実習事前指導	講義					①				林 亨 山下圭介	
教育実習事後指導	講義							①		林 亨 山下圭介	
教育実習Ⅰ	実習						4	4		林 亨 山下圭介	集中講義
教育実習Ⅱ	実習						2	2		林 亨 山下圭介	集中講義
教職実践演習 (中・高)	講義・演習							②		林 亨 山下圭介	

Ⅲ  
学  
習

心理カウンセリング学科 学科専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
		前 後	前 後	前 後	前 後		
心 理 学 概 論	講義	②				澤 聡 一	発展科目 健康福祉学科同時展開
教育心理学概論(教育・学校心理学)	講義	2				飯 田 昭 人	
健 康 ・ 医 療 心 理 学	講義	2				入 江 智 也	
人 間 関 係 の 心 理 学	講義		2			入 江 智 也	学則に則った 遠隔授業発展科目
乳 幼 児 心 理 学	講義		2			新 川 貴 紀	発展科目
福 祉 心 理 学	講義		2			佐 藤 至 英	発展科目 健康福祉学科同時開講
育 児 支 援 の 心 理 学	講義		2			風 間 雅 江	発展科目
高 齢 者 心 理 学	講義		2			田 辺 毅 彦	健康福祉学科同時展開
青 年 心 理 学	講義		2			澤 聡 一	
知 覚 ・ 認 知 心 理 学	講義		2			高 橋 文 代	
学習心理学(学習・言語心理学Ⅰ)	講義	2				山 田 弘 司	
コミュニケーション心理学(学習・言語心理学Ⅱ)	講義				2	風 間 雅 江	
感 情 ・ 人 格 心 理 学	講義			2		河 村 麻 果	
生理心理学(神経・生理心理学Ⅰ)	講義	2				宇 野 英 樹	
神経心理学(神経・生理心理学Ⅱ)	講義			2		宇 野 英 樹	
社会心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ)	講義		2			渡 辺 舞	
家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ)	講義				2	飯 田 昭 人	
発 達 心 理 学	講義	2				新 川 貴 紀	発展科目
障 害 者 ・ 障 害 児 心 理 学	講義			2		風 間 雅 江	
司 法 ・ 犯 罪 心 理 学	講義			2		飯 田 昭 人	発展科目
産 業 ・ 組 織 心 理 学	講義				2	小 坂 守 孝	
臨 床 心 理 学 概 論	講義		②			河 村 麻 果	
ポ ジ テ ィ ブ 心 理 学	講義				2	風 間 雅 江	
モ チ ベ ー シ ョ ン 心 理 学	講義		2			佐 藤 至 英	発展科目
心 理 的 ア セ ス メ ン ト	講義		2			飯 田 昭 人	
心 理 学 基 礎 演 習 Ⅰ	演習		①			飯 田 昭 人 入 江 智 也 河 村 麻 果 澤 聡 一	
心 理 学 基 礎 演 習 Ⅱ	演習			①		飯 田 昭 人 入 江 智 也 河 村 麻 果 澤 聡 一	
心 理 学 統 計 法	講義		②			入 江 智 也	
心 理 学 実 験	演習			4		風 間 雅 江 入 江 智 也 澤 聡 一 新 川 貴 紀	
心 理 学 研 究 法	講義			②		澤 聡 一	
臨床心理援助技法論Ⅰ(精神分析療法)	講義				2	澤 聡 一	
臨床心理援助技法論Ⅱ(認知行動療法)	講義				2	河 村 麻 果	
臨床心理援助技法論Ⅲ(ブリーフ・セラピー)	講義				2	新 川 貴 紀	

心理カウンセリング学科 学科専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
		前 後	前 後	前 後	前 後		
心 理 演 習	演習			4		小坂守孝 飯田昭人 風間雅江 河村麻果	
心 理 実 習	実習			← 2 →		新川貴紀 飯田昭人 入江智也 風間雅江 河村麻果 小坂守孝 澤 聡一	集中講義
ス ク ー ル カ ウ ン セ リ ン グ	講義				2	新川貴紀	発展科目
生 命 倫 理 学	講義				2	森口眞衣	
公 認 心 理 師 の 職 責	講義					2 新川貴紀 入江智也 風間雅江 河村麻果 小坂守孝 澤 聡一	
関 係 行 政 論	講義				2	飯田昭人	
医学概論（人体の構造と機能及び疾病）	講義	2				政氏伸夫	健康福祉学科同時展開
医 学 知 識	講義		2			政氏伸夫	健康福祉学科同時展開
社 会 学	講義	2				松下守邦	発展科目 健康福祉学科同時展開
社会学と社会システム	講義				2	森下義亜	
社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義				2	伊藤新一郎	健康福祉学科同時展開 集中講義
社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義				2	吉田竜平	健康福祉学科同時展開
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義			2		勝又健太	健康福祉学科同時展開
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義			2		宮本雅央	健康福祉学科同時展開
社会保障論Ⅰ	講義		2			大友駿	
社会保障論Ⅱ	講義		2			大友駿	
障害者福祉	講義		2			近藤尚也	健康福祉学科同時展開
権利擁護と成年後見制度	講義			2		成田騎信	健康福祉学科同時展開
司法福祉論	講義			2		二階堂 恵	健康福祉学科同時展開
社会福祉調査の基礎	講義		2			森下義亜	健康福祉学科同時展開
精神医学Ⅰ（精神疾患とその治療Ⅰ）	講義		2			小林一彦	
精神医学Ⅱ（精神疾患とその治療Ⅱ）	講義		2			小林一彦	
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	講義			2		小林一彦	教育学科同時展開
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	講義				2	古川 奨	
ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	2				定平憲之	
精神保健福祉の原理	講義		4			今井博康	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	2				定平憲之	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義		2			定平憲之	
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ	講義		2			今井博康	
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ	講義			2		今井博康	

心理カウンセリング学科 学科専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業形態	年次・単位数								教 員 名	備 考	
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		前	後	前	後	前	後	前	後			
精神障害リハビリテーション論	講義					2					古川 奨	
精神保健福祉制度論	講義					2					古川 奨	
精神保健福祉援助演習（基礎）	演習					2					定平 憲之 古川 奨	
精神保健福祉援助演習Ⅰ	演習						2				古川 奨 定平 憲之	
精神保健福祉援助演習Ⅱ	演習							2			今井 博康 尾形 多佳士	
精神保健福祉援助演習Ⅲ	演習								2		今井 博康 古川 奨	
精神保健福祉援助実習指導	演習								←6→		今井 博康 定平 憲之 古川 奨	
精神保健福祉援助実習	実習								←7→		今井 博康 定平 憲之 古川 奨	集中講義
社会福祉学（応用）	講義							2			定平 憲之	
精神保健福祉学（応用）	講義								2		古川 奨 今井 博康 定平 憲之	
就業力特別演習	演習				1						澤 聡一 定平 憲之	
専門演習Ⅰ	演習				②						担当教員	集中講義
専門演習Ⅱ	演習					②					担当教員	集中講義
卒業研究	演習								←④→		担当教員	集中講義

## 5) 各種資格

### [生涯スポーツ学部／スポーツ教育学科]

#### ①社会教育主事（任用資格）・社会教育士

1. 社会教育主事養成課程の科目を履修することによって、社会教育主事になるための資格（任用資格）を取得し、あわせて社会教育士を称することができる。  
（関係法令：社会教育法第九条の四）
2. 社会教育主事は、都道府県及び市町村の教育委員会事務局に置かれ、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える職である。  
（関係法令：社会教育法第九条の二、第九条の三）
3. 社会教育士は、社会教育主事養成課程の学習成果を生かし、社会教育施設はもとより、教育委員会以外の行政（環境・福祉・まちづくり等）やNPOにおいて、青少年の体験活動の支援やまちづくりの推進などの役割が期待されている。

#### 【社会教育主事養成課程の科目】

法令に定める区分	法令単位	授業科目	開講年次	単位数	備考
生涯学習概論	4	生涯学習概論Ⅰ	1	2	必修6科目 12単位 履修のこと
		生涯学習概論Ⅱ	1	2	
生涯学習支援論	4	生涯学習支援論Ⅰ	4	2	
		生涯学習支援論Ⅱ	4	2	
社会教育経営論	4	社会教育経営論Ⅰ	2	2	
		社会教育経営論Ⅱ	2	2	
社会教育特講	8	現代生活と心と体	2	2	4科目8単位 以上 履修のこと
		スポーツ栄養学	2	2	
		現代生活と福祉	2	2	
		福祉心理学	1	2	
		生涯スポーツ学	1	2	
		情報社会及び情報倫理	2	2	
		情報機器操作Ⅰ	1	2	
		現代生活と芸術	2	2	
		現代生活と地球	2	2	
		現代生活と環境科学	2	2	
		青少年学習コーチング論	3	2	
		北海道の文化	2	2	
		高齢社会の街づくり	3	2	
		リカレント教育論	4	2	
地域支援実習	3	2			
人間関係の心理学	1	2			
社会教育実習	4	社会教育実習	3	2	法令上必修の 「社会教育実習」 1単位を含む
社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち一以上の科目		社会教育課題研究	3	2	
計	24単位以上			合計24単位以上	

## ②健康運動実践指導者受験資格

健康運動実践指導者は、医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技能を持ち、健康づくりを目的として作成された運動プログラムに基づいて、実践指導を行うインストラクターである。

### <資格要件>

健康運動実践指導者資格取得を希望する学生は、下表に定める所定の単位を修得することによって、健康・体力づくり事業財団が実施する資格認定試験を受験することができる。

財団が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
健康づくり施策概論	健康学	1	2
	生活習慣病概論	2	2
運動生理学	運動生理学	1	2
機能解剖とバイオメカニクス	基礎解剖学	1	2
	スポーツ・バイオメカニクス	2	2
栄養摂取と運動	栄養と健康	1	2
健康づくりと運動プログラム	運動処方	3	2
	トレーニング論	1	2
運動指導の心理学的基礎	健康心理学	1	2
運動障害と予防・救急処置	スポーツ整形外科学	2	2
	救急処置	2	2
健康づくり運動の実際	生涯スポーツ指導演習（水泳・水中運動）	3	2
	生涯スポーツ（エアロビック）	1	1
	生涯スポーツ指導演習（エアロビック）	2	2
	健康運動指導演習	2	2
	トレーニング演習	2	2
体力の測定と評価	体力測定評価	2	2
	体力測定評価演習	3	2

### <資格認定試験の受験>

所定の単位を取得した学生は、3年次において資格認定試験を受験することができる（受験料25,300円（税込））。資格認定試験は、指導実技試験と筆記試験の両方に合格する必要がある。

### <資格登録申請>

資格認定試験に合格した場合、登録申請を行うことで、健康運動実践指導者の資格を取得することができる（登録料22,000円（税込））。

### <登録費用>

登録は5年間有効で、所定の講習を受講することにより、更新することができる（登録更新料22,000円（税込））。

### <資格取得後の考えられる進路>

- ・健康増進センター（札幌市中央健康づくりセンターなど）
- ・保健センター
- ・民間フィットネスクラブ



### ③健康運動指導士受験資格

健康運動指導士は、保健医療関係者と連携しつつ、個々人の心身の状態に応じた、安全で効果的な運動を実施するための運動プログラムの作成及び実践指導計画の調整等を行う役割を担う専門家である。

#### <資格要件>

健康運動指導士資格取得を希望する学生は、下表に定める所定の単位を修得することによって、健康・体力づくり事業財団が実施する資格認定試験を受験することができる。

財団が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
健康管理概論	生活習慣病概論	2	2
健康づくり施策概論	健康学	1	2
生活習慣病（NCD）	生活習慣病概論	2	2
運動生理学	運動生理学	1	2
	運動処方	3	2
機能解剖とバイオメカニクス（運動・動作の力源）	スポーツ・バイオメカニクス	2	2
	基礎解剖学	1	2
健康づくりの運動の理論	運動処方	3	2
	トレーニング論	1	2
	障がい者スポーツ論	3	2
運動障害と予防	スポーツ内科学	3	2
	スポーツ整形外科学	2	2
体力測定と評価	体力測定評価	2	2
	体力測定評価演習	3	2
健康づくり運動の実際	健康運動指導演習	2	2
	生涯スポーツ指導演習（エアロビック）	2	2
	生涯スポーツ指導演習（水泳・水中運動）	3	2
	トレーニング演習	2	2
	健康産業施設実習	4	2
救急処置	救急処置	2	2
運動プログラムの管理	運動処方演習	3	2
	運動処方演習	4	2
	生活習慣病概論	2	2
	スポーツ内科学	3	2
運動負荷試験実習	運動処方演習	4	2
運動行動変容の理論と実際	中高年スポーツ論	2	2
	運動処方演習	4	2
運動とこころの健康増進	健康学	1	2
栄養摂取と運動	栄養と健康	1	2

### <資格認定試験の受験>

所定の単位を取得した学生は、4年次において資格認定試験を受験することができる（受験料15,714円（税込））。

### <資格登録申請>

資格認定試験に合格した場合、登録申請を行うことで、健康運動指導士の資格を取得することができる（登録料24,200円（税込））。

### <登録費用>

登録は5年間有効で、所定の講習を受講することにより、更新することができる（登録更新料22,000円（税込））。

### <健康産業施設実習>

#### ①実習対象者

- ・3年次までに開講される所定の単位をすべて修得し、4年次に開講される所定の科目をすべて履修していること

#### ②実習受け入れ先

- ・北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センタースポーツクラブ（スポルクラブ）
- ・溪仁会円山クリニック
- ・美田内科循環器科クリニック 他

### <資格取得後の考えられる進路>

- ・地域まるごと元気アッププログラム（コープさっぽろ）
- ・病院（溪仁会円山クリニック、北海道循環器病院など）
- ・健康増進センター（札幌市中央健康づくりセンター、日本健康倶楽部など）
- ・保健センター（苫小牧保健センター）
- ・介護予防施設（ジョイリハ）
- ・民間フィットネスクラブ
- ・フリーインストラクターなど

## ④JATI認定トレーニング指導者受験資格

JATI認定トレーニング指導者（Accredited Training Instructor；JATI-ATI）は、一般人からアスリートまで幅広い目的や対象に応じて、科学的根拠に基づくトレーニング指導を行う専門家である。

### <資格要件>

協会が定める科目（一般科目および専門科目）に対して本学で開講される科目の単位を修得した後、協会が主催する認定試験（一般科目および専門科目、受験料：両方30,000円（税別）、片方20,000円（税別））に合格し、JATIに入会すると（年会費10,000円（税別））、取得できる。

### <所定修得科目>

#### 一般科目

協会が定める科目	本学開設科目	年次	単位
体力学総論	ト レ ニ ン グ 論	1	2
機能解剖(1)上肢	機 能 解 剖 学	1	2
機能解剖(2)脊柱と胸郭			
機能解剖(3)骨盤と下肢			
バイオメカニクス(1)基礎理論	ス ポ ー ツ ・ バ イ オ メ カ ニ ク ス	2	2
バイオメカニクス(2)スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス	ス ポ ー ツ ・ バ イ オ メ カ ニ ク ス	2	2
運動生理学(1)呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動	運 動 生 理 学	1	2
運動生理学(2)骨格筋系・神経系・内分泌系と運動			
運動と栄養(1)基礎理論	栄 養 と 健 康	1	2
運動と栄養(2)スポーツ選手の競技力向上と栄養	ス ポ ー ツ 栄 養 学	2	2
運動と栄養(3)一般人の健康増進と栄養			
運動と心理(1)基礎理論	ス ポ ー ツ 心 理 学	1	2
運動と心理(2)スポーツ選手の競技力向上への活用			
運動と心理(3)一般人の健康増進への活用			
運動と医学(1)救急処置法	救急処置、または、スポーツ医学基礎	2	2
運動と医学(2)スポーツ選手の整形外科的傷害と予防	スポーツ整形外科学、または、スポーツ医学基礎	2	2
運動と医学(3)生活習慣病とその予防	ス ポ ー ツ 内 科 学	3	2
運動指導の科学	コ ー チ 学	1	2

#### 専門科目

協会が定める科目	本学開設科目	年次	単位
トレーニング指導者の役割	コ ー チ 学	1	2
トレーニング計画の立案（総論）	ト レ ー ニ ン グ 論、または、運動処方	1,または,3	2
筋力トレーニングのプログラム作成	ト レ ー ニ ン グ 論	1	2
パワー向上トレーニングの理論とプログラム作成			
有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成			
スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成			
ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの理論とプログラム作成			
特別な対象のためのトレーニングとプログラム	ト レ ー ニ ン グ 論、または、運動処方	1,または,3	2
傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム	ス ポ ー ツ 医 学 基 礎	2	2
筋力トレーニングの実際	ト レ ー ニ ン グ 演 習	2	2
パワー向上トレーニングの実際			
有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの実際			
スピード向上トレーニングの実際			
ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの実際			
トレーニング効果の測定と評価の実際	体 力 測 定 評 価	2	2
測定データの活用とフィードバックの実際			
トレーニングの運営	健 康 産 業 施 設 実 習	4	2
運動指導のための情報収集と活用	コ ー チ 学	1	2

## ⑤公認スポーツ指導者 共通科目Ⅲ

公認スポーツ指導者共通科目Ⅲは、地域スポーツクラブ、学校、商業スポーツ施設等において、コーチングアシスタント、各スポーツ競技別専門の指導者（指導員、コーチ、教師）、アシスタントマネジャー、アスレティックトレーナー等、主に日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格取得に必要な共通科目である。

### <資格要件>

公認スポーツ指導者共通科目Ⅲの申請を希望する学生は、日本スポーツ協会が定めるインターネットサービス「指導者マイページ」の作成とリファレンスブックの購入、下表に定める本学所定の単位を取得し、共通科目検定試験（オンラインテスト）に合格後、申請が可能である。

### <所定修得科目>

#### 一般科目

協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
コーチングを理解しよう	コ ー チ 学	1	2
1. コーチングとは	ス ポ ー ツ 心 理 学	1	2
2. コーチに求められる役割	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト	2	2
3. コーチに求められる知識とスキル	ジ ュ ニ ア ス ポ ー ツ 論	3	2
4. 對他者力を磨こう	ス ポ ー ツ 社 会 学	3	2
5. 對自己力を磨こう			
6. スポーツの意義と価値			
7. スポーツの価値を守るスポーツ権			
8. スポーツの自治ーガバナンスとコンプライアンスー			
9. 暴力・ハラスメントの根絶			
10. スポーツのインテグリティ			
11. スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任			
12. スポーツ仲裁			
13. スポーツ倫理			
14. 時代をリードするコーチング			
グッドコーチに求められる医・科学的知識	ス ポ ー ツ 心 理 学	1	2
1. スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系	生 理 学	1	2
2. 体力のトレーニング	基 礎 解 剖 学	1	2
3. スキルトレーニン	ト レ ー ニ ン グ 論	1	2
4. 心のトレーニング	ス ポ ー ツ 医 学 基 礎	2	2
5. スポーツと栄養	ス ポ ー ツ 栄 養 学	2	2
6. スポーツに関連する医学的知識	体 力 測 定 評 価	2	2
7. アンチ・ドーピング	体 力 測 定 評 価 演 習	3	2
現場・環境に応じたコーチング	ス ポ ー ツ 教 育 学 概 論	1	2
1. コーチング環境の特徴	コ ー チ 学	1	2
2. ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト	2	2
3. スポーツ組織のマネジメント	ジ ュ ニ ア ス ポ ー ツ 論	3	2
4. 障がい者とスポーツ			

共通科目Ⅲ：①取得単位の確認がある。

②共通科目検定試験（オンラインテスト）に合格後、指導者マイページにて申請し、修了証明が与えられる。

（修了証明と併せてコーチングアシスタントとして認定される。）

## ⑥公認ジュニアスポーツ指導員受験資格

ジュニアスポーツ指導員とは、地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通した身体づくり、動きづくりの指導を行う人材である。

### <資格要件>

本学で「日本スポーツ協会公認スポーツ指導員」の共通科目Ⅲの単位と下表に定められた科目（専門科目）の単位を取得した後、日本スポーツ協会が定めるインターネットサービス「指導者マイページ」にて受講完了申請を行い、日本スポーツ協会が主催する検定試験に合格しなければならない。

受験料：3,000円（税別）

協会が定める科目		本学開講科目		開講年次	単位数
理論編	概論	ジュニアスポーツ論		3	2
	コーチング				
	体力				
	動きの発達				
	心理				
	栄養				
	スポーツ医学				
	女性とスポーツ				
実技編	運動遊び・スポーツ	健康運動指導演習	2	2	
		生涯スポーツ指導演習（体づくり運動）	3	2	
実習編	指導実習	就業力特別演習Ⅲ	4	1	
		教育実習Ⅰ			4
		（どちらか1科目）			

### <申請費用>

資格登録料は、初回登録時4年間16,000円（以後、更新義務研修を受講）である。

### <資格取得後の考えられる進路>

- ・ 幼児スポーツ指導員（幼児活動研究会など）

## ⑦公認アシスタントマネジャー受験資格

アシスタントマネジャーとは、総合型地域スポーツクラブなどの運営に必要なマネジメントの基礎知識を有する人材で、総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブ運営のために諸活動をサポートする。

### <資格要件>

アシスタントマネジャー資格を取得するためには、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者共通科目Ⅲを取得し、次表に定める本学所定の単位を取得した後、日本スポーツ協会が定めるインターネットサービス「指導者マイページ」にて受講完了申請を行い、日本スポーツ協会が主催する検定試験に合格しなければならない。

協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
地域スポーツクラブとは	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト	2	2
地域スポーツクラブの現状	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト	2	2
クラブマネジャーの役割	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト	2	2
	ス ポ ー ツ マ ー ケ テ ィ ン グ	4	2
クラブの作り方	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト	2	2
	ス ポ ー ツ マ ー ケ テ ィ ン グ	4	2
クラブの運営	地 域 支 援 実 習	3	2

### <申請費用>

検定料：3,000円（税別）

資格申請料（初回登録時4年間）：16,000円（以後、更新義務研修を受講）

### <資格取得後の考えられる進路>

- ・総合型地域スポーツクラブマネージャー
- ・公共・民間スポーツ施設
- ・青少年・スポーツ関連団体（（公財）さっぽろ青少年女性活動協会、（一財）さっぽろ健康スポーツ財団など）
- ・市町村教育委員会（社会教育関係業務）
- ・学校教育現場（体育科教員として課外活動などの実践場面）

## ⑧公認エアロビックコーチ 1 受験資格

「日本スポーツ協会公認エアロビックコーチ 1」は、地域においてスポーツ活動を行っているグループ、サークル、スポーツ教室等で、エアロビックの基礎的な指導を行うための公的な資格である。資格取得後は指導者としてさらに資質を向上させるため、日本エアロビック連盟主催の各種セミナーや講習会等へ参加することができる。さらに、一定期間指導者としての実績を積むと、上級エアロビック指導員資格のエアロビックコーチ 2 へのステップアップも可能である。

### <資格要件>

エアロビックコーチ 1 の資格を取得するためには、本学で「日本スポーツ協会公認指導員」共通科目Ⅲの単位と下表に定められた科目（専門科目）の単位を取得した後に、日本スポーツ協会が定めるインターネットサービス「指導者マイページ」にて受講完了申請を行い、日本スポーツ協会および日本エアロビック連盟が実施する「日本スポーツ協会公認エアロビックコーチ 1 専門科目検定試験（理論試験・実技試験）」に合格しなければならない。

協会が定める科目		本学開講科目	開講年次	単位数
基 礎 理 論		生涯スポーツ（エアロビック）	1	1
		生涯スポーツ指導演習（エアロビック）	2	2
実 技 指 導 実 習		生涯スポーツ（エアロビック）	1	1
		生涯スポーツ指導演習（エアロビック）	2	2

### <資格登録申請>

専門科目の検定試験は 3 年次に受験することができ、合格者は、日本エアロビック連盟認定エアロビックリーダー資格が得られる。その上で、卒業時に日本スポーツ協会に申請、登録手続きを行うことにより、「日本スポーツ協会公認エアロビックコーチ 1」の資格を取得することができる。この資格は 4 年間有効で、日本エアロビック連盟所定の講習会を受講することにより更新することができる。

### <申請費用>

専門科目検定試験（日本エアロビック連盟認定エアロビックリーダー）

受検料5,280円（税込）、認定料5,280円（税込）、登録料5,000円（税込）

日本スポーツ協会公認エアロビックコーチ 1

登録料20,000円（税別）、初回手数料3,000円（税別）

### <資格取得後の考えられる進路>

- ・ 公共・民間スポーツ施設
- ・ 学校教育現場（体育科教員として体育実技での実践）
- ・ 健康増進センター
- ・ 総合型地域スポーツクラブ

## ⑨公認アスレティックトレーナー受験資格

アスレティックトレーナーは、スポーツドクター及びコーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、傷害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等を担当する専門家である。

アスレティックトレーナーの資格取得を希望する学生は、下表に定める本学所定の単位を取得し、日本スポーツ協会が定めるインターネットサービス「指導者マイページ」にて受講完了申請を行い、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者共通科目Ⅲを申請する。加えて、日本赤十字社救急法救急員資格を別に取得する必要がある。以上をもって、アスレティックトレーナー専門科目検定試験を受験することができる。

協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
アスレティックトレーナーの役割	アスレティックトレーナー概論	1	2
スポーツ科学	トレーニンング演習	2	2
	スポーツ・バイオメカニクス	2	2
	運動生理解	1	2
	メンタルトレーニング演習	3	2
運動器の解剖と機能	機能解剖学	1	2
	スポーツ解剖学	2	2
スポーツ外傷・障害の基礎知識	スポーツ整形外科学	2	2
	臨床スポーツ医学	2	2
健康管理とスポーツ医学	スポーツ内科学	3	2
検査・測定と評価	スポーツ外傷・障害の評価理論	2	2
	スポーツ外傷・障害の評価演習	2	2
予防とコンディショニング	テーピング演習	2	2
	コンディショニング理論	3	2
	コンディショニング演習	3	2
アスレティックリハビリテーション	アスレティックリハビリテーション理論	2	2
	アスレティックリハビリテーション演習Ⅰ	3	2
	アスレティックリハビリテーション演習Ⅱ	3	2
救急処置	救急処置	2	2
スポーツと食事	スポーツ栄養学	2	2
現場実習	アスレティックトレーニング指導実習	4	4

### <申請費用>

受験料：理論試験15,000円（税別）、実技試験30,000円（税別）



## ⑩初級パラスポーツ指導員

地域で活動する18歳以上の指導者で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者。また、障がいの基本内容を理解し、スポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身につけ、実践に当たっては、健康や安全管理を重視した指導が出来る者。さらに、地域の大会や行事に参加するとともに、指導者組織の事業にも積極的に参加するなど地域のパラスポーツの振興を支える者。

### <資格要件>

初級パラスポーツ指導員の資格取得を希望する学生は、学内で実施される開講科目によって協会基準カリキュラムを修了し、資格取得申請をした者を、協会会長が認定する。

協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
障がい者福祉施策と障がい者スポーツ	障がい者スポーツ論	3	2
ボランティア論			
障がい者スポーツの意義と理念			
安全管理			
障がいの理解とスポーツ			
日本障がい者スポーツ協会資格認定制度			
全国障がい者スポーツ大会の概要			
生涯に応じたスポーツの工夫・実施	生涯スポーツ（障がい者スポーツ）	4	1
障がい者との交流（実技）			

### <申請費用>

申請時に申請・認定料5,500円および登録料3,800円（参考：前年度）を納入する。

登録期間は、1年間である。

### <資格取得後の考えられる進路>

- ・パラスポーツの指導
- ・パラスポーツ大会の運営役員、ボランティア
- ・パラスポーツセンター
- ・福祉施設の指導員
- ・特別支援学校教員として体育・スポーツの指導

## ⑪レクリエーション・インストラクター

レクリエーション・インストラクターとは、ニュースポーツやゲーム、音楽、芸術などの様々なレクリエーション活動を通じて、余暇時間の有効利用から地域の交流・活性化を支援する指導者のことで、日本レクリエーション協会の公認指導者資格である。

スポーツ指導者をはじめ、保育士、幼稚園教諭、小・中学校教諭、介護福祉士、社会福祉士、職場等でレクリエーションを担当する人、地域活動（介護予防、子育て支援、子ども会活動、子どもの居場所づくり等）に関わる人が本資格を取得している。

### <資格要件>

レクリエーション・インストラクターの資格は、下表に定める本学所定の単位を修得し、登録申請（登録料等が必要）をすることで取得することができる。

区分	協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
理論	レクリエーション概論	レジャー・レクリエーション論	2	2
	楽しさと心の元気づくりの理論			
	レクリエーション支援理論			
	レクリエーション支援のプログラム			
実技	レクリエーション支援の方法	野外教育実習	2	2
	レクリエーション活動の習得			
	レクリエーション支援の実施			
実習科目	現場実習	地域支援実習	3	2

### <申請費用>

17,600円必要となる（登録料16,000円、消費税1,600円）。

資格の有効期限は2年間であり、2年に一度更新が必要である。更新料を支払うことで有効期限が延長される。資格更新に必要な費用は12,100円（更新料）である。

### <資格取得後の考えられる進路>

- ・ 総合型地域スポーツクラブ
- ・ 青少年・スポーツ関連団体（（公財）さっぽろ青少年女性活動協会、（一財）さっぽろ健康スポーツ財団など）
- ・ 独立行政法人国立青少年教育振興機構（国立大雪青少年交流の家、国立日高青少年自然の家など）
- ・ 市町村教育委員会（社会教育関係業務）
- ・ 地域活動を目的としたNPO
- ・ 学校教育現場

## ⑫レクリエーション・コーディネーター受験資格

レクリエーション・コーディネーターとは、生涯スポーツを中心とした様々なプログラムの提案や実践を行いながら、地域の人材や団体をコーディネートし、市民サービス型事業の推進役として活躍する指導者のことで、レクリエーション・インストラクターの上位資格となる日本レクリエーション協会の公認指導者資格である。

### <資格要件>

レクリエーション・コーディネーターの資格を取得するには、レクリエーション・インストラクターの資格が必要（同時取得も可）。下表に定める本学所定の単位を修得した後（見込みも可）、本学で実施する「学内審査筆記試験」に合格し、登録申請（登録料等が必要）を行うことでレクリエーション・コーディネーターの資格を取得することができる。

### (1)所定修得科目

科目名	協会が定める科目		本学開設科目	
	学習項目	授業科目	開講年次	単位数
レクリエーション支援の理念と方法	レクリエーションの基礎理論	レジャー・レクリエーション論	2	2
	レクリエーション活動の展開方法	野外教育実習	2	2
		雪上活動実習	2	1
活動領域および支援対象の理解	活動領域の理解	スポーツ社会学	3	2
		生涯学習概論Ⅰ	1	2
	支援対象の理解 ※3単位以上「スポーツ教育学概論」は必修	スポーツ教育学概論	1	2
		スポーツ心理学	1	2
		運動生理学	1	2
		スポーツ内科学	3	2
レクリエーション・コーディネート技術および演習	事業でのレクリエーション・インストラクション技術の活用 事業やプログラムの意図に応じたレク活動のアレンジ 事業の企画と運営	スポーツマネジメント	2	2
		野外教育指導演習	3	2
現場実習		地域支援実習	3	2

### (2)申請費用

31,100円（登録料 26,000円、消費税 2,600円、学内審査料 2,500円）が必要となる。

なお、インストラクターと同時に申請した場合、コーディネーターの公認料と登録料は減額され、2つの申請費用は以下のとおりとなる。

資格名	登録料	消費税	学内審査料	合計
レクリエーション・インストラクター	16,000円	2,600円	-	31,100円
レクリエーション・コーディネーター	10,000円		2,500円	

### (3)その他

登録申請後、有効期限は2年間である。以後は2年ごとの更新となり、更新にかかる費用は17,600円（更新料）である。

### <資格取得後の考えられる進路>

- ・ 総合型地域スポーツクラブ
- ・ 青少年・スポーツ関連団体（(公財)さっぽろ青少年女性活動協会、(一財)さっぽろ健康スポーツ財団など）
- ・ 独立行政法人国立青少年教育振興機構（国立大雪青少年交流の家、国立日高青少年自然の家など）
- ・ 市町村教育委員会（社会教育関係業務）
- ・ 地域活動を目的としたNPO
- ・ 学校教育現場

### ⑬ キャンプインストラクター

キャンプインストラクター資格とは、総合的な自然体験であるキャンプの楽しさを主に野外活動を通して指導する人に与えられる公益社団法人日本キャンプ協会が認定する公的資格である。またキャンプディレクター2級資格の基礎資格となる。

#### <資格要件>

(公社)日本キャンプ協会キャンプインストラクター課程認定校である本学の所定科目を履修し、本学で実施する「キャンプインストラクター試験」に合格し、登録申請を行うことによりキャンプインストラクター資格を取得することができる。

科目名		本学開講科目	開講年次	単位数
理 実 技 ・ 指 導 実 合	論 習 計	野 外 教 育 実 習	2	2
				2

#### <資格登録申請>

登録申請にあたっては、登録諸費13,300円を添えて申請する。

登録期間は1年間で、日本キャンプ協会所定の更新料等を振り込むことで更新される。

## ⑭ キャンプディレクター 2 級受験資格

キャンプディレクター 2 級資格は、野外活動を実践しようとする人に対して、適切なキャンプ全体の指導とプログラムの企画運営を行うことができる指導者に与えられる公益社団法人日本キャンプ協会が認定する公的資格である。

### < 資格要件 >

(公社)日本キャンプ協会キャンプディレクター 2 級課程認定校である本学の所定科目を履修し、本学で実施する「キャンプディレクター 2 級試験」に合格し、登録申請を行うことによりキャンプディレクター 2 級資格を取得することができる。

科目名	本学開講科目	開講年次	単位数
理論 実技・指導実習Ⅰ	野外教育実習	2	2
応用実技・指導実習Ⅱ	雪上活動実習	2	1
	野外教育指導演習	3	2
合計			5

### < 資格登録申請 >

登録申請にあたって：①キャンプインストラクター資格保有者は登録諸費11,000円を添えて申請する。

②キャンプインストラクター資格を持っていない者は登録諸費20,000円を添えて申請する。

登録期間は1年間で、日本キャンプ協会所定の更新料等を振り込むことで更新される。

## [生涯スポーツ学部／健康福祉学科]

### ①社会福祉士国家試験受験資格

#### 北翔大学 社会福祉士受験資格取得に関する履修規程

第1条 この規程は、北翔大学学則（以下「学則」という。）第71条の規定に基づき、北翔大学（以下「本学」という。）に置く社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）に規定する社会福祉士の受験資格を得るための科目の履修に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 本学生涯スポーツ学部健康福祉学科社会福祉コースにおいて、所定の科目を履修し、単位を取得した者は社会福祉士の受験資格が得られる。

第3条 社会福祉士（社会福祉士及び介護福祉士法第2条第1項）とは、その名称を用いて専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者をいう。

第4条 社会福祉士受験資格（社会福祉士及び介護福祉士法第7条第1号）は、大学において文部科学省令・厚生労働省令で定める社会福祉に関する科目を修めて卒業した者に与えられる。本学において社会福祉士の受験資格を得ようとする者は別表1の科目・単位を修得しなければならない。

第5条 ソーシャルワーク実習Ⅰ、ソーシャルワーク実習Ⅱ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ及びソーシャルワーク実習指導Ⅲを履修する者は、学則第88条第1項及び学費等納付金規程に定める実習に要する費用を、所定の期日までに納付しなければならない。

第6条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

#### 附 則

1 この規程は、平成9年4月1日から施行する。

2 この規程は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（社会福祉士介護福祉士学校職業能力開発校等養成施設指定規則改正及び校名変更に伴う改正）

1 この規程は、平成12年4月1日から施行する。

2 平成12年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則（校名変更に伴う改正）

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（校名変更に伴う改正）

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（別表の改正に伴う改正）

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

2 平成19年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則（関係する法令等の改正、介護福祉学科を地域福祉学科に、生活福祉学科を医療福祉学科に名称変更すること、福祉心理学科のコース変更及び教育課程の改正に伴う改正）

1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。

2 平成21年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

3 平成20年度以前の教育課程の科目を修得することにより社会福祉士の受験資格を得ようとする者が、平成21年度の教育課程の科目を修得する場合は、別表2により修得しなければならない。

4 平成21年度及び22年度入学の編入学生が社会福祉士の受験資格を得るために平成21年度の教育課程の科目を修得する場合は別表2により修得しなければならない。

附 則（生涯スポーツ学部健康福祉学科の設置及び教育課程の変更に伴う改正）

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（社会福祉士養成課程を生涯スポーツ学部健康福祉学科社会福祉コースに置くこと及び教育課程の変更並びに別表2の廃止に伴う改正）

- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和2年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（関係省令改正による社会福祉士受験資格取得に係る教育課程の変更に伴う改正）

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和3年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（規定の整備に伴う改正）

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（関係省令に則り、別表1の科目順を改めたことに伴う改正）

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

別表1 社会福祉士受験資格に関する科目一覧表

法定基準		本学基準			備考
法定科目	授業科目	開講年次	必修単位		
医学概論	医学概論	1	2		
心理学と心理的支援	心理学概論	1	2		
社会学と社会システム	社会学と社会システム	4	2		
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	4	2		
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	4	2		
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	2		
	社会保障論Ⅱ	2	2		
権利擁護を支える法制度	権利擁護と成年後見制度	3	2		
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	3	2		
	地域福祉の包括的支援体制Ⅱ	3	2		
高齢者福祉	高齢者福祉	1	2		
障害者福祉	障害者福祉	2	2		
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉	1	2		
貧困に対する支援	公的扶助論	2	2		
保健医療と福祉	医療福祉論	3	2		
刑事司法と福祉	司法福祉論	3	2		
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2		
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1	2		
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2		
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	2	2		
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2		
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	3	2		
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2	2		
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	3	2		
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2		
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	2		
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3	2		
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3	2		
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4	2		
	ソーシャルワーク演習Ⅵ	4	2		
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	2		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3	4		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4	2		
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ	3	6		
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	4	2		
合計			76		

## ②健康運動指導士受験資格

健康運動指導士は、保健医療関係者と連携しつつ、個々人の心身の状態に応じた、安全で効果的な運動を実施するための運動プログラムの作成及び実践指導計画の調整等を行う役割を担う専門家である。

### <資格要件>

健康運動指導士資格取得を希望する学生は、下表に定める所定の単位を修得することによって、健康・体力づくり事業財団が実施する資格認定試験を受験することができる。

財団が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
健康管理概論	生活習慣病概論	2	2
健康づくり施策概論	健康学	1	2
生活習慣病（NCD）	生活習慣病概論	2	2
運動生理学	運動生理学	1	2
	運動処方	3	2
機能解剖とバイオメカニクス（運動・動作の力源）	スポーツ・バイオメカニクス	2	2
	基礎解剖学	1	2
健康づくりの運動の理論	運動処方	3	2
	トレーニング論	1	2
	障がい者スポーツ論	3	2
運動障害と予防	スポーツ内科学	3	2
	スポーツ整形外科学	2	2
体力測定と評価	体力測定評価	2	2
	体力測定評価演習	3	2
健康づくり運動の実際	健康運動指導演習	2	2
	生涯スポーツ指導演習（エアロビック）※1	2	2
	生涯スポーツ指導演習（水泳・水中運動）※2	3	2
	トレーニング演習	2	2
	健康産業施設実習	4	2
救急処置	救急処置	2	2
運動プログラムの管理	運動処方演習	3	2
	運動処方演習	4	2
	生活習慣病概論	2	2
	スポーツ内科学	3	2
運動負荷試験実習	運動処方演習	4	2
運動行動変容の理論と実際	中高年スポーツ論	3	2
	運動処方演習	4	2
運動ところの健康増進	健康学	1	2
栄養摂取と運動	栄養と健康	1	2

※1 「生涯スポーツ指導演習(エアロビック)」を履修するには、前提科目である「生涯スポーツ(エアロビック)」を履修して、単位修得しておく必要がある。

※2 「生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)」を履修するには、前提科目である「生涯スポーツ(水泳・水中運動)」を他学科履修し、単位修得しておく必要がある。「生涯スポーツ(水泳・水中運動)」はスポーツ教育学科でのみ開講されている。



### <資格認定試験の受験>

所定の単位を取得した学生は、4年次において資格認定試験を受験することができる（受験料15,714円（税込））。

### <資格登録申請>

資格認定試験に合格した場合、登録申請を行うことで、健康運動指導士の資格を取得することができる（登録料24,200円（税込））。

### <登録費用>

登録は5年間有効で、所定の講習を受講することにより、更新することができる（登録更新料22,000円（税込））。

### <健康産業施設実習>

#### ①実習対象者

- ・3年次までに開講される所定の単位をすべて修得し、4年次に開講される所定の科目をすべて履修していること

#### ②実習受け入れ先

- ・北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センタースポーツクラブ（スポルクラブ）
- ・溪仁会円山クリニック
- ・美田内科循環器科クリニック 他

### <資格取得後の考えられる進路> ※（ ）内は実績

- ・地域まるごと元気アッププログラム（コープさっぽろ）
- ・病院（溪仁会円山クリニック、北海道循環器病院）
- ・健康増進センター（札幌市健康づくりセンター、日本健康倶楽部）
- ・保健センター（苫小牧保健センター）
- ・介護予防施設（ジョイリハ）
- ・フィットネスクラブ（宮の森スポーツ）
- ・フリーインストラクターなど

### ③社会福祉主事（任用資格）

社会福祉主事とは、福祉事務所現業員として任用される者に要求される資格（任用資格）であり、民間社会福祉施設職員等の資格にも準用されている。

社会福祉主事任用資格の必要な職種は以下のとおりである。

行政	福祉事務所	現業員、査察指導員、家庭児童福祉主事 [児童福祉事業従事2年以上等]、 家庭相談員 [児童福祉事業従事2年以上等]、母子相談員、老人福祉指導主事
	各種相談所	身体障害者福祉司 [身体障害者福祉事業従事2年以上等] ※
		知的障害者福祉司 [知的障害者福祉事業従事2年以上等] ※
民間社会福祉施設	児童福祉司 [児童福祉事業従事2年以上等] ※	施設長、生活指導員 等

[ ]内は、社会福祉主事任用資格に加えて必要な要件

※ 社会福祉主事任用資格取得以外にも資格を得られる方法がある

#### <取得方法>社会福祉法第19条

社会福祉主事任用資格の取得方法は複数ある。健康福祉学科の場合は、国家資格である社会福祉士を取得するか、大学において社会福祉に関する科目（厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目）を3科目以上修めて卒業するか、のいずれかになる。

※厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目

社会福祉概論、社会保障論、社会福祉行政論、公的扶助論、身体障害者福祉論、老人福祉論、児童福祉論、家庭福祉論、知的障害者福祉論、精神障害者保健福祉論、社会学、心理学、社会福祉施設経営論、社会福祉援助技術論、社会福祉事業史、地域福祉論、保育理論、社会福祉調査論、医学一般、看護学、公衆衛生学、栄養学、家政学、倫理学、教育学、経済学、経済政策、社会政策、法学、民法、行政法、医療社会事業論、リハビリテーション論、介護概論

上記指定科目と本学科における開講科目との対応表は、表1の通りである。

表1 厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目と本学科における開講科目との対応表\*

厚生労働大臣指定科目	本学科の開講科目
社会福祉概論	社会福祉の原理と政策Ⅰ** 及び 社会福祉の原理と政策Ⅱ**
社会福祉事業史	
社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ 及び ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ**
社会福祉調査論	社会福祉調査の基礎**
社会福祉施設経営論	
社会福祉行政論	
社会保障論	社会保障論Ⅰ 及び 社会保障論Ⅱ**
公的扶助論	公的扶助論**
児童福祉論	児童・家庭福祉**
家庭福祉論	
保育理論	
身体障害者福祉論	障害者福祉**
知的障害者福祉論	障害者福祉**
精神障害者保健福祉論	障害者福祉**
老人福祉論	高齢者福祉
医療社会事業論	医療福祉論**
地域福祉論	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 及び 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ**
法学	
民法	
行政法学	
経済学	
社会政策	
経済政策	
心理学	心理学概論
社会学	社会学 又は 社会学と社会システム**
教育学	
倫理学	
公衆衛生学	
医学一般	医学概論
リハビリテーション論	リハビリテーション論
看護学	
介護概論	
栄養学	
家政学	

\* 厚生労働省社会・援護局長通知（社援発0306第28号 令和2年3月6日）「社会福祉法第19条第1項第1号に基づく厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目の読替えの範囲等の一部改正について」をもとに作成

\*\* 社会福祉コースで開講

## ④社会教育主事（任用資格）・社会教育士

1. 社会教育主事養成課程の科目を履修することによって、社会教育主事になるための資格（任用資格）を取得し、あわせて社会教育士を称することができる。

（関係法令：社会教育法第九条の四）

2. 社会教育主事は、都道府県及び市町村の教育委員会事務局に置かれ、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える職である。

（関係法令：社会教育法第九条の二、第九条の三）

3. 社会教育士は、社会教育主事養成課程の学習成果を生かし、社会教育施設はもとより、教育委員会以外の行政（環境・福祉・まちづくり等）やNPOにおいて、青少年の体験活動の支援やまちづくりの推進などの役割が期待されている。

### 【社会教育主事養成課程の科目】

法令に定める区分	法令単位	授業科目	開講年次	単位数	備考
生涯学習概論	4	生涯学習概論Ⅰ	1	2	必修6科目 12単位 履修のこと
		生涯学習概論Ⅱ	1	2	
生涯学習支援論	4	生涯学習支援論Ⅰ	4	2	
		生涯学習支援論Ⅱ	4	2	
社会教育経営論	4	社会教育経営論Ⅰ	2	2	
		社会教育経営論Ⅱ	2	2	
社会教育特講	8	現代生活と心と体	2	2	4科目8単位 以上 履修のこと
		スポーツ栄養学	2	2	
		現代生活と福祉	2	2	
		福祉心理学	1	2	
		生涯スポーツ学	1	2	
		情報社会及び情報倫理	2	2	
		情報機器操作Ⅰ	1	2	
		現代生活と芸術	2	2	
		現代生活と地球	2	2	
		現代生活と環境科学	2	2	
		青少年学習コーチング論	3	2	
		北海道の文化	2	2	
		高齢社会の街づくり	3	2	
		リカレント教育論	4	2	
地域支援実習	3	2			
人間関係の心理学	1	2			
社会教育実習	4	社会教育実習	3	2	法令上必修の 「社会教育実習」 1単位を含む
社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち一以上の科目		社会教育課題研究	3	2	
計	24単位以上			合計24単位以上	

## ⑤身体障害者福祉司（任用資格）

身体障害者福祉司は、身体障害者更生相談所や福祉事務所などの公的機関で働く専門職（公務員）である。身体障害者の福祉に関して福祉事務所に技術指導を行い、身体障害者の相談・調査・更生援護の要否や種類の判断、本人への指導等の業務のうち、専門的技術が必要な仕事を行う。

任用する場合にいくつかの要件があり、本学科学生の場合は、以下の要件に該当する。

- ①社会福祉士の資格を有している者
- ②社会福祉主事として、身体障害者の更生援護その他の福祉に関する事業に2年以上従事した者

## ⑥知的障害者福祉司（任用資格）

知的障害者福祉司は 知的障害者更生相談所や福祉事務所などの公的機関で働く専門職（公務員）である。知的障害者の福祉に関して福祉事務所に技術指導を行い、知的障害者の相談・調査・更生援護の要否や種類の判断、本人への指導等の業務のうち、専門的技術が必要な仕事を行う。

任用する場合にいくつかの要件があり、本学科学生の場合は、以下の要件に該当する。

- ①社会福祉士の資格を有している者
- ②社会福祉主事として、知的障害者の更生援護その他の福祉に関する事業に2年以上従事した者

## ⑦児童福祉司（任用資格）

児童相談所に置かれる専門職（公務員）で、児童相談所長の指示により、児童の保護その他児童の福祉に関する事項について、相談に応じ、専門的技術に基づいて必要な指導を行う。

児童福祉司の任用資格要件として、本学科学生は、以下の要件に該当する。

- ①社会福祉士の資格を有する者
- ②社会福祉主事として2年以上相談援助業務に従事した者であって、厚生労働大臣が定める講習会の課程を修了した者
- ③学校教育法に基づく大学において、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者であって、厚生労働省令で定める施設において1年以上相談援助業務に従事した者

## ⑧児童指導員（任用資格）

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（厚生省令第63号）に基づき、児童養護施設、放課後等デイサービス、児童発達支援センター、児童家庭支援センター、障害児入所施設、児童心理治療施設、乳児院、児童相談所のような児童福祉施設において、そこで生活する子ども達のサポートを行います。

児童指導員の任用資格要件として、本学科学生は、以下の要件に該当する。

- ①社会福祉士の資格を有する者
- ②学校教育法の規定による大学において、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者

## ⑨健康運動実践指導者受験資格

健康運動実践指導者は、医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技能を持ち、健康づくりを目的として作成された運動プログラムに基づいて、実践指導を行うインストラクターである。

### <資格要件>

健康運動実践指導者資格取得を希望する学生は、下表に定める所定の単位を修得することによって、健康・体力づくり事業財団が実施する資格認定試験を受験することができる。

財団が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
健康づくり施策概論	健康学	1	2
	生活習慣病概論	2	2
運動生理学	健康運動実践論	1	2
機能解剖とバイオメカニクス	健康運動実践論	1	2
栄養摂取と運動	栄養と健康	1	2
健康づくりと運動プログラム	運動処方	3	2
	トレーニング論	1	2
運動指導の心理学的基礎	健康学	1	2
運動障害と予防・救急処置	スポーツ整形外科学	2	2
	救急処置	2	2
健康づくり運動の実際	生涯スポーツ指導演習（水泳・水中運動）※	3	2
	生涯スポーツ（エアロビック）	1	1
	生涯スポーツ指導演習（エアロビック）	2	2
	健康運動指導演習	2	2
	トレーニング演習	2	2
体力の測定と評価	体力測定評価	2	2
	体力測定評価演習	3	2

※ 「生涯スポーツ指導演習（水泳・水中運動）」を履修するには、前提科目である「生涯スポーツ（水泳・水中運動）」を他学科履修し、単位修得しておく必要がある。「生涯スポーツ（水泳・水中運動）」はスポーツ教育学科でのみ開講されている。

### <資格認定試験の受験>

所定の単位を取得した学生は、3年次において資格認定試験を受験することができる（受験料25,300円（税込））。資格認定試験は、指導実技試験と筆記試験の両方に合格する必要がある。

### <資格登録申請>

資格認定試験に合格した場合、登録申請を行うことで、健康運動実践指導者の資格を取得することができる（登録料22,000円（税込））。

### <登録費用>

登録は5年間有効で、所定の講習を受講することにより、更新することができる（登録更新料22,000円（税込））。

### <資格取得後の考えられる進路> ※（ ）内は実績

- ・病院（溪仁会円山クリニック、北海道循環器病院）
- ・健康増進センター（札幌市中央健康づくりセンター）
- ・保健センター
- ・フィットネスクラブ（宮の森スポーツ、KONAMIスポーツ）

## ⑩初級パラスポーツ指導員

地域で活動する18歳以上の指導者で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者。また、障がいの基本内容を理解し、スポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身につけ、実践に当たっては、健康や安全管理を重視した指導が出来る者。さらに、地域の大会や行事に参加するとともに、指導者組織の事業にも積極的に参加するなど地域のパラスポーツの振興を支える者。

### <資格要件>

初級パラスポーツ指導員の資格取得を希望する学生は、学内で実施される開講科目によって協会基準カリキュラムを修了し、資格取得申請をした者を、協会会長が認定する。

協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
障がい者福祉施策と障がい者スポーツ ボランティア論	障がい者スポーツ論	3	2
障がい者スポーツの意義と理念			
安全管理			
障がいの理解とスポーツ			
日本障がい者スポーツ協会資格認定制度			
全国障がい者スポーツ大会の概要			
生涯に応じたスポーツの工夫・実施 障がい者との交流（実技）	生涯スポーツ（障がい者スポーツ）	4	1

### <申請費用>

申請時に申請・認定料5,500円および登録料3,800円（参考：前年度）を納入する。

登録期間は、1年間である。

### <資格取得後の考えられる進路>

- ・パラスポーツの指導
- ・パラスポーツ大会の運営役員、ボランティア
- ・パラスポーツセンター
- ・福祉施設の指導員
- ・特別支援学校教員として体育・スポーツの指導

## ⑪レクリエーション・インストラクター

レクリエーション・インストラクターとは、ニュースポーツやゲーム、音楽、芸術などの様々なレクリエーション活動を通じて、余暇時間の有効利用から地域の交流・活性化を支援する指導者のことで、日本レクリエーション協会の公認指導者資格である。

スポーツ指導者をはじめ、保育士、幼稚園教諭、小・中学校教諭、介護福祉士、社会福祉士、職場等でレクリエーションを担当する人、地域活動（介護予防、子育て支援、子ども会活動、子どもの居場所づくり等）に関わる人が本資格を取得している。

### <資格要件>

レクリエーション・インストラクターの資格は、下表に定める本学所定の単位を修得し、登録申請（登録料等が必要）をすることで取得することができる。

区分	協会が定める科目	本学開講科目	開講年次	単位数
理 論	レ ク リ エ ー シ ョ ン 概 論	レジャー・レクリエーション論	1	2
	楽しさと心の元気づくりの理論			
	レクリエーション支援理論			
	レクリエーション支援のプログラム			
実 技	レクリエーション支援の方法	レクリエーション実技	2	1
	レクリエーション活動の習得	生涯スポーツ（ニュースポーツ）	2	1
	レクリエーション支援の実施			
実習科目	現 場 実 習	地 域 支 援 実 習	3	2

### <申請費用>

17,600円必要となる（登録料16,000円、消費税1,600円）。

資格の有効期限は2年間であり、2年に一度更新が必要である。更新料を支払うことで有効期限が延長される。資格更新に必要な費用は12,100円（更新料）である。

### <資格取得後の考えられる進路>

- ・ 総合型地域スポーツクラブ
- ・ 青少年・スポーツ関連団体（（公財）さっぽろ青少年女性活動協会、（一財）さっぽろ健康スポーツ財団など）
- ・ 独立行政法人国立青少年教育振興機構（国立大雪青少年交流の家、国立日高青少年自然の家など）
- ・ 市町村教育委員会（社会教育関係業務）
- ・ 地域活動を目的としたNPO
- ・ 学校教育関連



## ⑫介護職員初任者研修

### 北翔大学 介護職員初任者研修課程履修規程

(研修の目的)

第1条 生涯スポーツ学部健康福祉学科は健康と福祉を総合的に学ぶ学科であり、介護の基礎的知識・技術を習得することは、福祉の学びの基礎段階として、また介護予防を目的とした健康運動指導の学びにおいても対象者の理解につながる重要な学びである。介護の基礎的学びを通して、高齢社会の多様なニーズへの対応と広く地域貢献を目的として、健康福祉学科の専門科目において本研修を行うものとする。

(研修の名称)

第2条 前条に規定する研修課程の名称は「北翔大学 介護職員初任者研修課程」と称する。

(研修の要旨)

第3条 研修の要旨は、次の表に掲げるとおりとする。

事務所の所在地	江別市
研修形態	通学方式 ※平日及び土曜日の昼間に実施
修業年限	1年
研修期間	60日間(基本)、130時間
定員(人)	20人
受講料(円)	未徴収
受講対象者	生涯スポーツ学部健康福祉学科に入学した学生で、介護職員初任者研修の修了を希望する者
研修会場	北翔大学(江別市文京台23番地)

(募集期間)

第4条 募集期間は、毎年度入学式の日から研修開始日の3日前までとする。

(受講申込方法及び本人確認方法)

第5条 受講を希望する者は、募集期間内に教育支援総合センター学習支援オフィスの窓口で申し出を行うとともに、指定の申込書に記入の上、提出しなければならない。

2 学習支援オフィスの担当者は、申し出の際に提示される学生証をもって本人確認を行うものとする。

(研修カリキュラム)

第6条 研修カリキュラムは、次の表に掲げるとおりとする。

教科名	時間数	教科名	時間数
1. 職務の理解	6	9. ころとからだのしくみと生活支援技術	75
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	9	9-1. (基本知識の学習)	13
3. 介護の基本	6	9-2. (生活支援技術の講義・演習)	50
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9	9-3. (生活支援技術演習)	12
5. 介護におけるコミュニケーション技術	6	10. 振り返り	4
6. 老化の理解	6	合計	130
7. 認知症の理解	6	筆記試験	1
8. 障害の理解	3		

(開講科目の履修登録及び単位の計算方法)

第7条 研修を希望する者は、前条の研修カリキュラムに対応した、次の表に掲げる、本学で開講さ

れる4科目について、所定の期間内に履修登録を行わなければならない。

本学での開講科目	単位数	研修カリキュラムの表に対応する教科名の番号
1. 介護の基本Ⅰ	2	1、3、4、6、9-1
2. 介護の基本Ⅱ	2	2、4、5
3. 介護を必要とする人の理解	2	6、7、8、9-1
4. 生活支援技術	2	9-2、9-3、10

2 前項に規定する科目の単位の計算方法は、北翔大学学則第45条の規定によるものとする。

(テキストの購入及び主要テキスト)

第8条 研修を希望する者は、研修開始日までにテキストを購入しなければならない。

2 使用するテキストは、中央法規出版株式会社発行「介護職員初任者研修テキスト 全2巻」(5,500円)とする。

(最少開講人数)

第9条 受講の申込をした者が5名に満たない場合は、研修を不開講とする。

(出欠の確認方法)

第10条 研修の開始前に、出席簿または出席カードを用いて担当講師が出欠確認を行うものとする。

(成績の評定方法)

第11条 各科目の修了時に、知識・技能等の習得度を評価するにあたり、講師による評価を行うものとする。

2 成績の評定方法は、北翔大学学則第54条第1項の規定によるものとする。

3 評価については、S(90点以上)、A(89点~80点)、B(79点~70点)、C(69点~60点)、D(59点以下)の5段階とし、C以上を合格とする。

(修了の認定方法)

第12条 本学で開講する介護職員初任者研修の4科目を全て受講し、所定の学修時間を全て出席したと認められる者に対し筆記試験による修了試験を行ない、この試験に合格(100点満点中の60点以上)した者に研修修了を認める。

(修了証明書の交付)

第13条 学長は、研修修了者に対して、介護保険法施行令第3条第1項に基づき、別紙に定める修了証明書及び携帯用修了証明書を交付する。

2 修了証明書の紛失や氏名の変更があった場合は、修了者からの申し出と本人確認書類が提出された後に再交付を行うものとする。なお、その際の手数料は無料とする。

(修了者の報告)

第14条 研修修了者は、修了証明書番号、修了年月日、氏名、性別、生年月日、住所などを記載した名簿を作成・管理し、その名簿を北海道知事に報告する。

(補講の取扱い)

第15条 やむを得ない理由により欠席した者に対しては、その申し出により同一内容の補講を別日程で行うことがある。その場合の費用は徴収しない。

(辞退規定)

第16条 受講者が辞退しようとするときは、所定の辞退届を提出しなければならない。

2 受講者が本規程の定める諸規定を守らず、又は受講者の本分にもとる行為のあったときは、受講の取りやめを命ずることがある。

(講師)

第17条 研修を担当する講師は、別紙(添付3号様式)のとおりとする。

(情報開示)

第18条 本規程は、本学ホームページより閲覧することができる。

URL <http://www.hokusho-u.ac.jp/>

(雑則)

第19条 この規程に定めるもののほか、介護職員初任者研修課程に関し必要な事項は、学習支援委員会の議を経て、学長が別に定める。

(改正)

第20条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則 (テキスト代の徴収方法及び受講料の返還方法を改めたことに伴う改正)

1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。

## [教育文化学部／教育学科]

### ①保育士

#### 北翔大学 保育士養成課程履修規程

(目的)

第1条 この規程は、北翔大学学則（以下「学則」という。）第72条の2第2項の規定に基づき、北翔大学（以下「本学」という。）に置く児童福祉法（昭和22年法律第164号）に規定する保育士の資格を得させるための課程（以下「養成課程」という。）の履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(養成課程の設置)

第2条 前条に規定する養成課程の名称は、「北翔大学保育士養成課程」と称する。

2 前項の養成課程は、本学教育文化学部教育学科幼児教育コースとする。

(位置)

第3条 前条の養成課程の位置は、北海道江別市文京台23番地とする。

(学生定員及び学級数)

第4条 養成課程の学生定員及び学級数は、次のとおりとする。

- (1) 学生定員 50人
- (2) 総定員 200人
- (3) 学級数 1学年 1学級

(養成課程の履修資格)

第5条 教育学科に所属し、保育士の資格を得ようとする学生で、養成課程を履修することができる者は、原則として、次の各号に該当すると認めたとする。

- (1) 学力が優良で、出席が常である者
- (2) 学則第66条に規定する本学の卒業要件を満たす見込みがある者

(教育課程)

第6条 養成課程の教育課程は、児童福祉法施行規則（昭和23年厚生省令第11号）の規定に基づき、厚生労働大臣の定める告示（平成30年4月27日厚生労働省告示第216号をいう。以下「告示」という。）に定める次の各号に掲げる科目の区分により開講する授業科目をもって編成する。

(1) 必修科目

- イ 保育の本質・目的に関する科目
- ロ 保育の対象の理解に関する科目
- ハ 保育の内容・方法に関する科目
- ニ 保育実習
- ホ 総合演習

(2) 選択必修科目

- イ 保育の本質・目的に関する科目
- ロ 保育の対象の理解に関する科目
- ハ 保育の内容・方法に関する科目

## 二 保育実習

## (3) 教養科目

2 前項各号に規定する授業科目の名称及び単位数は、保育士養成課程履修科目対照表に定める別表第1「必修科目」、別表第2「選択必修科目」及び別表第3「教養科目」のとおりとする。

(養成課程の履修及び単位の修得方法)

第7条 保育士の資格を得ようとする者は、別表第1に掲げる授業科目59単位、別表第2に掲げる授業科目から同表の定めるところにより9単位以上及び別表第3に掲げる授業科目から同表の定めるところにより8単位以上を修得しなければならない。

2 前項に規定する授業科目の単位の計算方法は、学則第45条の規定によるものとする。

3 第1項の規定にかかわらず、社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）第40条第2項第1号から第3号まで若しくは第5号の規定により指定された学校若しくは養成施設又は同項第4号の規定により指定された高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者については、別表第1に掲げる授業科目のうち、次の授業科目の履修を免除する。

- (1) こども家庭福祉 2単位
- (2) 社会福祉 2単位
- (3) こども家庭支援論 2単位
- (4) 社会的養護Ⅰ 2単位
- (5) 社会的養護Ⅱ 1単位

(養成課程の履修登録及び取消)

第8条 養成課程を履修しようとする学生は、各学期の始めの所定の期日までに、保育士養成課程の履修を登録しなければならない。

2 前項の登録をしていない学生は、養成課程を履修することができない。

3 養成課程を履修している学生が、養成課程の履修を中止しようとするときは、各学期の始めの所定の期日までに保育士養成課程の履修を取消さなければならない。

(履修科目の登録)

第9条 養成課程を履修し、第6条に規定する養成課程の授業科目を履修するときは、履修しようとする授業科目を登録しなければならない。

2 前項の履修登録及び授業科目の履修は、学則第47条の規定によるものとする。

(保育実習の履修資格)

第10条 養成課程を履修する学生で、保育実習Ⅰを履修することができる者は、原則として、当該実習を開始する前に、第7条第1項に定める別表第1に掲げる授業科目のうち、次に掲げる授業科目を履修している者とする。

- (1) 保育原理 2単位
- (2) 保育実習指導Ⅰ 2単位
- (3) 保育内容総論 2単位

(保育実習の履修方法等)

第11条 別表第1及び別表第2に掲げる授業科目のうち保育実習Ⅰ、保育実習Ⅱ及び保育実習Ⅲを履修する者は、各年次の所定の期日までに「保育実習履修願」を教職センターに提出しなければならない。

2 前項の願出に基づき、保育実習Ⅰ、保育実習Ⅱ及び保育実習Ⅲの実習施設を指定し、その結果を

当該学生に通知する。

(保育実習の履修の取消又は停止)

第12条 保育実習の履修は、本人の性行不良、学力劣等その他の事由により保育士として適格性を欠くと認められる場合は、これを取り消し又は停止することができるものとする。

(単位の授与、他の大学等における授業科目の履修、入学前の既修得単位等の認定、試験及び成績判定の取扱い)

第13条 履修した授業科目の単位の授与、他の大学等における授業科目の履修、入学前の既修得単位等の認定、試験及び成績判定の取り扱いは、学則第48条、第50条、第51条、第54条及び第55条の規定を適用するものとする。ただし、別表第1及び別表第2に掲げる授業科目の第50条及び第51条の規定の適用については、当該他の大学又は短期大学が指定保育士養成施設の場合に限るものとする。

(保育士資格の取得及び保育士登録)

第14条 保育士となる資格は、第7条第1項に規定する所定の単位を修得するほか、学則第46条第3項に規定する所定の単位を修得し、第67条の規定により卒業の認定を受け、本学を卒業した者に与えられる。

2 前項の保育士となる資格を有する者が保育士となるには、児童福祉法第18条の18に規定する所定の登録を受けなければならない。

(養成課程の履修に係る費用の納付)

第15条 養成課程を履修しようとする者及び履修している者は、第8条に規定する保育士養成課程の履修登録を行い、第9条に規定する履修科目の登録の際に、北翔大学学費等納付金規程の定めるところにより所定の保育士養成課程履修費を納付しなければならない。

(雑則)

第16条 この規程に定めるもののほか、養成課程の履修に関し必要な事項は、別に定める。

(改正)

第17条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

#### 附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (法改正による保育士養成課程の教育課程の変更に伴う改正)

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則 (教育課程の変更に伴う改正)

- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和2年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則 (教育課程の変更に伴う改正)

- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

北翔大学保育士養成課程履修科目対照表

別表第1 「必修科目」

告示別表第1による教科目				左記に対応する本学開設授業科目等				
系列	教科目	授業形態	単位数	授業科目名	授業形態	単位数		備考
						必修	選択	
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2		
	教育原理	講義	2	教育原理(幼・小)	講義	2		
	子ども家庭福祉	講義	2	こども家庭福祉	講義	2		
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2		
	子ども家庭支援論	講義	2	こども家庭支援論	講義	2		
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	2		
保育の対象の理解に関する科目	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2		
	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	2		
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	こども家庭支援の心理学	講義	2		
	こどもの理解と援助	演習	1	こどもの理解と援助	演習	1		
	こどもの保健	講義	2	こどもの保健	講義	2		
	こどもの食と栄養	演習	2	こどもの食と栄養	演習	2		
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	保育の計画と評価	講義	2		
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	2		
	保育内容演習	演習	5	保育内容(健康)	演習	2		
				保育内容(人間関係)	演習	2		
				保育内容(環境)	演習	2		
				保育内容(言葉)	演習	2		
				保育内容(表現)	演習	2		
	保育内容の理解と方法	演習	4	こどもの表現あそび	演習	2		
				こどもの体育あそび	演習	2		
				こどもの言葉あそび	演習	2		
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2		
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1		
	こどもの健康と安全	演習	1	こどもの健康と安全	演習	1		
	障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	2		
社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	1			
子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	1			
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ	実習	4		
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	2		
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育実践演習	演習	2		
合計			51単位	必要修得単位数 合計		59単位		

別表第2 「選択必修科目」

告示別表第2による教科目				左記に対応する本学開設授業科目等				
系列	教科目	授業形態	単位数	授業科目名	授業形態	単位数		備考
						必修	選択	
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定		15 単 位 以 上	保育内容指導論	演習	2		
保育の対象の理解に関する科目				こども理解	講義	2		
保育の内容・方法に関する科目				幼児教育研究Ⅱ	講義		2	
				幼児と健康	講義		2	
				幼児と人間関係	講義		2	
				幼児と環境	講義		2	
保育実習				保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習
	保育実習Ⅲ	実習					2	
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習		1	1単位以上 選択必修
保育実習指導Ⅲ				演習		1		
合計			18単位以上	必要修得単位数 合計		9単位以上		

別表第3 「教養科目」

告示による教科目				左記に対応する本学開設授業科目等				
系列	教科目	授業形態	単位数	授業科目名	授業形態	単位数		備考
						必修	選択	
教養科目	外国語、 体育以外の 科目	不問	6 以 上	日本国憲法	講義		2	
				情報機器操作Ⅰ	演習	2		
				生涯学習概論Ⅰ	講義		2	
	外国語	演習	2	英語コミュニケーションⅠ	演習	2		
体育	講義 実技	1 1	1	健康体育（実技を含む）	講義・ 実技	2		
				合計		10単位以上	必要修得単位数 合計	
総計			79単位以上	必要修得単位数 総計		76単位以上		

備考：1) 別表第1から別表第3までに掲げる授業科目から、必修科目及び選択必修科目を履修して修得する単位を含め、所要の授業科目を履修して76単位以上を修得すること。



## ②社会教育主事（任用資格）・社会教育士

1. 社会教育主事養成課程の科目を履修することによって、社会教育主事になるための資格（任用資格）を取得し、あわせて社会教育士を称することができる。

（関係法令：社会教育法第九条の四）

2. 社会教育主事は、都道府県及び市町村の教育委員会事務局に置かれ、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える職である。

（関係法令：社会教育法第九条の二、第九条の三）

3. 社会教育士は、社会教育主事養成課程の学習成果を生かし、社会教育施設はもとより、教育委員会以外の行政（環境・福祉・まちづくり等）やNPOにおいて、青少年の体験活動の支援やまちづくりの推進などの役割が期待されている。

### 【社会教育主事養成課程の科目】

法令に定める区分	法令単位	授業科目	開講年次	単位数	備考
生涯学習概論	4	生涯学習概論Ⅰ	1	2	必修6科目 12単位 履修のこと
		生涯学習概論Ⅱ	1	2	
生涯学習支援論	4	生涯学習支援論Ⅰ	4	2	
		生涯学習支援論Ⅱ	4	2	
社会教育経営論	4	社会教育経営論Ⅰ	2	2	
		社会教育経営論Ⅱ	2	2	
社会教育特講	8	現代生活と心と体	2	2	4科目8単位 以上 履修のこと
		スポーツ栄養学	2	2	
		現代生活と福祉	2	2	
		福祉心理学	1	2	
		健康体育（実技を含む）	2	2	
		情報社会及び情報倫理	2	2	
		情報機器操作Ⅰ	1	2	
		現代生活と芸術	2	2	
		教育文化学	1	2	
		現代生活と地球	2	2	
		現代生活と環境科学	2	2	
		青少年学習コーチング論	3	2	
		北海道の文化	2	2	
		高齢社会の街づくり	3	2	
リカレント教育論	4	2			
人間関係の心理学	1	2			
社会教育実習	4	社会教育実習	3	2	法令上必修の 「社会教育実習」 1単位を含む
社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち一以上の科目		社会教育課題研究	3	2	
計	24単位以上			合計24単位以上	

### ③児童指導員（任用資格）

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（厚生省令第63号）に基づき、児童養護施設、放課後等デイサービス、児童発達支援センター、児童家庭支援センター、障害児入所施設、児童心理治療施設、乳児院、児童相談所のような児童福祉施設において、そこで生活する子ども達のサポートを行います。

児童指導員の任用資格要件として、本学科学生は、以下の要件に該当する。

- ①学校教育法の規定により、小学校、中学校、高等学校又は中等教育学校の教諭の資格を持ち、厚生労働大臣又は都道府県知事が適当と認めた者
- ②学校教育法の規定による大学において、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者

### ④社会福祉主事（任用資格）

社会福祉主事とは、社会福祉法第18条および第19条に基づき、都道府県や市町村の福祉事務所に配置され、現業員等として任用されるための資格である。また、民間の各種社会福祉施設に就くための資格としても準用される。

学校教育法に基づく大学において、厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目のうち、3科目以上の単位を修得して卒業した者に付与される（三科目主事（社会福祉法第19条第1号））。

＜教育学科における指定科目＞

以下のうち3科目以上を履修し、単位修得すること。

厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目	本学開設科目	単位	備考
心 理 学	心理学概論	2	発展科目
社 会 学	社会学	2	発展科目
教 育 学	教育原理(幼・小) ※	2	初等教育コース 幼児教育コース
保 育 理 論	保育原理	2	初等教育コース 幼児教育コース
児 童 福 祉 論	こども家庭福祉	2	幼児教育コース
社 会 福 祉 概 論	社会福祉	2	幼児教育コース
公 衆 衛 生 学	衛生学 ※	2	養護教諭コース
公 衆 衛 生 学	公衆衛生学	2	養護教諭コース
栄 養 学	栄養学(食品学を含む) ※	2	養護教諭コース
精 神 障 害 者 保 健 福 祉 論	精神保健	2	養護教諭コース
看 護 学	看護学概論	2	養護教諭コース
教 育 学	教育原理	2	養護教諭コース 音楽コース

厚生労働省社会・援護局長通知（社援第0328第3号 平成25年3月28日）「社会福祉法第19条第1項第1号に基づく厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目の読み替えの範囲等の一部改正について」をもとに作成

※の科目は厚生労働省社会・援護局福祉基盤課長より個別認定を受けたものである（社援基発0305第1号 令和2年3月5日付）。

## ⑤幼児体育指導者検定 2 級

幼児体育指導者検定は、公益財団法人日本幼少年体育協会認定資格である。

子どもに対して、体育や運動遊びを楽しく、わかりやすく、安全に指導できる幼児体育指導者のスキルを身に付けることができる検定である。2日間の検定期間に行われる講習・試験内容は、理論（発育発達、幼児体育論、スポーツ指導論）と実技（マット運動やとび箱種目の手本と補助など）である。

### <資格要件>

幼児体育指導者検定 2 級は、下表に定める本学所定の科目を履修し、2日間の検定期間に参加し、検定試験に合格した者が取得することができる。

本学開講科目	開講年次	単位数
こどもの体育あそび	2	2

## ⑥准学校心理士

准学校心理士とは、学校心理士に準ずる資格である。

在学時に、一般社団法人学校心理士認定運営機構が認定する「教育心理学」「発達心理学」「教育相談（幼児理解や保育相談支援等の関連科目）」「特別支援教育（障害児保育等の関連科目）」の内、3科目6単位以上を取得し、機構の書類審査に合格した者に認定される資格である。申請は、申請年度に卒業を予定している者にも認められる。

准学校心理士の資格有効期間は3年である。ただし、資格有効期間を経過して3年間については、日本学校心理士会や一般社団法人学校心理士認定運営機構等の主催する研修会に参加することができる。そこで得られたポイントは、学校心理士を受験するために累積加算できる。

### <教育学科における指定科目>

教育学科においては、以下の4科目の内、3科目を履修・修得すること。

機構が認定する科目	本学開講科目	単位
教 育 心 理 学	教育心理学	2
発 達 心 理 学	発達心理学	2
教育相談（幼児理解や保育相談支援等の関連科目）	教育相談論	2
特別支援教育（障害児保育等の関連科目）	特別支援教育総論	2

### <卒業後に学校心理士を受験するための要件>

以下の必要条件を規定の期間内に満たすことにより、学校心理士受験資格を取得することができる。

- ① 1 条校（学校教育法）または幼稚園・保育所（園）等の保育施設で3年以上の専門的な実務経験を有すること。
- ② 学校心理士認定運営機構や日本学校心理士会（支部研修も含む）の研修会を受講し、4年制大学卒業者はAを1ポイント含む5ポイント以上を取得すること。

※研修会には、「A」と「B」があり、「A」研修会における講習の受講により得られるポイントを「Aポイント」と呼ぶ。

## [教育文化学部／芸術学科]

### ①社会教育主事（任用資格）・社会教育士

1. 社会教育主事養成課程の科目を履修することによって、社会教育主事になるための資格（任用資格）を取得し、あわせて社会教育士を称することができる。

（関係法令：社会教育法第九条の四）

2. 社会教育主事は、都道府県及び市町村の教育委員会事務局に置かれ、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える職である。

（関係法令：社会教育法第九条の二、第九条の三）

3. 社会教育士は、社会教育主事養成課程の学習成果を生かし、社会教育施設はもとより、教育委員会以外の行政（環境・福祉・まちづくり等）やNPOにおいて、青少年の体験活動の支援やまちづくりの推進などの役割が期待されている。

#### 【社会教育主事養成課程の科目】

法令に定める区分	法令単位	授業科目	開講年次	単位数	備考
生涯学習概論	4	生涯学習概論Ⅰ	1	2	必修6科目 12単位 履修のこと
		生涯学習概論Ⅱ	1	2	
生涯学習支援論	4	生涯学習支援論Ⅰ	4	2	
		生涯学習支援論Ⅱ	4	2	
社会教育経営論	4	社会教育経営論Ⅰ	2	2	
		社会教育経営論Ⅱ	2	2	
社会教育特講	8	現代生活と心と体	2	2	4科目8単位 以上 履修のこと
		スポーツ栄養学	2	2	
		現代生活と福祉	2	2	
		福祉心理学	1	2	
		健康体育（実技を含む）	2	2	
		情報社会及び情報倫理	2	2	
		情報機器操作Ⅰ	1	2	
		現代生活と芸術	2	2	
		教育文化学	1	2	
		現代生活と地球	2	2	
		現代生活と環境科学	2	2	
		青少年学習コーチング論	3	2	
		北海道の文化	2	2	
		高齢社会の街づくり	3	2	
リカレント教育論	4	2			
人間関係の心理学	1	2			
社会教育実習	4	社会教育実習	3	2	法令上必修の 「社会教育実習」 1単位を含む
社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち一以上の科目		社会教育課題研究	3	2	
計	24単位以上			合計24単位以上	

## ②学芸員（任用資格）

学芸員は、博物館資料の収集、保管・展示及び調査研究、その他これらと関連する事業を行う「博物館法」に定められた、博物館におかれる専門的職員である。

履修科目等博物館法施行規則第1条第1項に基づき、下記の科目の単位を修得した者は、学芸員となる資格を有する。

### <資格要件>

学芸員となる資格を有するには、下表にある本学所定の単位を修得し、本学を卒業することによって取得することができる。

法令に定める科目	法令単位	本学開設科目	開講年次	必修単位
生涯学習概論	2	生涯学習概論Ⅰ	1	2
博物館概論	2	博物館概論	1	2
博物館経営論	2	博物館経営論	2	2
博物館資料論	2	博物館資料論	2	2
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	3	2
博物館展示論	2	博物館展示論	3	2
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	3	2
博物館教育論	2	博物館教育論	3	2
博物館実習	3	博物館実習	4	3
計	19	計		19

### ③一級建築士及び二級・木造建築士

一級建築士の免許証は、一級建築士試験に合格し、国土交通大臣が管理する名簿に登録することで国土交通大臣から交付されます。二級建築士の免許証は、二級建築士試験（木造建築士の免許証の場合は、木造建築士試験）に合格し、都道府県知事が管理する名簿に登録することで都道府県知事から交付されます。（建築士法第4条、第5条）

#### <受験資格・免許登録資格要件>

一級建築士及び二級・木造建築士試験の受験資格は、国土交通大臣の指定する建築に関する科目（指定科目）の必要単位数を取得し、芸術学科を卒業することで得ることができます。なお、2020年試験から、実務経験が受験時の要件ではなくなり、一級建築士についても卒業年から受験できるように法改正されました。

免許登録資格は、試験に合格していても、建築の実務経験年数が必要となります。一級建築士は卒業後4年以上、二級・木造建築士試験は取得単位数に応じ40単位以上0年・30単位以上1年・20単位以上2年となります。

#### 一級建築士

- ・受験資格：卒業後0年
- ・免許登録資格：卒業後の実務経験年数4年(指定科目の分類(単位数)①～⑩から要件40単位以上)

#### 二級・木造建築士

- ・受験資格：卒業後0年
- ・免許登録資格：卒業後の実務経験年数0年(指定科目の分類(単位数)①～⑩から要件40単位以上)
- ・免許登録資格：卒業後の実務経験年数1年(指定科目の分類(単位数)①～⑩から要件30単位以上)
- ・免許登録資格：卒業後の実務経験年数2年(指定科目の分類(単位数)①～⑩から要件20単位以上)

#### 北翔大学 教育文化学部 芸術学科

指定科目の分類 (単位数)		指定科目として申請する開講科目					
二級・木造	一級	分類	科目名	履修学年	一級	二級・木造	単位数
①建築設計製図 (3単位以上)	①建築設計製図 (7単位以上)	①	空間デザイン基礎	1	選択	選択	2
		①	住宅設計演習	2	選択	選択	2
		①	インテリア設計Ⅰ	2	選択	選択	2
		①	C A D 設計	2	選択	選択	2
		①	インテリア設計Ⅱ	3	選択	選択	2
		①	店舗デザイン	3	選択	選択	2
②～④ 建築計画、 建築環境工学又は 建築設備 (2単位以上)	②建築計画 (7単位以上)	②	リビングデザイン論	1	必修	選択	2
		②	ユニバーサルデザイン	1	必修	選択	2
		②	高齢社会の街づくり	3	必修	選択	2
		②	建築計画	2	必修	選択	2
	③建築環境工学 (2単位以上)	③	生活環境	3	必修	選択	2
	④建築設備 (2単位以上)	④	空間設備	3	必修	選択	2
⑤～⑦構造力学、 建築一般構造又は 建築材料 (3単位以上)	⑤構造力学 (4単位以上)	⑤	構造のかたちと力	3	必修	選択	2
		⑤	構造力学演習	4	必修	選択	2
	⑥建築一般構造 (3単位以上)	⑥	建築空間のしくみ	2	必修	選択	2
		⑥	建築一般構造演習	3	必修	選択	2
	⑦建築材料 (2単位以上)	⑦	生活材料学	2	必修	選択	2
⑧建築生産 (1単位以上)	⑧建築生産 (2単位以上)	⑧	住宅と空間の生産	3	必修	必修	2
⑨建築法規 (1単位以上)	⑨建築法規 (1単位以上)	⑨	都市と空間の法規	3	必修	必修	2
⑩その他 (適宜)	⑩その他 (適宜)	⑩	インテリアデザイン	1	選択	選択	2
		⑩	テクニカルスケッチ	2	選択	選択	2
		⑩	空間模型演習	2	選択	選択	2
総単位数 (①～⑩の単位数合計)							44

## ④インテリアプランナー

インテリアプランナーとは、インテリアプランニングにおける企画・設計・工事監理を行うインテリアに関する知識と技術に習熟した専門家のことであり、公益財団法人建築技術教育普及センターが行う試験（「学科試験」及び「設計製図試験」）に合格し、登録を受けた資格者のことで、さらに更新講習制度によりその能力を審査・証明されている資格者のことをいう。

### <インテリアプランナー登録に必要な実務経験年数短縮の方法>

インテリアプランナーとしての登録には、通常インテリアに関する2年以上の実務経験が必要となるが、下表に示す区分A「インテリア関連科目」・B「インテリア専門科目」・C「インテリア（建築）設計」から所定の単位を修得し、芸術学科を卒業した場合、必要実務経験が0年に短縮される。

必要単位数  $A + B + C = 36$ 単位以上、 $B = (24 - C)$ 単位以上、 $C = 2$ 単位以上

区分		本学における開設科目				
		科目名	学年	単位数	必修・選択	必要単位数
A	インテリア 関連科目	色 彩 計 画	2	2	選択必修	A (36-B-C) 単位以上
		ド ロ ー イ ン グ I	1	2		
		テ ク ニ カ ル ス ケ ッ チ	2	2		
		グ ラ フ ィ ッ ク デ ザ イ ン I	1	2		
		リ ビ ン グ デ ザ イ ン 論	1	2		
小計			10			
B	インテリア 専門科目	イ ン テ リ ア デ ザ イ ン	1	2	選択必修	B (24-C) 単位以上
		生 活 環 境	3	2		
		空 間 設 備	3	2		
		生 活 材 料 学	2	2		
		建 築 空 間 の し く み	2	2		
		構 造 の か た ち と 力	3	2		
		住 宅 と 空 間 の 生 産	3	2		
		都 市 と 空 間 の 法 規	3	2		
		空 間 デ ザ イ ン 基 礎	1	2		
		C A D 設 計	2	2		
小計			24			
C	インテリア (建築) 設 計	住 宅 設 計 演 習	2	2	選択必修	C 2単位以上
		イ ン テ リ ア 設 計 I	2	2		
		イ ン テ リ ア 設 計 II	3	2		
		店 舗 デ ザ イ ン	3	2		
小計			8			

## [教育文化学部／心理カウンセリング学科]

### ①公認心理師国家試験受験資格

#### 北翔大学 公認心理師受験資格取得に関する履修規程

(目的)

第1条 この規程は、北翔大学学則（以下「学則」という。）第72条の3の規定に基づき、北翔大学（以下「本学」という。）に置く公認心理師法（平成27年法律第68号）に規定する公認心理師の受験資格を得るための科目の履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(公認心理師受験資格)

第2条 公認心理師の受験資格を得ようとする者は、本学教育文化学部心理カウンセリング学科において、所定の科目を履修し、単位を修得しなければならない。

(定義)

第3条 公認心理師（公認心理師法第2条）とは、その名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者をいう。

- (1) 心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析すること
- (2) 心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと
- (3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと
- (4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供を行うこと

(公認心理師受験資格の取得と必要な科目)

第4条 公認心理師受験資格（公認心理師法第7条第1号）は、以下の者に与えられる。

- (1) 大学において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目（別表1）を修めて卒業し、かつ、大学院において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目を修めてその課程を修了した者。
- (2) 大学において心理学その他の公認心理師となるために必要な科目（別表1）を修め、卒業後一定期間の実務経験を積んだ者。

(改正)

第5条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。



別表1 公認心理師受験資格に関する科目一覧表

施行規則に定める基準	本学基準			
指定科目名	授業科目	開講年次	単位数	備考
公認心理師の職責	公認心理師の職責	4	2	
心理学概論	心理学概論	1	2	
臨床心理学概論	臨床心理学概論	2	2	
心理学研究法	心理学研究法	2	2	
心理学統計法	心理学統計法	2	2	
心理学実験	心理学実験	2	4	
知覚・認知心理学	知覚・認知心理学	2	2	
学習・言語心理学	学習心理学(学習・言語心理学Ⅰ)	1	2	
	コミュニケーション心理学(学習・言語心理学Ⅱ)	3	2	
感情・人格心理学	感情・人格心理学	2	2	
神経・生理心理学	生理心理学(神経・生理心理学Ⅰ)	1	2	
	神経心理学(神経・生理心理学Ⅱ)	2	2	
社会・集団・家族心理学	社会心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ)	1	2	
	家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ)	3	2	
発達心理学	発達心理学	1	2	
障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	2	
心理的アセスメント	心理的アセスメント	2	2	
心理学的支援法	心理学的支援法	2	2	
健康・医療心理学	健康・医療心理学	1	2	
福祉心理学	福祉心理学	1	2	
教育・学校心理学	教育心理学概論(教育・学校心理学)	1	2	
司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2	2	
産業・組織心理学	産業・組織心理学	3	2	
人体の構造と機能及び疾病	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	1	2	
精神疾患とその治療	精神医学Ⅰ(精神疾患とその治療Ⅰ)	2	2	
	精神医学Ⅱ(精神疾患とその治療Ⅱ)	2	2	
関係行政論	関係行政論	4	2	
心理演習	心理演習	3	4	
心理実習	心理実習	2～3	2	80時間
合 計			62	

## ②精神保健福祉士国家試験受験資格

### 北翔大学 精神保健福祉士受験資格取得に関する履修規程

(目的)

第1条 この規程は、北翔大学学則（以下「学則」という。）第72条の規定に基づき、北翔大学（以下「本学」という。）に置く精神保健福祉士法（平成9年法律第131号）に規定する精神保健福祉士の受験資格を得るための科目の履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(精神保健福祉士受験資格の取得)

第2条 本学教育文化学部心理カウンセリング学科において、所定の科目を履修し、単位を取得した者は精神保健福祉士の受験資格が得られる。

(定義)

第3条 精神保健福祉士（精神保健福祉士法第2条）とは、その名称を用いて、精神障害者の保健及び福祉に関する専門的知識及び技術をもって、精神科病院その他の医療施設において精神障害の医療を受け、又は精神障害者の社会復帰の促進を図ることを目的とする施設を利用している者の地域相談支援の利用に関する相談その他の社会復帰に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うことを業とする者をいう。

(履修及び単位の修得方法)

第4条 精神保健福祉士受験資格（精神保健福祉士法第7条第1号）は、大学において文部科学省令・厚生労働省令で定める厚生労働大臣の指定する精神障害者の保健及び福祉に関する科目を修めて卒業した者に与えられる。本学において精神保健福祉士の受験資格を得ようとする者は別表の科目・単位を修得しなければならない。

(実習科目の履修に係る費用の納入)

第5条 精神保健福祉援助実習、精神保健福祉援助実習指導を履修する者は、学則第88条第1項及び学費等納付金規程に定める実習に要する費用を、所定の期日までに納付しなければならない。

(改正)

第6条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

#### 附 則

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。
- 3 平成24年度及び25年度入学の編入学生が精神保健福祉士の受験資格を得るために平成24年度以降の教育課程の科目を履修する場合は別表1により修得しなければならない。

附 則（人間福祉学部医療福祉学科の教育課程の一部変更に伴う改正）

- 1 この規程は平成25年4月1日から施行し、平成24年度入学生及び編入学生から適用する。
- 2 別表については、平成25年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。
- 3 平成25年度入学の編入学生が精神保健福祉士の受験資格を得るために平成25年度以降の教育課程の科目を履修する場合は別表1により修得しなければならない。

附 則（教育文化学部心理カウンセリング学科の設置及び教育課程の変更に伴う改正）

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

- 2 平成26年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。
- 3 精神保健福祉士の受験資格を得るために平成24年度及び平成25年度の教育課程の科目を履修する場合（平成24年度及び平成25年度編入学生を含む）は別表2により修得しなければならない。

附 則（教育文化科学部心理カウンセリング学科の教育課程の変更及び別表2の削除に伴う改正）

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（関係省令改正による精神保健福祉士受験資格取得に係る教育課程の変更に伴う改正）

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和3年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（規定の整備に伴う改正）

この規程は、令和5年4月1日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

別表 精神保健福祉士受験資格に関する科目一覧表

法定科目 指定科目	本学基準		
	授業科目	開講年次	単位数
医学概論	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	1	2
心理学と心理的支援	心理学概論	1	2
社会学と社会システム	社会学と社会システム	3	2
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	4	2
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	4	2
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	3	2
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	3	2
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	2
	社会保障論Ⅱ	2	2
障害者福祉	障害者福祉	2	2
権利擁護を支える法制度	権利擁護と成年後見制度	3	2
刑事司法と福祉	司法福祉論	3	2
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2	2
精神医学と精神医療	精神医学Ⅰ(精神疾患とその治療Ⅰ)	2	2
	精神医学Ⅱ(精神疾患とその治療Ⅱ)	2	2
現代の精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	3	2
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	4	2
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	1	2
精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理	2	4
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	2	2
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	3	2
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	3	2
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	3	2
ソーシャルワーク演習	精神保健福祉援助演習(基礎)	3	2
ソーシャルワーク演習(専門)	精神保健福祉援助演習Ⅰ	3	2
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	4	2
	精神保健福祉援助演習Ⅲ	4	2
ソーシャルワーク実習指導	精神保健福祉援助実習指導	3~4	6
ソーシャルワーク実習	精神保健福祉援助実習	3~4	7
合計			73

### ③認定心理士

公益社団法人日本心理学会では、4年制大学における心理学科、またはそれに準ずる課程を修了し、心理学の専門家としての職務を遂行するのに必要な最小限の標準的、基礎的学力と技能を修得していると認定された人々に対して「認定心理士」の資格を認定している。

#### <資格要件>

認定心理士の資格取得を希望する学生は、下表に定める本学所定の単位を履修することによって、諸手続きを済ませた後に認定心理士の資格を取得することができる。

規定に定める領域		本学開設科目		
基礎科目(注1)		授業科目	年次	認定単位(注3)
a	心理学概論	心理学概論	1	2
		教育心理学概論(教育・学校心理学)	1	1(副次)
		臨床心理学概論	2	1(副次)
b	心理学研究法	心理学研究法	2	2
		心理的アセスメント	2	2
		心理学統計法	2	2
c	心理学実験・実習	心理学実験	2	4
選択科目(注2)		授業科目	年次	認定単位(注3)
d	知覚心理学	学習心理学(学習・言語心理学Ⅰ)	1	2
		コミュニケーション心理学(学習・言語心理学Ⅱ)	3	2
		知覚・認知心理学	2	2
e	生理心理学	生理心理学(神経・生理心理学Ⅰ)	1	2
		神経心理学(神経・生理心理学Ⅱ)	2	2
f	教育発達心理学	発達心理学	1	2
		乳幼児心理学	1	2
		青年心理学	2	2
g	臨床心理学	高齢者心理学	2	2
		ポジティブ心理学	3	2
		司法・犯罪心理学	2	2
		障害者・障害児心理学	2	2
		心理学的支援法	2	2
		臨床心理援助技法論Ⅰ(精神分析療法)	3	2
		臨床心理援助技法論Ⅱ(認知行動療法)	3	2
		臨床心理援助技法論Ⅲ(ブリーフ・セラピー)	3	2
		スクールカウンセリング	3	2
		心理演習	3	4
		福祉心理学	1	2
		モチベーション心理学	2	2
		育児支援の心理学	2	2
		健康・医療心理学	1	2
感情・人格心理学	2	2		
h	社会心理学	社会心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ)	1	2
		産業・組織心理学	3	2
		家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ)	3	2
		人間関係の心理学	1	2
その他の科目(注4)		授業科目	年次	認定単位(注3)
i	心理学関連科目卒業研究	専門演習Ⅰ	3	2
		専門演習Ⅱ	3	2
		卒業研究	4	4
計		36単位以上		

- 注1) 基礎科目においては、a領域が4単位以上、b領域とc領域は合わせて8単位以上を修得し、合計12単位以上であること。
- 注2) 選択科目においては、5領域のうち3領域以上でそれぞれが少なくとも4単位以上、5領域の合計が16単位以上であること。3領域においては規定の最低4単位のうち少なくとも2単位分は「基本主題」に対応した単位でなければならない。
- 注3) 認定基準の「副次主題」に該当する科目は、開講単位数の半数が認定単位数となる。
- 注4) その他の科目においては、心理学に関連したテーマであること。認定に必要な単位として最大4単位までを認める。

#### <申請費用>

審査料に11,000円必要となる。合格した場合、認定料として33,000円必要となる。

#### <資格取得後の考えられる進路>

認定心理士は公益社団法人日本心理学会が認定する、心理学の基礎資格であり、職能の資格ではないが、大学で心理学を専門科目としていることが証明される。これまでに、福祉施設（児童養護施設、児童発達支援、放課後等デイサービスなど）等での求人実績がある。

## ④福祉心理士

日本福祉心理学会が認定する資格であり、福祉サービスを利用する人のアセスメントを行ったり、サービス利用者やその家族、そして、そこで働く職員の福祉心理相談・支援を行ったりするうえで専門家として求められる基礎学力と技能を修得していると、本学会が認定した人のことである。

### <資格要件>

福祉心理士の資格取得を希望する学生は、下表に定める本学所定の科目の単位を修得した後、日本福祉心理学会の正会員あるいは会員となることによって、福祉心理士の資格を取得することができる。

領域	指 定 科 目	規定単位	開設科目	開設年次	単位	備考
基礎科目	心 理 学	2	心 理 学 概 論	1	2	指定科目のうち、2科目について、各2単位以上
	福 祉 心 理 学	2	福 祉 心 理 学	1	2	
	社 会 福 祉 学	2	現 代 生 活 と 福 祉	2	2	
心理学関係科目	臨 床 心 理 学	2	臨 床 心 理 学 概 論	2	2	指定科目のうち、4科目8単位を含み、合計12単位以上
	心 理 査 定 法	2	心 理 的 ア セ ス メ ン ト	2	2	
	カウセリング(心理相談)	2	心 理 学 的 支 援 法	2	2	
	心 理 療 法	2	臨 床 心 理 援 助 技 法 論 I ( 精 神 分 析 療 法 )	3	2	
	発 達 心 理	2	発 達 心 理 学	1	2	
	障 害 者 の 心 理	2	障 害 者 ・ 障 害 児 心 理 学	2	2	
	高 齢 者 の 心 理	2	高 齢 者 心 理 学	2	2	
			学 習 心 理 学 (学 習 ・ 言 語 心 理 学 I)	1	2	
			教 育 心 理 学 概 論 (教 育 ・ 学 校 心 理 学)	1	2	
			生 理 心 理 学 (神 経 ・ 生 理 心 理 学 I)	1	2	
			社 会 心 理 学 (社 会 ・ 集 団 ・ 家 族 心 理 学 I)	1	2	
			人 間 関 係 の 心 理 学	1	2	
			乳 幼 児 心 理 学	1	2	
			育 児 支 援 の 心 理 学	2	2	
			青 年 心 理 学	2	2	
			心 理 学 統 計 法	2	2	
			心 理 学 実 験	2	4	
			心 理 学 研 究 法	2	2	
			知 覚 ・ 認 知 心 理 学	2	2	
			司 法 ・ 犯 罪 心 理 学	2	2	
			臨 床 心 理 援 助 技 法 論 II ( 認 知 行 動 療 法 )	3	2	
			臨 床 心 理 援 助 技 法 論 III ( ブ リ ー フ ・ セ ラ ピ ー )	3	2	
			家 族 心 理 学 (社 会 ・ 集 団 ・ 家 族 心 理 学 II)	3	2	
			産 業 ・ 組 織 心 理 学	3	2	
			コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 心 理 学 (学 習 ・ 言 語 心 理 学 II)	3	2	
			ス ク ー ル カ ウ ン セ リ ン グ	3	2	
			ポ ジ テ ィ ブ 心 理 学	3	2	
		モ チ ベ ー シ ョ ン 心 理 学	2	2		

領域	指 定 科 目	規定単位	開設科目	開設年次	単位	備考
社会福祉学関係科目	相 談 援 助	2	心 理 演 習	3	4	指定科目のうち、いずれか2単位を含み、合計12単位以上
	社会福祉援助技術	2	ソーシャルワークの基盤と専門職	1	2	
	精神保健福祉援助技術	2	精神保健福祉援助演習（基礎）	3	2	
			地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	3	2	
			地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	3	2	
			社会福祉の原理と政策Ⅱ	4	2	
			社 会 保 障 論 Ⅰ	2	2	
			社 会 保 障 論 Ⅱ	2	2	
			権 利 擁 護 と 成 年 後 見 制 度	3	2	
			障 害 者 福 祉	2	2	
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2	
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2	
			精 神 保 健 福 祉 の 原 理	2	4	
			精 神 保 健 福 祉 学 （ 応 用 ）	4	2	
			精 神 保 健 福 祉 援 助 演 習 Ⅰ	3	2	
			精 神 保 健 福 祉 援 助 演 習 Ⅱ	4	2	
			精 神 保 健 福 祉 援 助 演 習 Ⅲ	4	2	
			精 神 保 健 福 祉 援 助 実 習 指 導	3～4	6	
			精 神 保 健 福 祉 援 助 実 習	3～4	7	
	（医療・保健 関係科目）			精神医学Ⅰ（精神疾患とその治療Ⅰ）	2	
			精神医学Ⅱ（精神疾患とその治療Ⅱ）	2	2	
			現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	3	2	
			現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	4	2	
		精神障害リハビリテーション論	3	2		
計				総計32単位以上		

\*心理学関係科目のうち2科目4単位、および社会福祉学関係科目のうち2科目4単位の計4科目8単位については、医療・保健関係科目（精神医学、神経内科学、リハビリテーション論、精神保健学などの科目）をもって代替できる。

### <申請費用>

所定の申請期間に、指定された書類を提出して、認定審査を受ける（認定審査料20,000円）。

審査に合格した場合、認定料（10,000円）を納付すると、日本福祉心理学会理事長より資格認定証が交付される。

### <資格取得後の考えられる進路>

- ・ 児童に関する福祉機関（児童養護施設・児童自立支援施設など）
- ・ 障害児・者に関する福祉機関（障害者自立支援法に基づく事業所など）
- ・ 高齢者に関する福祉機関

## ⑤社会福祉主事（任用資格）

社会福祉主事とは、福祉事務所現業員として任用される者に要求される資格（任用資格）であり、民間社会福祉施設職員等の資格にも準用されている。

社会福祉主事任用資格の必要な職種は以下のとおりである。

行政	福祉事務所	現業員、査察指導員、家庭児童福祉主事 [児童福祉事業従事2年以上等]、家庭相談員 [児童福祉事業従事2年以上等]、母子相談員、老人福祉指導主事
	各種相談所	身体障害者福祉司 [身体障害者福祉事業従事2年以上等] ※
		知的障害者福祉司 [知的障害者福祉事業従事2年以上等] ※
民間社会福祉施設	児童福祉司 [児童福祉事業従事2年以上等] ※	施設長、生活指導員 等

[ ] 内は、社会福祉主事任用資格に加えて必要な要件

※ 社会福祉主事任用資格取得以外にも資格を得られる方法がある

### <取得方法>社会福祉法第19条

社会福祉主事任用資格の取得方法には、複数ある。心理カウンセリング学科の場合は、国家資格である精神保健福祉士を取得するか、大学において社会福祉に関する科目（厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目）を3科目以上修めて卒業するか、のいずれかになる。

※厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目

社会福祉概論、社会保障論、社会福祉行政論、公的扶助論、身体障害者福祉論、老人福祉論、児童福祉論、家庭福祉論、知的障害者福祉論、精神障害者保健福祉論、社会学、心理学、社会福祉施設経営論、社会福祉援助技術論、社会福祉事業史、地域福祉論、保育理論、社会福祉調査論、医学一般、看護学、公衆衛生学、栄養学、家政学、倫理学、教育学、経済学、経済政策、社会政策、法学、民法、行政法、医療社会事業論、リハビリテーション論、介護概論

上記指定科目と本学科における開講科目との対応表は、表1の通りである。



表1 厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目と本学科における開講科目との対応表

厚生労働大臣指定科目	本学科の開講科目
社会福祉概論	社会福祉の原理と政策Ⅰ 及び 社会福祉の原理と政策Ⅱ
社会福祉事業史	
社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの基盤と専門職
社会福祉調査論	社会福祉調査の基礎
社会福祉施設経営論	
社会福祉行政論	
社会保障論	社会保障論Ⅰ 及び 社会保障論Ⅱ
公的扶助論	
児童福祉論	
家庭福祉論	
保育理論	
身体障害者福祉論	障害者福祉
知的障害者福祉論	障害者福祉
精神障害者保健福祉論	障害者福祉
老人福祉論	
医療社会事業論	
地域福祉論	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 及び 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ
法学	
民法	
行政法学	
経済学	
社会政策	
経済政策	
心理学	心理学概論
社会学	社会学と社会システム
教育学	
倫理学	
公衆衛生学	
医学一般	医学概論（人体の構造と機能及び疾病）
リハビリテーション論	
看護学	
介護概論	
栄養学	
家政学	

※ 厚生労働省社会・援護局長通知（社援発0306第28号 令和2年3月6日）「社会福祉法第19条第1項第1号に基づく厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目の読替えの範囲等の一部改正について」をもとに作成

## ⑥社会教育主事（任用資格）・社会教育士

1. 社会教育主事養成課程の科目を履修することによって、社会教育主事になるための資格（任用資格）を取得し、あわせて社会教育士を称することができる。

（関係法令：社会教育法第九条の四）

2. 社会教育主事は、都道府県及び市町村の教育委員会事務局に置かれ、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える職である。

（関係法令：社会教育法第九条の二、第九条の三）

3. 社会教育士は、社会教育主事養成課程の学習成果を生かし、社会教育施設はもとより、教育委員会以外の行政（環境・福祉・まちづくり等）やNPOにおいて、青少年の体験活動の支援やまちづくりの推進などの役割が期待されている。

### 【社会教育主事養成課程の科目】

法令に定める区分	法令単位	授業科目	開講年次	単位数	備考
生涯学習概論	4	生涯学習概論Ⅰ	1	2	必修6科目 12単位 履修のこと
		生涯学習概論Ⅱ	1	2	
生涯学習支援論	4	生涯学習支援論Ⅰ	4	2	
		生涯学習支援論Ⅱ	4	2	
社会教育経営論	4	社会教育経営論Ⅰ	2	2	
		社会教育経営論Ⅱ	2	2	
社会教育特講	8	現代生活と心と体	2	2	4科目8単位 以上 履修のこと
		スポーツ栄養学	2	2	
		現代生活と福祉	2	2	
		福祉心理学	1	2	
		健康体育（実技を含む）	2	2	
		情報社会及び情報倫理	2	2	
		情報機器操作Ⅰ	1	2	
		現代生活と芸術	2	2	
		教育文化学	1	2	
		現代生活と地球	2	2	
		現代生活と環境科学	2	2	
		青少年学習コーチング論	3	2	
		北海道の文化	2	2	
		高齢社会の街づくり	3	2	
リカレント教育論	4	2			
人間関係の心理学	1	2			
社会教育実習	4	社会教育実習	3	2	法令上必修の 「社会教育実習」 1単位を含む
社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち一以上の科目		社会教育課題研究	3	2	
計	24単位以上			合計24単位以上	

## ⑦児童福祉司（任用資格）

児童相談所に置かれる専門職（公務員）で、児童相談所長の指示により、児童の保護その他児童の福祉に関する事項について、相談に応じ、専門的技術に基づいて必要な指導を行う。

児童福祉司の任用資格要件として、本学科学生は、以下の要件に該当する。

- ①精神保健福祉士の資格を有する者
- ②社会福祉主事として2年以上相談援助業務に従事した者であって、厚生労働大臣が定める講習会の課程を修了した者
- ③学校教育法に基づく大学において、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者であって、厚生労働省令で定める施設において1年以上相談援助業務に従事した者

## ⑧児童指導員（任用資格）

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（厚生省令第63号）に基づき、児童養護施設、放課後等デイサービス、児童発達支援センター、児童家庭支援センター、障害児入所施設、児童心理治療施設、乳児院、児童相談所のような児童福祉施設において、そこで生活する子ども達のサポートを行います。

児童指導員の任用資格要件として、本学科学生は、以下の要件に該当する。

- ①精神保健福祉士の資格を有する者
- ②学校教育法の規定による大学において、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者

## 6) 教職課程

本学では、下記に示す教育職員免許状取得のための課程を有しています。それぞれ所定の単位を修得した者は、申請することにより当該免許状が授与されます。

(Ⅲ 学習 北翔大学教職課程履修規程 参照)

学部・学科		免許状の種類	免許教科又は特別支援教育領域	
生涯 スポーツ 学部	スポーツ教育学科	中学校教諭1種免許状	保健体育	
		高等学校教諭1種免許状	保健体育	
		特別支援学校教諭1種免許状	知的障害者・肢体不自由者・病弱者	
教育文化 学部	教育学科	初等教育コース	幼稚園教諭1種免許状	
			小学校教諭1種免許状	
			特別支援学校教諭1種免許状	知的障害者・肢体不自由者・病弱者
		幼児教育コース	幼稚園教諭1種免許状	
			特別支援学校教諭1種免許状	知的障害者・肢体不自由者・病弱者
			養護教諭コース	養護教諭1種免許状
	音楽コース	中学校教諭1種免許状	音楽	
		高等学校教諭1種免許状	音楽	
		特別支援学校教諭1種免許状	知的障害者・肢体不自由者・病弱者	
	芸術学科	中学校教諭1種免許状	美術	
		高等学校教諭1種免許状	美術	

免許状取得にあたっては、取得しようとする免許状ごとに、北翔大学教職課程履修規程別表第1から別表第7に定める科目を含め、卒業に必要な単位を修得する必要があります。

なお、小学校教諭1種免許状又は中学校教諭1種免許状を取得する者は上記に加え、特別支援学校及び定められた社会福祉施設等で7日間の介護等の体験を行い、校長又は施設長の証明書をもらう必要があります。

## 北翔大学 教職課程履修規程

(目的)

第1条 この規程は、北翔大学学則（平成9年4月1日施行。以下「学則」という。）第69条第3項の規定に基づき、北翔大学（以下「本学」という。）に置く教育職員免許法（昭和24年法律第147号）に規定する教育職員免許状（以下「免許状」という。）授与の所要資格を得させるための課程（以下「教職課程」という。）の履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(免許状の種類)

第2条 本学において、取得することができる免許状の種類及び免許教科又は特別支援教育領域は、次の表に掲げるとおりとする。

学部・学科		免許状の種類	免許教科又は特別支援教育領域	
生涯 スポーツ 学部	スポーツ教育学科	中学校教諭1種免許状	保健体育	
		高等学校教諭1種免許状	保健体育	
		特別支援学校教諭1種免許状	知的障害者・肢体不自由者・病弱者	
教育文化 学部	教育学科	初等教育コース	幼稚園教諭1種免許状	
			小学校教諭1種免許状	
			特別支援学校教諭1種免許状	知的障害者・肢体不自由者・病弱者
		幼児教育コース	幼稚園教諭1種免許状	
			特別支援学校教諭1種免許状	知的障害者・肢体不自由者・病弱者
			養護教諭コース	養護教諭1種免許状
	音楽コース	中学校教諭1種免許状	音楽	
		高等学校教諭1種免許状	音楽	
		特別支援学校教諭1種免許状	知的障害者・肢体不自由者・病弱者	
		芸術学科	中学校教諭1種免許状	美術
高等学校教諭1種免許状	美術			

2 前項に規定する免許状の種類中、特別支援学校教諭1種免許状は、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状を有していなければ、取得することができない。

(教職課程の履修資格)

第3条 前条に規定する免許状を得ようとする学生で、教職課程を履修することができる者は、原則として、次の各号に該当すると認めたとする。

- (1) 学力が優良で、出席が常である者
- (2) 学則第66条に規定する本学の卒業要件を満たす見込みがある者
- (3) 教育職員免許法第5条に規定する免許状の授与が見込まれる者

(教職課程の教育課程)

第4条 本学に置く教職課程の教育課程は、第2条に規定する免許状の種類に応じて、次の各号に掲げる科目の区分により開講する授業科目をもって編成する。

- (1) 領域及び保育内容の指導法に関する科目
- (2) 教科及び教科の指導法に関する科目
- (3) 養護に関する科目
- (4) 教育の基礎的理解に関する科目
- (5) 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目
- (6) 道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目
- (7) 教育実践に関する科目
- (8) 大学が独自に設定する科目

- (9) 特別支援教育に関する科目  
 (10) 教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目  
 (教職課程の履修及び単位の修得方法)

第5条 教職課程を履修し、第2条に規定する免許状を得ようとする者は、次の表に掲げる免許状の種類及び免許教科の区分に応じ、それぞれ前条各号に定める科目の区分に定める単位を修得しなければならない。

学部	学科	免許状の種類 (免許教科)	領域及び 保育内容の 指導法に 関する科目	教科及び 教科の指 導法に 関する科目	養護に 関する 科目	教育の 基礎的 理解に 関する 科目	道徳、総 合的な学 習の時間 等及び生 徒指導、 教育相談 等に関する 科目	道徳、総 合的な学 習の時間 等及び生 徒指導、 教育相談 等に関する 科目	教育実 践に 関する 科目	大学が 独自に 設定す る科目	特別支 援教育 に 関する 科目	免許法 施行規 則科目	
生涯 スポーツ 学部	スポーツ 教育学科	中学校教諭1種免許状(保健体育)	/	36	/	12	10	/	8	4	/	6	
		高等学校教諭1種免許状(保健体育)	/	34	/	12	8	/	6	12	/	6	
		特別支援学校教諭1種免許状	/	/	/	/	/	/	/	/	28	/	/
教育 文化 学部	初等教育 コース	幼稚園教諭1種免許状	24	/	/	14	6	/	8	14	/	8	
		小学校教諭1種免許状	/	40	/	12	10	/	8	2	/	8	
		特別支援学校教諭1種免許状	/	/	/	/	/	/	/	/	28	/	/
	幼児教育 コース	幼稚園教諭1種免許状	24	/	/	14	6	/	8	14	/	8	
		特別支援学校教諭1種免許状	/	/	/	/	/	/	/	/	28	/	/
	養護教諭 コース	養護教諭1種免許状	/	/	34	12	/	10	8	7	/	8	
		中学校教諭1種免許状(音楽)	/	38	/	12	10	/	8	4	/	8	
		高等学校教諭1種免許状(音楽)	/	36	/	12	8	/	6	12	/	8	
	音楽 コース	特別支援学校教諭1種免許状	/	/	/	/	/	/	/	/	28	/	/
		中学校教諭1種免許状(美術)	/	38	/	12	10	/	8	4	/	8	
芸術 学科	高等学校教諭1種免許状(美術)	/	34	/	12	8	/	6	12	/	8		

※「大学が独自に設定する科目」は、当該科目欄に掲げる科目を修得したもののほかは、免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てる。

- 2 前項に規定する免許状の種類及び免許教科の区分に応じて開設する授業科目、単位数及び単位修得の方法は、別表第1から別表第7に定めるとおりとする。

(教職課程の履修登録及び取消)

第6条 教職課程を履修しようとする学生は、各学期の始めの所定の期日までに教職課程の履修を登録しなければならない。

- 2 前項の登録をしていない学生は、教職課程を履修することができない。  
 3 教職課程を履修している学生が、教職課程の履修を中止しようとするときは、各学期の始めの所定の期日までに教職課程の履修を取り消さなければならない。

(教職課程科目の履修登録)

第7条 教職課程を履修し、別表第1から別表第7に規定する科目を履修するときは、履修しようとする授業科目を登録しなければならない。

- 2 前項の履修登録及び授業科目の履修は、学則第47条の規定によるものとする。

(教育実習、特別支援教育実習及び養護実習の履修資格)

第8条 教職課程を履修する学生のうち、幼稚園教諭1種免許状を取得しようとする者で、第5条第2項に定める別表第3に掲げる授業科目中、「教育実習(幼・小)」を履修することができる者は、原則として、当該実習開始の前年度までに、次に掲げる授業科目を履修し、所定の単位を修得して、教職センター運営委員会において認められた者とする。

① 保育内容総論	2 単位
② 保育内容指導論	2 単位
③ 保育内容（健康）	2 単位
④ 保育内容（人間関係）	2 単位
⑤ 保育内容（環境）	2 単位
⑥ 保育内容（言葉）	2 単位
⑦ 保育内容（表現）	2 単位
⑧ 教育原理（幼・小）	2 単位
⑨ 教職概論（幼・小）	2 単位
⑩ 教育実習事前指導（幼・小）	1 単位
⑪ 日本国憲法	2 単位
⑫ 健康体育（実技を含む）	2 単位

2 教職課程を履修する学生のうち、小学校教諭1種免許状を取得しようとする者で、第5条第2項に定める別表第4に掲げる授業科目中、「教育実習（幼・小）」を履修することができる者は、原則として、当該実習開始の前年度までに、次に掲げる授業科目を履修し、所定の単位を修得して、教職センター運営委員会において認められた者とする。

① 国語科指導法	2 単位
② 社会科指導法	2 単位
③ 算数科指導法	2 単位
④ 理科指導法	2 単位
⑤ 生活科指導法	2 単位
⑥ 英語科指導法	2 単位
⑦ 教育原理（幼・小）	2 単位
⑧ 教職概論（幼・小）	2 単位
⑨ 道德教育論（小）	2 単位
⑩ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（小）	2 単位
⑪ 教育実習事前指導（幼・小）	1 単位
⑫ 日本国憲法	2 単位
⑬ 健康体育（実技を含む）	2 単位

3 教職課程を履修する学生のうち、中学校教諭及び高等学校教諭1種免許状（保健体育）を取得しようとする者で、第5条第2項に定める別表第1に掲げる授業科目中、「教育実習Ⅰ」及び「教育実習Ⅱ」を履修することができる者は、原則として、当該実習開始の前年度までに、次の授業科目を履修し、所定の単位を修得して、教職センター運営委員会において認められた者とする。

① 体育原理	2 単位
② スポーツ運動学	2 単位
③ 生理学	2 単位
④ 保健体育科教育法Ⅰ	2 単位
⑤ 保健体育科教育法Ⅱ	2 単位
⑥ 保健体育科教育法Ⅲ	2 単位
⑦ 教育原理	2 単位

- ⑧ 教職概論 2 単位
- ⑨ 道德教育論 2 単位 (中学校教諭 1 種免許状のみ)
- ⑩ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 2 単位
- ⑪ 教育実習事前指導 1 単位
- ⑫ 日本国憲法 2 単位

4 教職課程を履修する学生のうち、中学校教諭及び高等学校教諭 1 種免許状 (音楽) を取得しようとする者で、第 5 条第 2 項に定める別表第 6 に掲げる授業科目中、「教育実習 I」及び「教育実習 II」を履修することができる者は、原則として、当該実習開始の前年度までに、次の授業科目を履修し、所定の単位を修得して、教職センター運営委員会において認められた者とする。

- ① ソルフェージュ 2 単位
- ② 音楽概論 2 単位
- ③ 音楽科教育法 I 2 単位
- ④ 音楽科教育法 II 2 単位
- ⑤ 教育原理 2 単位
- ⑥ 教職概論 2 単位
- ⑦ 道德教育論 2 単位 (中学校教諭 1 種免許状のみ)
- ⑧ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 2 単位
- ⑨ 教育実習事前指導 1 単位
- ⑩ 日本国憲法 2 単位
- ⑪ 健康体育 (実技を含む) 2 単位

5 教職課程を履修する学生のうち、中学校教諭及び高等学校教諭 1 種免許状 (美術) を取得しようとする者で、第 5 条第 2 項に定める別表第 7 に掲げる授業科目中、「教育実習 I」及び「教育実習 II」を履修することができる者は、原則として、当該実習開始の前年度までに、次の授業科目を履修し、所定の単位を修得して、教職センター運営委員会において認められた者とする。

- ① ドローイング I 2 単位
- ② 美術概論 2 単位
- ③ 美術科教育法 I 2 単位
- ④ 美術科教育法 II 2 単位
- ⑤ 教育原理 2 単位
- ⑥ 教職概論 2 単位
- ⑦ 道德教育論 2 単位 (中学校教諭 1 種免許状のみ)
- ⑧ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 2 単位
- ⑨ 教育実習事前指導 1 単位
- ⑩ 日本国憲法 2 単位
- ⑪ 健康体育 (実技を含む) 2 単位

6 教職課程を履修する学生のうち、特別支援学校教諭 1 種免許状を取得しようとする者で、第 5 条第 2 項に定める別表第 2 に掲げる授業科目中、「特別支援教育実習」を履修することができる者は、原則として、当該実習開始の前年度までに、次に掲げる授業科目を履修し、所定の単位を修得して、教職センター運営委員会において認められた者とする。また、「特別支援教育実習」を履修する年度末までに、幼稚園、小学校、中学校、又は高等学校教諭免許状取得のための教育実習を終



了している者又は終了見込みの者に限る。

① 特別支援教育実習事前指導 1 単位

7 教職課程を履修する学生のうち、養護教諭 1 種免許状を取得しようとする者で、第 5 条第 2 項に定める別表第 5 に掲げる授業科目中、「養護実習」を履修することができる者は、原則として、当該実習開始の前年度までに、次に掲げる授業科目を履修し、所定の単位を修得して、教職センター運営委員会において認められた者とする。

① 養護実践学 I 2 単位

② 看護学臨床実習 4 単位

③ 教育原理 2 単位

④ 教職概論 2 単位

⑤ 道德教育論 2 単位

⑥ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 2 単位

⑦ 養護実習事前指導 1 単位

⑧ 日本国憲法 2 単位

⑨ 健康体育（実技を含む） 2 単位

（教育実習、特別支援教育実習及び養護実習の履修方法等）

第 9 条 教育実習、特別支援教育実習及び養護実習を履修する学生は、所定の期日までに「教育実習・特別支援教育実習・養護実習履修願」を教職センターに提出しなければならない。

2 前項の願い出に基づき、教育実習（幼・小）、教育実習 I、教育実習 II、特別支援教育実習及び養護実習の実習施設を指定し、その結果を当該学生に通知する。

（教育実習、特別支援教育実習及び養護実習の履修制限等）

第 10 条 教職課程を履修する学生の実習について、受入れ学校の事情その他特別な事由により、実習指導等に支障が生ずる恐れがある場合は、教育実習（幼・小）、教育実習 I、教育実習 II、特別支援教育実習及び養護実習の履修年次を変更し、又は履修方法等を制限することがある。

（教育実習、特別支援教育実習及び養護実習の履修の取り消し又は停止）

第 11 条 教育実習（幼・小）、教育実習 I、教育実習 II、特別支援教育実習及び養護実習の履修は、本人の性行不良、学力劣等その他の事由により教員としての適格性を欠くと認められる場合は、これを取り消し又は停止することができるものとする。

（教職実践演習の履修資格について）

第 12 条 教職課程を履修する学生のうち、幼稚園教諭 1 種免許状、小学校教諭 1 種免許状、中学校教諭 1 種免許状、高等学校教諭 1 種免許状、養護教諭 1 種免許状を取得しようとする者で、第 5 条第 2 項に定める別表第 1 及び別表第 3 から別表第 7 に掲げる授業科目中、「教職実践演習（幼・小）」、「教職実践演習（中・高）」、「教職実践演習（養護教諭）」を履修することができる者は、それぞれの免許状取得に必要な当該科目以外の全ての科目を修得済み又は当該科目と同一の開講時期に修得見込みの者に限る。

（教職課程の履修に係る費用の納付）

第 13 条 教職課程を履修しようとする学生及び履修している学生は、第 6 条に規定する教職課程の履修登録を行い、北翔大学学費等納付金規程の定めるところにより、所定の教職課程履修費を納付しなければならない。

2 前項に定める教職課程履修費を所定の期日までに納付しないときは、教職課程の履修を取り消し

たものとみなす。

(教育職員免許状の申請手続き)

第14条 教育職員免許状の申請に関する手続きは、教職センターにおいて行う。

(雑則)

第15条 この規程に定めるもののほか、教職課程の履修に関し必要な事項は、教職センター運営委員会の議を経て、学長が別に定める。

(改正)

第16条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

#### 附 則

1 この規程は、平成14年4月1日から施行し、平成14年度入学者から適用する。

2 平成13年度以前の入学生については、従前の規程による。

附 則 (生涯学習システム学部健康プランニング学科に置かれている教職課程の免許状のうち、保健の免許教科を廃止し、新たに家庭の免許教科を加えること及び学則の一部改正により教育課程の一部が変更されたことに伴い教科に関する科目等の一部改正に伴う改正)

1 この規程は、平成16年4月1日から施行し、平成16年度入学者から適用する。

2 平成16年3月31日に本学に在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (校名変更、教育課程の一部が変更されたこと及び機構改正に伴う改正)

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2 平成17年3月31日に本学に在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (規程の整備等に伴う改正)

1 この規程は、平成17年7月12日から施行し、平成17年度入学者から適用する。

2 平成17年3月31日に本学に在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (生涯学習システム学部学習コーチング学科設置及び教育課程の改正に伴う改正)

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

2 平成18年3月31日に本学に在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (生涯学習システム学部学習コーチング学科に置かれている教職課程の免許状のうち、養護学校教諭1種免許状を特別支援学校教諭1種免許状に改めること及び教育課程の変更に伴う改正)

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

2 平成19年3月31日に本学に在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (校名変更に伴う改正)

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (生涯学習システム学部芸術メディア学科教育課程改正に伴う改正)

1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。

2 平成20年3月31日に本学に在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (生涯スポーツ学部スポーツ教育学科の設置、介護福祉学科を地域福祉学科に名称変更すること、生活福祉学科の課程認定取り下げ、機構改編及び教育課程の改正に伴う改正)

1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。

2 平成21年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（法令改正、教育課程改正及び機構改編に伴う改正）

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（規程の整備及び法令改正に伴う改正）

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（規程の整備に伴う改正）

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（教育課程の変更及び規程の整備に伴う改正）

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（生涯スポーツ学部スポーツ教育学科に、新たに特別支援学校教諭1種免許状の課程を加えること、人間福祉学部地域福祉学科、福祉心理学科及び生涯学習システム学部芸術メディア学科、学習コーチング学科を廃止し、中・高一種（家庭）、高一種（福祉）(工芸)(情報)の課程認定を取り下げること、教育文化学部教育学科及び芸術学科を設置すること、教育課程の改正及び規程の整備に伴う改正)

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（授業科目の一部について履修資格を定めたこと及び規程の整備に伴う改正）

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。但し、第13条については、平成26年度入学生から適用する。

附 則（教育課程の変更及び規程の整備に伴う改正）

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日に本学に在籍する者については、第4条第3号に規定する「教科又は教職に関する科目」及び第4条第6号に規定する「養護又は教職に関する科目」を除き、なお従前の例による。

附 則（教育職員免許法及び同施行規則の改正並びに規程の整備に伴う改正）

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（生涯スポーツ学部スポーツ教育学科の教育課程の変更に伴う改正）

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和3年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（教育職員免許法及び同施行規則の改正による事後調査対応を含む、教育文化学部教育学科の教育課程の変更に伴う改正）

- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（教育職員免許法施行規則の改正及び事後調査対応を含む教育課程の変更、規程の整備に伴う改正）

- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（教育職員免許法施行規則の改正並びに規程の整備に伴う改正）

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則（規程の整備に伴う改正）

- 1 この規程は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 令和6年3月31日に本学に在籍する者については、なお従前の例による。

(令和5年度以降入学生適用)

別表第1 (第5条第2項関係) 生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科

中学校教諭1種免許状「保健体育」及び高等学校教諭1種免許状「保健体育」の授業科目及び単位修得方法

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数			他学科等との 共通開設	
科目名	単位数	授 業 科 目	中単位数	高単位数		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	生涯スポーツ指導演習 (体づくり運動)	②	②	
			生涯スポーツ指導演習 (器械運動)	②	②	
			生涯スポーツ指導演習 (陸上競技)	①	①	
			生涯スポーツ (水泳・水中運動)	①	①	
			生涯スポーツ指導演習 (バスケットボール)	①	①	
			生涯スポーツ指導演習 (バレーボール)	①	①	
			生涯スポーツ (野球・ソフトボール)	①	①	
			生涯スポーツ (バドミントン)	1	1	
			生涯スポーツ指導演習 (サッカー)	2	2	
			生涯スポーツ (冬季スポーツ)	①	①	
			生涯スポーツ指導演習 (ダンス)	②	②	
			生涯スポーツ指導演習 (武道)	②	②	
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学 (運動方法学を含む。)	中28 高24	野外教育実習	2	2	
			体育原理	②	②	学部共通科目
			スポーツ心理学	②	②	学部共通科目
			スポーツマネジメント	2	2	学部共通科目
			スポーツ社会学	2	2	学部共通科目
			スポーツ運動学	②	②	学部共通科目
			スポーツ史	2	2	学部共通科目
			生理学	②	②	学部共通科目
生理学 (運動生理学を含む。)	中28 高24	運動生理学	②	②	学部共通科目	
		衛生学・公衆衛生学	②	②	学部共通科目	
学校保健 (小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	中28 高24	衛生学及び公衆衛生学	②	②		
		学校保健	②	②		
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		保健体育科内容構成論	2	2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	中28 高24	保健体育科教育法Ⅰ	②	②		
		保健体育科教育法Ⅱ	②	②		
		保健体育科教育法Ⅲ	②	②		
		保健体育科教育法Ⅳ	②	2		
小 計：中学校28、高等学校24		小 計 (必要修得単位数)		36	34	
教育の基礎的理解に関する科目	中10 高10	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	②	中・高・養教
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	②	②	中・高・養教
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育経営学	②	②	中・高・養教
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②	②	中・高・養教
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別の教育的ニーズ論	②	②	中・高・養教
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	②	②	中・高・養教
		小 計：中学校10、高等学校10		小 計 (必要修得単位数)		12
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	中10 高8	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	②	②	中・養教
		総合的な学習の時間の指導法 ※中学校のみ	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	②	②	中・高・養教
		総合的な探究の時間の指導法 ※高等学校のみ				
		特別活動の指導法	教育方法論 (ICT活用の理論と方法を含む)	②	②	中・高・養教
		教育の方法及び技術	生徒指導論 (進路指導を含む)	②	②	中・高
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育相談論 (カウンセリングを含む)	②	②	中・高・養教
生徒指導の理論及び方法	小 計 (必要修得単位数)		10	8		
教育実践に関する科目	中5 高3	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育実習事前指導	①	①	中・高
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育実習事後指導	①	①	中・高
		小 計：中学校10、高等学校8	教育実習Ⅰ	④	*4	中・高
			教育実習Ⅱ		*2	高
教職実践演習	2	教職実践演習 (中・高)	②	②	中・高	
小 計：中学校7、高等学校5		小 計 (必要修得単位数)		8	6	
大学が独自に設定する科目	中4 高12	道徳教育論		2		
小 計：中学校4、高等学校12		小 計 (必要修得単位数)		4	12	
合 計：中学校59、高等学校59		合 計 (必要修得単位数)		66	60	

Ⅲ  
学  
習

教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科目名	単位数	授 業 科 目	中単位数	高単位数
日本国憲法	2	日本国憲法	②	②
体 育	2	生涯スポーツ指導演習（体づくり運動）	/	/
		体育原理		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	②	②
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報機器操作Ⅰ	②	②
合 計	8	合 計（必要修得単位数）	6	6

- 備考：1）本学が開設する授業科目欄中、○数字は必修科目の単位数を、\*印は選択必修科目を示す。  
 2）「大学が独自に設定する科目」は、当該科目欄に掲げる科目及び免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てる。  
 3）「教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目」の「体育」は、「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち「生涯スポーツ指導演習（体づくり運動）」及び「体育原理」の修得をもって充てる。

(令和6年度以降入学生適用)

別表第2 (第5条第2項関係) 生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科、教育文化学部 教育学科

特別支援学校教諭1種免許状の授業科目及び単位修得方法

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数			備考	
科目名	単位数	授業科目	単位数	中心となる領域 含む領域		
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	特別支援教育総論	②			
特別支援教育領域に関する科目	16	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害者の心理・生理・病理	②	知的障害者	
		肢体不自由者の心理・生理・病理	②	肢体不自由者	病弱者、視覚障害者	
		病弱者の心理・生理・病理	②	病弱者		
		知的障害教育Ⅰ	②	知的障害者		
		知的障害教育Ⅱ	②	知的障害者		
		肢体不自由教育Ⅰ	②	肢体不自由者		
		肢体不自由教育Ⅱ	②	肢体不自由者		
		病弱教育	②	病弱者		
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理	①	視覚障害者	聴覚障害者
			重複障害者の心理・生理・病理	①	重複	重複
			発達障害者等の心理・生理・病理	①	発達	言語・自閉・情緒・LD・ADHD
			視覚・聴覚障害者の教育課程及び指導法	①	視覚障害者	聴覚障害者
			重複障害者の教育課程及び指導法	①	重複	重複
			発達障害者等の教育課程及び指導法	①	発達	言語・自閉・情緒・LD・ADHD
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	特別支援教育実習事前指導	①			
		特別支援教育実習事後指導	①			
		特別支援教育実習	②			
合計	26	合計必要修得単位数	28			

備考：1) 本学が開設する授業科目欄中、○数字は必修科目の単位数を示す。

(令和4年度以降入学生適用)

別表第3 (第5条第2項関係) 教育文化学部 教育学科  
幼稚園教諭1種免許状の授業科目及び単位修得方法

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数			左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科 目	名	単位数	授 業 科 目	単位数	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康 人間関係 環境 言葉 表現	幼児と健康	②	
			幼児と人間関係	②	
			幼児と環境	②	
			幼児と言葉	②	
			幼児と表現	②	
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	16	保育内容総論	②	
			保育内容指導論	②	
			保育内容 (健康)	②	
			保育内容 (人間関係)	②	
			保育内容 (環境)	②	
			保育内容 (言葉)	②	
小 計		16	小 計 (必要修得単位数)		24
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	教育原理 (幼・小)	②	
			保育原理	②	
			教職概論 (幼・小)	②	
			教育経営学 (幼・小)	②	
			教育心理学 (幼・小)	②	
			特別の教育的ニーズ論 (幼・小)	②	
小 計		10	小 計 (必要修得単位数)		14
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。) 幼児理解の理論及び方法 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	4	教育方法論 (ICT活用の理論と方法を含む) (幼・小)	②	
			こども理解	②	
			教育相談論 (カウンセリングを含む) (幼・小)	②	
小 計		4	小 計 (必要修得単位数)		6
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前指導 (幼・小)	①	
			教育実習事後指導 (幼・小)	①	
	教職実践演習	2	教育実習 (幼・小)	④	
			教職実践演習 (幼・小)	②	
小 計		7	小 計 (必要修得単位数)		8
大学が独自に設定する科目		14	音楽実習Ⅰ	1	
			音楽実習Ⅱ	1	
小 計		14	小 計 (必要修得単位数)		14
合 計		51	合 計 (必要修得単位数)		52

## 教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数			左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科 目	名	単位数	授 業 科 目	単位数	
日本国憲法		2	日本国憲法	②	
体 育		2	健康体育 (実技を含む)	②	
外国語コミュニケーション		2	英語コミュニケーションⅠ	②	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		2	情報機器操作Ⅰ	②	
合 計		8	合 計 (必要修得単位数)		8

備考：1) 本学が開設する授業科目欄中、○数字は必修科目を示す。

2) 「大学が独自に設定する科目」は、免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位を含み14単位以上修得する。



(令和4年度以降入学生適用)

別表第4 (第5条第2項関係) 教育文化学部 教育学科  
小学校教諭1種免許状の授業科目及び単位修得方法

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数			左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科目名	単位数	授業科目	単位数		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語(書写を含む。)	30	国語科概論(書写を含む)	②
		社会		社会科概論	②
		算数		算数科概論	②
		理科		理科概論	②
		生活		生活科概論	②
		音楽		音楽科概論	②
				音楽実習Ⅰ	1
				音楽実習Ⅱ	1
				造形美術概論	②
				家庭科概論	②
	体育科概論			②	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	外国語		英語科概論	②
				国語科指導法	②
				国語科指導・実践演習	2
				社会科指導法	②
				社会科指導・実践演習	2
				算数科指導法	②
				算数科指導・実践演習	2
				理科指導法	②
				理科指導・実践演習	2
		生活科指導法	②		
	生活科指導・実践演習	2			
	音楽科指導法	②			
	音楽科指導・実践演習	2			
	図画工作科指導法	②			
	図画工作科指導・実践演習	2			
	家庭科指導法	②			
	家庭科指導・実践演習	2			
	体育科指導法	②			
	体育科指導・実践演習	2			
	英語科指導法	②			
小計		30	小計(必要修得単位数)		40
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	教育原理(幼・小)	②	
			教職概論(幼・小)	②	
			教育経営学(幼・小)	②	
			教育心理学(幼・小)	②	
			特別的教育的ニーズ論(幼・小)	②	
			教育課程論(幼・小)	②	
小計		10	小計(必要修得単位数)		12
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	10	道徳教育論(小)	②	
			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(小)	②	
			教育方法論(ICT活用の理論と方法を含む)(幼・小)	②	
			生徒指導論(進路指導を含む)(小)	②	
			教育相談論(カウンセリングを含む)(幼・小)	②	
			小計		10
教育実践に関する科目	教育実習 教職実践演習	5	教育実習事前指導(幼・小)	①	
			教育実習事後指導(幼・小)	①	
			教育実習(幼・小)	④	
			教職実践演習(幼・小)	②	
小計		7	小計(必要修得単位数)		8
大学が独自に設定する科目		2			
小計		2	小計(必要修得単位数)		2
合計		59	合計(必要修得単位数)		70

教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数	
科目名	単位数	授業科目	単位数
日本国憲法	2	日本国憲法	②
体育	2	健康体育（実技を含む）	②
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	②
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報機器操作Ⅰ	②
合計	8	合計（必要修得単位数）	8

備考：1）本学が開設する授業科目欄中、○数字は必修科目を示す。

2）「大学が独自に設定する科目」は、免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てる。

(令和5年度以降入学生適用)

別表第5 (第5条第2項関係) 教育文化学部 教育学科  
養護教諭1種免許状の授業科目及び単位修得方法

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		他学科等との 共通開設	
科目名	単位数	授業科目	単位数		
養護に関する科目	衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	4	衛生学 公衆衛生学	② ②	
	学校保健	2	学校保健	②	
	養護概説	2	養護実践学Ⅰ	②	
			養護実践学Ⅱ	②	
			養護活動実習Ⅰ	②	
			養護活動実習Ⅱ	2	
			養護実践学演習	3	
	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	2	健康相談活動の理論及び方法 健康相談活動演習	② ②	
	栄養学 (食品学を含む。)	2	栄養学 (食品学を含む)	②	
	解剖学・生理学	2	解剖生理学	②	
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	微生物学 (免疫学を含む) 薬理概論	2 ②	
	精神保健	2	精神保健	②	
	看護学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	10	看護学概論	②	
看護学各論			②		
看護技術演習 (救急処置を含む)Ⅰ			②		
看護技術演習 (救急処置を含む)Ⅱ			2		
		看護学臨床実習	④		
小計	28	小計 (必要修得単位数)	34		
教育の基礎的理 解に関する科目	8	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教育原理 教職概論	② ②	中・高・養教 中・高・養教
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学 校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育経営学	②	中・高・養教
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生 徒に対する理解	教育心理学 特別的教育的ニーズ論	② ②	中・高・養教 中・高・養教
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュ ラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	②	中・高・養教
		小計	8	小計 (必要修得単位数)	12
道徳、総合的な 学習の時間等 内容及び生徒指 導、教育相談等 に関する科目	6	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探 究の時間並びに特別活動に関する内容	道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	② ②	中・養教 中・高・養教
		教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の 活用を含む。)	教育方法論 (ICT活用の理論と方法を含む)	②	中・高・養教
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論	②	
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談論 (カウンセリングを含む)	②	中・高・養教
		小計	6	小計 (必要修得単位数)	10
教育実践に関す る科目	5	養護実習	養護実習事前指導 養護実習事後指導 養護実習	① ① ④	
		教職実践演習	教職実践演習 (養護教諭)	②	
		小計	7	小計 (必要修得単位数)	8
大学が独自に設定する科目	7				
小計	7	小計 (必要修得単位数)	7		
合計	56	合計 (必要修得単位数)	64		

教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数	
科目名	単位数	授業科目	単位数
日本国憲法	2	日本国憲法	②
体育	2	健康体育 (実技を含む)	②
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	②
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報機器操作Ⅰ	②
合計	8	合計 (必要修得単位数)	8

備考: 1) 本学が開設する授業科目欄中、○数字は必修科目を示す。

2) 「大学が独自に設定する科目」は、免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てる。

(令和5年度以降入学生適用)

別表第6 (第5条第2項関係) 教育文化学部 教育学科

中学校教諭1種免許状「音楽」及び高等学校教諭1種免許状「音楽」の授業科目及び単位修得方法

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数			左記に対応する本学開設授業科目及び単位数			他学科等との 共通開設	
科 目 名	単位数	授 業 科 目	中単位数	高単位数			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	ソルフェージュ	ソルフェージュ	②	②		
		声楽 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	声楽基礎演習Ⅰ	②	②		
			声楽基礎演習Ⅱ	②	②		
			声楽表現演習Ⅰ	2	2		
			声楽表現演習Ⅱ	2	2		
			合唱Ⅰ	①	①		
			合唱Ⅱ	①	①		
			器楽基礎演習Ⅰ	②	②		
			器楽基礎演習Ⅱ	②	②		
			器楽表現演習Ⅰ	2	2		
			器楽表現演習Ⅱ	2	2		
		器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	合奏Ⅰ	②	②		
			ピアノ基礎演習Ⅰ	②	②		
			ピアノ基礎演習Ⅱ	②	②		
			ピアノ表現演習Ⅰ	2	2		
		指揮法	ピアノ表現演習Ⅱ	2	2		
			指揮法	②	②		
		音楽理論・作曲法 (編曲法を含む。) 音楽史 (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	音楽概論	②	②		
			楽典	②	②		
	作曲法		②	②			
音楽史	②		②				
音楽鑑賞法	②		②				
音楽科教育法Ⅰ	②		②				
音楽科教育法Ⅱ	②		②				
音楽科教育法Ⅲ	②		②				
音楽科教育法Ⅳ	②		2				
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)							
小 計：中学校28、高等学校24			小 計 (必要修得単位数)			38	36
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	中10 高10	教育原理	②	②	中・高・養教	
			教職概論	②	②	中・高・養教	
			教育経営学	②	②	中・高・養教	
			教育心理学	②	②	中・高・養教	
			特別の教育的ニーズ論	②	②	中・高・養教	
			教育課程論	②	②	中・高・養教	
小 計：中学校10、高等学校10			小 計 (必要修得単位数)			12	12
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 ※中学校のみ 総合的な探究の時間の指導法 ※高等学校のみ 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	中10 高8	道徳教育論	②		中・養教	
			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	②	②	中・高・養教	
			教育方法論 (ICT活用の理論と方法を含む)	②	②	中・高・養教	
			生徒指導論 (進路指導を含む)	②	②	中・高	
			教育相談論 (カウンセリングを含む)	②	②	中・高・養教	
			小 計：中学校10、高等学校8			小 計 (必要修得単位数)	
教育実践に関する科目	教育実習 教職実践演習	中5 高3	教育実習事前指導	①	①	中・高	
			教育実習事後指導	①	①	中・高	
			教育実習Ⅰ	④	*4	中・高	
			教育実習Ⅱ		*2	高	
小 計：中学校7、高等学校5			小 計 (必要修得単位数)			8	6
大学が独自に設定する科目	中4 高12	道徳教育論			2		
小 計：中学校4、高等学校12			小 計 (必要修得単位数)			4	12
合 計：中学校59、高等学校59			合 計 (必要修得単位数)			68	62

教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科目名	単位数	授 業 科 目	中単位数	高単位数
日本国憲法	2	日本国憲法	②	②
体 育	2	健康体育（実技を含む）	②	②
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	②	②
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報機器操作Ⅰ	②	②
合 計	8	合 計（必要修得単位数）	8	8

備考：1) 本学が開設する授業科目欄中、○数字は必修科目の単位数を、\*印は選択必修科目を示す。

2) 「大学が独自に設定する科目」は、当該科目欄に掲げる科目及び免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てる。

(令和5年度以降入学生適用)

## 別表第7 (第5条第2項関係) 教育文化学部 芸術学科

## 中学校教諭1種免許状「美術」及び高等学校教諭1種免許状「美術」の授業科目及び単位修得方法

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数			左記に対応する本学開設授業科目及び単位数			他学科等との 共通開設
科 目 名	単位数	授 業 科 目	中単位数	高単位数		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	絵画 (映像メディア表現を含む。)	ドローイング I	②	②	
			絵画 I	②	②	
		彫 刻	絵画 II	②	②	
			絵画 III	②	②	
			彫刻 I	②	②	
		デザイン (映像メディア表現を含む。)	彫刻 II	②	②	
			彫刻 III	②	②	
			グラフィックデザイン I	②	②	
		工 芸	グラフィックデザイン II	②	②	
			空間デザイン基礎	②	②	
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	インテリアデザイン	②	②	
			木材工芸	②		
			美術概論	②	②	
			色彩計画	2	2	
			美術史	②	②	
			美学	②	②	
	美術科教育法 I		②	②		
美術科教育法 II	②	②				
美術科教育法 III	②	②				
美術科教育法 IV	②	2				
小 計：中学校28、高等学校24			小 計 (必要修得単位数)			38 34
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	中10 高10	教育原理	②	②	中・高・養教
			教職概論	②	②	中・高・養教
			教育経営学	②	②	中・高・養教
			教育心理学	②	②	中・高・養教
			特別の教育的ニーズ論	②	②	中・高・養教
			教育課程論	②	②	中・高・養教
小 計：中学校10、高等学校10			小 計 (必要修得単位数)			12 12
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 ※中学校のみ 総合的な探究の時間の指導法 ※高等学校のみ 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法	中10 高8	道徳教育論	②		中・養教
			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	②	②	中・高・養教
			教育方法論 (ICT活用の理論と方法を含む)	②	②	中・高・養教
			生徒指導論 (進路指導を含む)	②	②	中・高
			教育相談論 (カウンセリングを含む)	②	②	中・高・養教
			小 計：中学校10、高等学校8			小 計 (必要修得単位数)
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習事前指導	①	①	中・高
			教育実習事後指導	①	①	中・高
			教育実習 I	④	*4	中・高
	教育実習 II		*2	高		
教職実践演習	2	教職実践演習 (中・高)	②	②	中・高	
小 計：中学校7、高等学校5			小 計 (必要修得単位数)			8 6
大学が独自に設定する科目	中4 高12	道徳教育論		2		
小 計：中学校4、高等学校12			小 計 (必要修得単位数)			4 12
合 計：中学校59、高等学校59			合 計 (必要修得単位数)			68 60

教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等及び最低修得単位数		左記に対応する本学開設授業科目及び単位数		
科目名	単位数	授 業 科 目	中単位数	高単位数
日本国憲法	2	日本国憲法	②	②
体 育	2	健康体育（実技を含む）	②	②
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	②	②
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報機器操作Ⅰ	②	②
合 計	8	合 計（必要修得単位数）	8	8

備考：1) 本学が開設する授業科目欄中、○数字は必修科目の単位数を、\*印は選択必修科目を示す。

2) 「大学が独自に設定する科目」は、当該科目欄に掲げる科目及び免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てる。

## 7) 札幌圏大学・短期大学間単位互換協定について

単位互換制度とは、この制度に参加する協定大学が提供する単位互換科目を各大学で履修し、それを所属大学の単位として認定する制度です。

この制度では、各大学（学部・学科）の特色ある科目が単位互換科目として提供されています。自分の専攻を深めるため、あるいは自分の大学にない科目を学ぶためなど、学生のみなさんの幅広い関心と興味に応じた履修機会が大幅に広がることが期待されています。

2024年度は札幌圏の11大学（北翔大学・札幌学院大学・札幌国際大学・札幌大学・東海大学・藤女子大学・北星学園大学・北海道科学大学・北海道情報大学・北海道文教大学・酪農学園大学）と3短期大学（北翔大学短期大学部・札幌国際大学短期大学部・北星学園大学短期大学部）が協定大学となっています。

単位互換協定大学に在学する2年次以上の学生であれば、所属する大学の許可を受け、出願することができます。1年間に履修できる単位数は全ての協定大学を合わせて10単位で、授業料は原則として無料です（実習・実験等の授業で実費等の経費が必要な場合は徴収します）。

単位互換の各大学の提供科目や出願手続きなどについては4月上旬に説明会を開催します。また詳しいことについては学習支援オフィスにお問い合わせください。



### 3. 学費等納付金関係

#### 1) 学費等納付金

学部	内訳	前学期	後学期	年度計	
生涯スポーツ学部 教育文化学部	学費	入 学 金	310,000円	— 円	310,000円
		授 業 料	425,000円	425,000円	850,000円
		施 設 設 備 費	125,000円	125,000円	250,000円
		計	860,000円	550,000円	1,410,000円
	その他の経費	自治会費(年額)	5,000円	— 円	5,000円
		保険料(4年分)	4,660円	— 円	4,660円
		同窓会費(終身)	40,000円	— 円	40,000円
		計	49,660円	— 円	49,660円
	合計		909,660円	550,000円	1,459,660円

※入学金・保険料・同窓会費は初年度のみ。ただし、4年を超えて在籍する場合は、別途保険料が必要となります。

※経済情勢などの変動により金額が改定されることがあります。

#### 2) 別途徴収となる実習費・履修費

下記の特定期科目等履修者については、別途実験実習料を納付していただきます。なお、備考に記載している年次は、標準履修年次等です。

学部・学科	特定科目名	実験実習料	備考		
生涯スポーツ学部	スポーツ教育学科	野外教育実習	12,000円 2年次 夏季キャンプ実習		
		雪上活動実習	12,000円 2年次 冬季キャンプ実習		
		生涯スポーツ(冬季スポーツ)	12,000円 2年次 スキー実習		
	健康福祉学科	野外教育指導演習	12,000円 3年次 夏季キャンプ実習		
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	10,000円 2年次		
		ソーシャルワーク実習Ⅰ	55,000円 3年次		
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	40,000円 4年次	社会福祉士 受験資格指定実習		
教育文化学部	教育学科	看護学臨床実習	50,000円 2年次 養護教諭免許状 取得希望者対象		
		保育実習指導Ⅰ及び保育実習Ⅰ	30,000円 3年次		
		保育実習指導Ⅱ及び保育実習Ⅱ	20,000円 4年次		
		保育実習指導Ⅲ及び保育実習Ⅲ	20,000円 ※どちらか一方を履修		
	芸術学科	博物館実習	20,000円 4年次	学芸員資格指定実習	
	心理カウンセリング学	心理実習	2年間総額 15,000円	2年次 8,000円 3年次 7,000円	公認心理師 受験資格指定実習
		精神保健福祉援助実習	2年間総額 70,000円	3年次 30,000円 4年次 40,000円	精神保健福祉士 受験資格指定実習
学部共通 ※心理カウンセリング学科を除く	教職課程履修費	総額 50,000円	2又は3年次 30,000円 3又は4年次 20,000円	教育職員免許状取得希望者対象 (幼・小・中・高・養教一種免許状)	
	特別支援教育実習	10,000円	4年次	特別支援学校教諭免許状取得希望者対象	

※上記実験実習料の金額については、実習費用などの上昇及び教育職員免許状の取得方法並びに履修規程の改正などにより変更する場合があります。

※上記の他にも、演習・実習・見学・資格取得などで、別途費用が必要となる場合があります。

### 3) 納付期日

学費等の納付については、財務会計課から本学所定の振込依頼書を送付いたします（年2～4回）ので、必ずこの振込依頼書を使用して銀行などの金融機関の窓口でお振り込みください。振込依頼書の送付予定日及び納付期日は下記のとおりです。

回	振込依頼書送付予定日	納付期日	納付内容
1回目	3月中旬 (初年度は合格通知等に同封)	4月30日 (初年度は入学手続時)	前学期 授業料 前学期 施設設備費 自治会費（年額）
2回目	6月下旬	7月下旬	前学期（通年含む）実験実習料
3回目	8月中旬	9月30日	後学期 授業料 後学期 施設設備費
4回目	11月中旬	12月中旬	後学期 実験実習料

※特定科目等を履修していない場合、2回目・4回目の実験実習料は発生いたしませんので、振込依頼書の送付はありません。また、一部の特定科目で、実習直前に財務会計課窓口で納付していただく実験実習料があります。

※実験実習料の前学期・後学期については、授業等が開講される学期になりますので、講義要綱でご確認ください。

※納付期日が金融機関の休業日にあたる場合は、翌営業日が納付期日となります。

※入学後の振込依頼書（2回目以降）は、入学手続時に提出された誓約書に記載されている連帯保証人宛に送付いたします。連帯保証人以外の者が学費を負担する場合は手続きが必要となりますので、財務会計課（TEL（011）387-3393）にお問い合わせください。